

令和元年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標

令和2年2月28日

那覇市	1	嘉手納町	117
宜野湾市	18	北谷町	121
石垣市	28	北中城村	124
浦添市	37	中城村	130
名護市	45	西原町	134
糸満市	54	与那原町	138
沖縄市	57	南風原町	142
豊見城市	65	渡嘉敷村	148
うるま市	70	座間味村	151
宮古島市	77	粟国村	154
南城市	82	渡名喜村	156
国頭村	86	南大東村	158
大宜味村	88	北大東村	160
東村	91	伊平屋村	163
今帰仁村	93	伊是名村	167
本部町	96	久米島町	170
恩納村	100	八重瀬町	175
宜野座村	102	多良間村	180
金武町	106	竹富町	183
伊江村	109	与那国町	187
読谷村	113		

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客の増加に伴い、外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフの配置を行い観光案内所運営を行っている那覇市観光協会への支援を行う。	・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名、パート3名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努め、本市の観光イメージのアップ及び観光誘客を図る。	・外国人観光客の案内所の利用者 H29年度 年間16,865人 H30年度:17,700人(前年度比5%増) R1年度:18,585人(前年度比5%増) ・本事業について、外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 増加傾向にある外国観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。 分析方法については、アンケート調査項目の満足度の回答数により、利便性の効果を(80%以上)を図り、満足度の理由から今後の事業のあり方を検証を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・事業の成果目標として、外国人観光客へのアンケート調査を実施し、「利便性が確保された」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、大多数の回答者が活用できたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	2	交流オアシス整備事業	H24 ～ R1	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行う。	交流スペースの設置工事:1箇所 (設置箇所:若狭)	本事業により整備した小広場(交流スペース)について、観光客へのアンケート調査を実施し、小広場を交流・憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き整備した箇所について活用を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、「小広場を交流・憩いの場として活用できた」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、大多数の回答者が活用できたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置工事:1基 (設置箇所:おもろまち)	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2～R3年度 上屋設置:3基	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、「快適にバスを待てるようになった」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備:道路整備工事 路線(整備路線:上間識名線)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2～R3年度 整備工事:首里・真和志地域	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができた」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	・トイレ整備工事の実施(実施箇所:旭ヶ丘公園) ・植栽剪定業務の実施(実施箇所:首里崎山公園)	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、観光地としてふさわしい公園景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2年度実施予定箇所 ・トイレ整備工事(漫湖公園) ・植栽剪定業務(末吉公園)	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客等へのアンケート調査等を実施し、トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、観光地としてふさわしい公園景観であると感じるかと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	6	福州園再整備事業	H28～R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	福州園再整備工事(1期)の着手	・福州園再整備工事(1期)の完了	【R4成果目標】 整備工事完了後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 利用者数 100,000人 【今後のスケジュール】 R2 整備工事(2期) R3 整備工事(3期)	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24～R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツ薬剤樹幹注入 310本 対象公園 16公園	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	【R2成果目標】 (令和2年度) 予防達成率を90%以上とする。 【今後のスケジュール】 毎年度、対象公園内における、リュウキュウマツ約310本に薬剤注入を行う予定	【R2成果目標設定の考え方】 枯損木の目標値は過去の事業実績を基に、90%以上の予防を目標と設定した。(隔年実施) H25年度 H27年度 対象公園: 37公園 37公園 薬注本数: 627本 433本 害虫被害枯損木: 2本 6本 予防達成率: 99.7% 98.6%
1	8	花いっぱい運動推進事業	H24～R3	亜熱帯ならではの緑化景観を創出するため、市内の観光振興に資する路線沿線を対象に、市民等へ草花苗を配布し、花壇への植付等を行う。	・対象路線沿線の市民、自治会、学校関係、ボランティア団体等へ草花苗の配布数:約12,500鉢 ・公共花壇の年間管理:4箇所	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2年度 12,400鉢、4箇所 R3年度 12,400鉢、4箇所 上記の活動目標を達成し、緑化推進を図ることで、観光振興に資する。	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客等へのアンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合を指標として設定した。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	9	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R3	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・幹線市道及び観光地周辺市道の除草:約20,000㎡ ・街路樹の剪定:約480本 ・泉崎牧志線及び久茂地前島線植栽工事:約104㎡	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R1成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出を客観的にはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	10	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施	那覇ハーリー来場者数:192,000人 (参考:平成30年164,000人) 「那覇大綱挽」来場者数:272,600人 (参考:平成30年 270,000人) 「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人 (参考:平成30年度は中止。平成29年度 48,600人)	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	11	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向の実態を把握し、その結果の活用を図る。	・那覇空港において年4回1,500人を対象としたアンケート調査を実施する。調査項目には、娯楽、観光案内、観光資源及び旅行全体に関する満足度を設け、観光施策全般に対する評価の把握・分析を行う。 ・県実施の各種調査の基礎データ(クルーズ船、修学旅行、宿泊施設数等)を基に、那覇市分を調査し、県内全体の各種数値と本市との比較・検証を行う。	観光入込統計調査の完了	【R2成果目標】 アンケート調査における回収率 25%以上 【今後のスケジュール】 (R2年度)宿泊人数、平均泊数、消費額等について年平均伸び率(H30年度とH31年度)を比較し、また全国・沖縄県と比較することで今後の事業のあり方を検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	12	那覇と周辺離島の連携による観光振興事業	H29 ～ R1	周辺離島航路発着場において観光案内所を設置し、本市や沖縄観光全般(特に周辺離島)に係る観光情報を提供し、観光客の利便性の確保を目的とする。	・泊港旅客ターミナル内に臨時観光案内所を設置(7～9月の間の3か月間、午前中を想定。) ・多言語対応を行う。	・観光案内所利用者数:8,000名。 (参考:平成30年度観光案内所利用者数8,412人) ・本事業について、観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	(今後の取組) ・沖縄県、那覇泊港発着関係自治体、民間事業者と連携を図り、観光客の利便性の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1	13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	・首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：39,220人 (参考：平成30年度：37,000人)	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備し、キャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 ・ガイドブック・ノベルティグッズを製作し、観光PRの広報活動を実施する。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数：13,800人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営（インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備 ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人	【今後のスケジュール】 今後もキャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数：35回 過去5か年の平均値で設定。 【参考】 H24：35回 H25：37回 H26：35回 H27：36回 H28：34回 H29：36回	歩行者通行量1日：21,200人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモール実施を支援する。 来街者からのアンケート調査を活用して、ビジョンに基づき魅力を強化し、誘客につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	17	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援(8月上旬に開催 R1年度で25回目の実施)	来場者数:96,000人	【今後のスケジュール】引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う	「那覇まちまーい」の実施に係る費用の支援	参加者数 11,500人	【今後のスケジュール】今後も観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学ぶの機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年間4回) ・チラシ・ポスター等作製(年間4回) ・資料梱包運搬業務(年間1回)	来館者数 11,150人	【今後のスケジュール】R1～3 那覇・沖縄の歴史文化に関する企画展の開催。 【R3成果目標】来館者数 11,270人	【R1成果目標設定の考え方】過去5年間の実績の平均値を基に目標値を設定した。
1	20	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の完了	(1) 仮設市場賃貸借の実施 (2) 商業支援業務等の完了	【R4成果目標】供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来訪者数目標256万人。 【今後のスケジュール】R1年度～R3年度 仮設店舗での営業、商業支援 R4年度 供用開始予定	【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年10回以上)	視聴者測定システムによる集計数 H29年度実績比12.6%程度増の19,800人(月平均)	【今後のスケジュール】大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取組む。	【R1成果目標設定の考え方】これまでの実績値と増加率を基に目標値を設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	・店舗へのサポート要員の派遣 ・語学講座の開催 ・クルーズ船受入に係る事業に対する支援	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も外国人観光客の受入体制の整備を図るため実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 沖縄県の「外国人観光客実態調査」の実績に基づき、80%と設定した。
1	23	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に案内所を配置する。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休 元旦除く) マチグラーの案内、広報誌の配布	案内所利用者数:28,200人 (H29年度実績 27,238人)	【今後のスケジュール】 引き続き、案内所を運営する。 案内スタッフの配置:常時1名以上 マチグラーの案内・広報誌の配布	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	24	沖縄国際映画祭関連事業	H25 ～ R3	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数 :92,000人 (参考:H30年度:国際通りレッドカー ペット63,000人/雷雨の悪天候のため)	【今後のスケジュール】 今後も観光客の誘客を図るため、沖縄国際映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	25	観光イベント等映像発信事業	H25 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	移動式車載大型ビジョンによるイベント時の現場映像の放映および県外・国外観光客への観光案内・PR等:75回/年 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:26回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:24回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:9回 ・貸出し:7回	来客数等 ・クルーズ船来客数:550,000人 (実績値) ・沖縄国際映画祭(国際通りレッドカー ペット)観客数:92,000人 ・那覇ハーリー来場者:192,000人 ・那覇大綱挽まつり来場者:272,600人 ・琉球王朝祭り首里来場者:48,600人 ・読売巨人軍那覇キャンプ見学者: 108,600人 (合計 1,263,800人)	【今後のスケジュール】 今後も移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	26	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R1	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	・具体的手法の検討(月1回以上) ・是正要請活動の実施(月25日以上(通り会との連携による要請は随時)) ・広報活動の実施(市の広報誌やホームページを活用し随時)	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 月平均640件以内	【今後のスケジュール】 通り会等の民間移行が可能か検討を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	27	観光協会ホームページ強化事業補助金	R1	安心安全に繋がる情報を提供することで良好な観光地のアピールを図るため、観光協会ホームページのリニューアルに対し支援を行う。	観光協会ホームページの強化構築に対する支援	観光協会ホームページの強化構築	<p>【R2成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページビュー月平均約21万件 ・本事業について、ページ閲覧者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を勘案して設定した。 ・ページ閲覧者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	28	「なはでナイト」開発事業	R1	本市における観光客の活動時間の延長、市内消費機会の増加を図るため、夜型観光エンターテインメントの創出・発信に向けた事前調査業務を実施する。	<p>A.現状調査</p> <p>I.定性調査</p> <p>ウ.マーケティング調査</p> <p>エ.その他調査</p>	「なはでナイト」調査報告書の作成	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>調査結果に基づき、短期的(1～2年程度)に実現可能な事案には翌年度以降取り組み、関係者の巻き込みなどが必要な事案には中期的(2～4年程度)に取り組む。</p> <p>【R3成果目標】</p> <p>観光客の市内ナイトコンテンツに対する満足度 80%以上</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> <p>観光客のうち大多数が市内ナイトコンテンツに満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24～R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等開催:1回 ・イベント等開催支援:3回 ・水産教室等開催支援:3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:5,748円以上 ・PRイベント来場者47,200人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:90人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に漁業組合等へ助成や企業及び組合等への業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を勘案して設定した。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24～R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	漁業者数 181名	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>
2	3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26～R3	マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図るため、市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援する。	外国人研修生受入:15名	マグロ延縄漁船数 47隻	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援することで、マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	販路開拓の前段となる商談会に出席して、商談の機会を増やし、商談成約を図る	・販路拡大支援: 6件 (県外4件、海外2件)	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施 【R3成果目標】 ・商談件数: 1,500件 (H24～R3累計) ・商談成約率 10年間平均値: 10%以上	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	那覇の物産展事業	H24 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、「那覇の物産展」の開催等を行う。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇の物産展の企画・開催	物産展来場者数: 74,000人	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及び物産展を開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	3	民間資金調達促進マッチング事業	H30 ～ R3	中小企業の資金調達の支援を図るため、市内の企業及び起業家等の施策に対し、民間等の資金の投資を促す環境を整備する。	(1)募集・事前審査 (2)メンタリング支援(マーケティング、資金調達等) (3)出資マッチングの場の開催 (4)プレゼン審査通過後のサポート	投資実行率: 50%	【今後のスケジュール】 中小企業の多様な資金調達方法及び民間資金投資環境整備を進めていく。	【R1成果目標設定の考え方】 市内事業所数および応募企業数等を勘案し設定した。
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R3	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動等を実施する。	意向調査: 3,000社以上に実施 企業訪問: 本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング: 1回	誘致企業: 3社 ビジネスマッチング参加企業: 30社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナーや企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を実施する。	課題解決型セミナー 専門家派遣	セミナーや専門家派遣を、実施事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上とし、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、市内事業者を対象とした、課題解決型のセミナーの実施、企業の実情にあった制度導入のための専門家派遣を実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 事業者へのアンケート調査等を実施し、セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	6	頑張るマチグラー支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内38地点で、歩行者通行量の調査を行う。	中心商店街の平日歩行者通行量 139,000人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去2年間の伸び率の平均値を最新データ(H29年度)に乗じて目標値を設定した。
3	7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R3	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	経営課題に対する各種相談及び指導:50回以上 企業ニーズや関連業界のトレンドに関する教育研修・セミナー:5回以上 事業マッチング支援:5件以上 地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に経営課題の相談や指導、セミナー等を実施し、なは産業支援センター入居企業及び市内・県内企業を育成し、産業の振興発展、経済活性化を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、事業者へのアンケート調査を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	8	企業立地促進事業	H28 ～ R3	雇用の創出及び企業の立地促進を図るため、市外から市内へ新規に事務所を設置した企業に助成を行う。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:22名 ・新規企業立地社(申請者):4社	【今後のスケジュール】 今後も、雇用の創出及び企業の立地促進を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	9	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・創業・就職相談実施 ・創業・就職セミナー開催	相談窓口利用者2,000人 創業者6人以上 就職した人数の割合3.09%	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績と那覇市創業支援事業計画を勘案して設定した。
3	10	新商品開発支援事業	H29 ～ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	・支援対象事業者数:5社以上	新商品開発完了	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て、販売等を行う。 【R2成果目標】 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の件数が、開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	【R1成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。
4	2	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船の寄港回数 272回以上	【今後のスケジュール】 引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を基に設定した

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	1		活き活き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ R1	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	・建設工事の実施 ・建設工事の監理業務の実施 ・備品整備の実施	・建設工事の完了 ・建設工事監理業務の完了 ・備品整備の完了	【R2成果目標】 供用開始後1年目(R2年度)の目標を以下のとおりとする。 外国人観光客の対応のための講座参加者数 5,600人以上 伝統文化活動、地域交流活動の活動者 10,700人以上 外国人との交流参加者 1,200人以上 【今後のスケジュール】 ・R1年度 建設工事、工事監理、備品整備 ・R2年度 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 H26年度策定した基本構想、類似実績、真和志南地区のこれまでの活動等を踏まえ、設定した。
6	1		基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 小学校(全36校) ・学習支援ボランティアの派遣 小中学校(学校の申請による)	沖縄県学力到達度調査の県との差 小学校算数(3年):1.3ポイント 中学校数学(2年):3.3ポイント	【今後のスケジュール】 学習支援員及び学習支援ボランティアを派遣し、継続して支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、過去の県平均正答率との差 小学校:前年度実績より+0.1ポイントの改善 中学校:前年度成果目標+3.2に対し0.1ポイントの改善
6	2		英語指導員配置事業	H24 ～ R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語指導員の配置 小学校(外国人14人、日本人12人) 中学校(外国人10人)	・本事業について、児童へのアンケート調査を実施し、英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 ・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 62.5%以上(前年度の実績以上)	【今後のスケジュール】 英語指導員を小学校及び中学校に配置し、長期的な英語指導を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 ・大多数の児童が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。 ・英語能力判定テストにおいて英検4級レベルの生徒の割合を前年度実績以上とした。 実施時期が中学生3年5月であるため、2年生修了程度の目安となる4級レベルの割合としている。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	3	特別支援教育充実事業 (小・中学校)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	・特別支援教育ヘルパー配置 小中学校:計88人 ・学校の要請による相談員の派遣: 教育相談・検査・面談等の実施	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 教育相談員や特別支援教育ヘルパーを配置し、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	4	特別支援教育充実事業 (認定こども園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【特別支援教育ヘルパーの配置】 特別な支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する <ヘルパー配置基準> (1)障がい者手帳1級・療育手帳Aレベル程度 1人に対し1人配置 (2)障がい者手帳2級・療育手帳Bレベル程度 2人に対し1人配置 (3)その他支援を要する幼児 5人に対し1人配置 (配置目途数)教育時間中46人、預かり保育時間中20人 【特別支援教育主任ヘルパーの配置】 障がい者手帳1級又は療育手帳Aレベル相当で、且つ個別支援計画等による支援を特に必要とする園児が在籍する園に配置する(配置目途数)7人 【巡回相談員の派遣】 対象園児の保護者やヘルパー、学級担任等の相談依頼に応じて派遣する(派遣目途数)17園×2回配置基準に沿った適正配置に努める。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R3	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	・健診後の発達相談、親子教室、育児教室等の開催を通して、早期把握、早期支援を行う。 ・母子保健推進協議会の発達支援部会を開催する。	「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業をとおして発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」と考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	6	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	小学校第4学年の、全国での位置づけが判る学力調査の実施により、実態や課題を把握し、結果概要を作成し学力向上の推進を図る。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 那覇市内全36小学校が全国平均を超えることを目指し、また定着を確認するため令和3年度まで毎年実施予定。	【R1成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数が授業の改善に役立ったと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	7	不登校対策等支援事業	H24 ～ R3	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	臨床心理士等の配置数:9人 きら星学級支援員の配置数:9人 " 事務員の配置数:1人 学習支援員の配置数:3人	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	【今後のスケジュール】 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。 不登校対応についての共通確認を図る研修会を開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 那覇市は全国的にみて不登校の児童生徒の不登校率が高く、その改善が必要である。そのため不登校児童生徒の登校復帰率の向上を目標とする。
6	8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R3	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	教育相談支援員の配置率(数) 小学校:100%(36校:36人) 中学校:100%(17校:17人) 生徒サポーターの配置率(数) 中学校:100%(17校×2人)	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	【今後のスケジュール】 学校内の相談室において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援を継続的にを行い、学校との連携を深める。	【R1成果目標設定の考え方】 那覇市は全国的に不登校の児童生徒の不登校率が高く、その改善が必要である。そのため不登校児童生徒の登校復帰率の向上を目標とする。
6	9	青少年旗頭事業	H24 ～ R3	伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ伝統文化の旗頭演舞指導を実施 ・児童生徒の成果発表の場として旗頭フェスタ開催 ・旗頭の制作及び修繕	旗頭フェスタに参加した児童生徒数: 940人	【今後のスケジュール】 今後も伝統文化の保存継承を図るため「旗頭フェスタ」を開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 H30年度の目標を据え置いた。
6	10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ R3	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	専任指導員の配置数:6人 青少年指導員の配置数:80人	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.8%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に巡回指導を行い、実態の把握と青少年の非行未然防止と早期発見及び対応を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 那覇市を除く沖縄県の実績値と同等とする指標に設定した。
6	11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 大会等派遣児童生徒数(累計) R3年度:3,600人	【R1成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の県外派遣の補助を継続的に行い、費用の一部を助成することにより、大会への積極的な参加を促す。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	13	自然体験学習事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数：小学校：36校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合(89.3%以上)を含め、学校からの報告により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 対象学年において、自然体験活動を継続して実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 活動実施後に学校から報告される報告書にて把握する。 前年度の実績を踏まえ、実績と同等以上を目標値とする。また、学校からの報告により、当該事業のあり方について検証する。
6	14	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	・校舎等外壁の塗装：小学校1校 ・実施設計：中学校1校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 外壁等の剥離件数：0件 外壁の亀裂等件数：0件	【今後のスケジュール】 R2...中学校1校 R3...小学校2校、中学校2校	【R1成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能文化や優れた芸術作品にふれる機会の確保を図るため、「地域文化芸能公演」を行う。	地域文化芸能公演及びワークショップの開催	地域文化芸能公演への来場者850人以上	【今後のスケジュール】 継続的に地域の文化に触れる機会を確保するため、公演等を実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 各イベントごとの直近の実績に基づいて目標を設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R2	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、外構追加設計業務、施設本体の建設工事等を実施する。	施設本体建設工事 一式 建設工事業務委託(監理) 一式 外構追加設計業務 一式	・施設本体建設工事 2年目完了 ・建設工事業務委託(監理) 2年目完了 ・外構追加設計業務 完了	【R3成果目標】 年間利用者数 延べ20万人 【今後のスケジュール】 R2 建設工事(最終年度)等 R3 開館	【R3成果目標設定の考え方】 施設規模や稼働日数等を想定し設定した。
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	本市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	【今後のスケジュール】 本市の民俗芸能を保存継承するため、継続的に支援を実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 民俗芸能を保存継承するため、現状を維持することとし、民俗芸能団体数を指標として設定した。
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	公立保育所への講師派遣:6ヶ所(144回)各市立保育所が存立する地域の伝統文化に精通する講師を保育所に派遣し、児童に伝統文化を学習及び体験させる。	伝統文化に触れ合う園児数:434人	【今後のスケジュール】 公立保育所6カ所へ専門講師を派遣し、幼児期から伝統文化に触れ合うことのできる環境を整備していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえつつ、昨年度の課題としていた1歳児も対象とした人数を目標数値として設定した。
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R3	子どもたちの伝統芸能活動等の発表の場として、「子どもフェスタinなは」を開催する。 ・開催日:令和元年12月予定 ・開催場所:牧志駅前ほしぞら公民館等	伝統芸能の保存継承を図るため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	子どもフェスタ参加した児童生徒数:730人	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	6	なは青年祭補助事業	H29 ～ R3	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	・「なは青年祭」を開催、青年団体等の活動発表の場を創出	なは青年祭の出演団体、参加者数 20団体、280人	【今後のスケジュール】 今後も地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため「なは青年祭」の開催を支援する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	1	認可外保育施設の環境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	改修施設数 1施設 衛生消毒及び防虫駆除実施施設数 約60施設	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に、施設の害虫駆除や改修等により保育環境の向上を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数の保育従事者や保護者等が保育環境が向上したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対し、賃借料補助を行う。 ・対象放課後児童クラブ数:55クラブ	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 賃借料補助を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正、保護者の負担軽減及び利用児童の増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値としてと設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	3	ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ R3	市内の保育施設への入園の支援を図るため、保育施設情報総合サイトによる情報発信等を行う。	保育施設情報相談員(1名)を設置しての相談対応 保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を活用した相談対応 保育施設情報(紙媒体)による窓口での紹介。	待機児童数の減少割合 10%以上	【今後のスケジュール】 保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を有効に活用し、認可外保育所を含めた保育・教育資源の紹介等の保育相談をきめ細かにを行い、待機児童の解消を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 平成26年度以降の待機児童数推移から考え、10%前後の減少が見込まれるため。
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ R3	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	研修実施 絵本等配付 一施設あたり約20冊 (絵本等とは、絵本、紙芝居も含む)	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 80%以上	【今後のスケジュール】 「絵本等読み聞かせ」の定着を図る目的により保育計画等の導入率を把握し、今後も維持できるよう継続していく。	【R1成果目標設定の考え方】 立入調査で保育計画を確認し、「絵本等読み聞かせ」の導入状況を確認する。認可外保育施設の件数は、年度途中での閉園や認可化移行により変動があるため、割合(率)で設定した。また、読み聞かせ導入率の80%以上については、概ね読み聞かせが実施されているといえる数値として設定した。
8	5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等さまざまな人を支援するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置:1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱え、困っている人が気軽に相談でき、早期に支援が受けられるよう相談窓口の体制を継続的に強化する。	【R1成果目標設定の考え方】 生活課題を抱えた相談者が相談したことにより課題の解決に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	6	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員の配置:1名	・ボランティア登録者数(新規) 77人 ・ボランティアのマッチング件数 305件	【今後のスケジュール】 ボランティア活動を促すため、今後もボランティア活動のコーディネートを継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 行政の福祉サービス等には該当しない生活課題を地域のボランティア等の相互扶助の構築が求められており、ボランティア事業を促進するため、ボランティア登録者数(新規)及びマッチング件数の値として設定した。
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R3	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	・海外の那覇市民会から研修生の受入:2名 ・沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会の提供	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 南米各国の那覇市民会等において、那覇市との懸け橋となる人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R3	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎県より中学生40名が来沖し、本市中学生40名と合同で平和学習(南部戦跡巡り等)を行う。(派遣事前研修) ・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定:8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
10		未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ～ R3	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、地権者等との合意形成を図る。	地権者等合意形成活動 ・先進地視察(1回) ・次世代の会定例会(10回) ・地権者向け情報誌発行(2回:3000部発行)	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R2 中南部エリアにおける那覇エリアの位置づけ整理 R3 那覇軍港周辺エリアのまちづくり基本構想の検討 R4 那覇軍港跡地の開発計画の検討(まちづくり基本構想等の作成)	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の者が満足していると考えられる数値として80%以上を指標に設定した。
11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R3	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期救命講習会の実施:27回(普通救命講習/12回、普通救命講習/8回、上級救命講習/3回、普及員講習/4回) ・出前救命講習会の実施:120 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回	応急手当講習受講者数:6,500人以上 救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 受講者のうち大多数が緊急時に応急手当を実施できると考えられる値として設定した。また、講習会実施後のアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
12	1	地下壕対策事業	H24 ～ R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	地下壕対策工事(1箇所)の着手	地下壕対策工事(1箇所)の完了	<p>【R2成果目標】 対策を実施した地下壕での事故発生件数 0件</p> <p>【今後のスケジュール】 令和2年度 地下壕対策工事完了(1箇所) 令和3年度 地下壕実施設計完了(1箇所) 地下壕対策工事完了(2箇所)</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 危険性のある地下壕の対策工事を行うことで、陥没・落盤等の事故や、子供たちの地下壕への侵入による事故の防止に繋がると考え、設定した。</p>
13	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R3	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5回	健康ウォーキング大会 参加者 5,000人以上 満足度 90%(参加者アンケート)ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合80%(受講者アンケート)	<p>【今後のスケジュール】 令和1年度～3年度 健康ウォーキング大会の開催 「健康フェア」「なは青年祭」との同時開催 開催数:1回/年 大会参加者数:5,000人以上(参加者数増) ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年 講座参加者数:600人 (H26年度からの参加者数維持)</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 ・1～4回大会の参加者が4,000人前後で推移して、5回大会は約4,500人の参加があり、定着が図られたと考えられる数値として4,000人以上とした。</p> <p>・運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能であるカチャーシーの保存継承を図るとともに、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援し、観光誘客を図る。	はごろも祭り・カチャーシー大会への支援	カチャーシー大会演舞者数： 個人の部：41名、団体の部：25団体 はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数：160,000人	【今後のスケジュール】 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催し、市の歴史・文化の継承及び観光誘客を図る。	企画展を開催：2本	企画展1本あたりの平均入館者数： 1,300人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ R3	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	【今後のスケジュール】 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらR3年度まで支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	文化財に文化財説明版と標識を作成設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置件数：2件 地域文化財案内板：1件	【令和2年度成果目標】 地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 地域・市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められることにより、文化財を活かした「地域学習」や「地域づくり」に反映され、地域に愛着と誇りを育む「地域アイデンティティ創出の糸口」となる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ R3	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭への支援	琉球海炎祭来場客総数：15,000人 のうち県外客数：6,000人 のうち海外客数：2,000人	【今後のスケジュール】 イベント開催を支援することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗 (10,000鉢)	宜野湾海浜公園の景観形成について、魅力的なプロ野球キャンプ地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 プロ野球キャンプ地としての魅力的な景観形成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の来場者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ R3	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	イベント来場者数:7,000人	【今後のスケジュール】 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及び周辺施設の整備を実施する。	宜野湾海浜公園施設等再編整備基本構想・基本計画をベースに実施設計	利用促進、誘客促進に向けた整備設計の完成	【R3年度成果目標】 (市立グラウンド) 整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。 【R4年度成果目標】 (事業完了による海浜公園全体の利用者数)61.1万人 【今後のスケジュール】 R1 実施設計 R2 エントランスエリア1工区・グラウンド整備 R3 エントランスエリア2工区	【R3成果目標設定の考え方】 (市立グラウンド)利用者のうち、大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R4成果目標設定の考え方】 (事業完了による海浜公園全体の利用者数)過去の実績を参考に設定した。
1			嘉数高台公園施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	嘉数高台公園施設整備計画をベースに実施設計	老若男女、少数から団体まで、利用者の利便性向上に向けた着実な実施(嘉数高台公園施設整備実施設計の完成)	【R4年度成果目標】 整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。 【今後のスケジュール】 R1 実施設計 R2 プロムナード周辺整備工事 R3 展望台改修・園路バリアフリー化整備工事	【R4成果目標設定の考え方】 利用者のうち、大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30～R2	宜野湾市内外に認知されたプロ野球チームのキャンプ地である市立野球場において、キャンプ受入体制を確保するため、市立野球場の施設改修を実施する。	バックネット改修実施設計、スコアボード改修工事	2021春季キャンプの供用開始に向けた事業の着実な実施(バックネット改修設計及びスコアボード改修工事の完成)	【R3年度成果目標】 プロ野球キャンプ実施件数:1件 スポーツ合宿誘致件数:3件 【今後のスケジュール】 R1 スコアボード・バックネット改修 R2 フェンス改修工事	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			博物館機能強化事業	H26～R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の機能強化を実施する。	館内施設整備(空調設備改修設計)	館内施設整備(空調設備改修設計)の完了	【R4年度成果目標】 年間利用者数 24,573人 【今後のスケジュール】 R2: 館内施設整備(空調設備改修工事) R3: 館内施設整備(企画展示室及び館内トイレ改修)	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			宜野湾市ハートポスト設置事業	R1	平成30年9月16日に引退した安室奈美恵さんの最後の引退ライブを行った市海浜公園が安室ファンの中で聖地となっていることから、「ALLFOR916」より寄贈されたハートポストを活用した施策を展開し、本市西海岸エリアへの観光客の誘致を図る。	・ハートポスト及びハートオブジェの展示 ・ハートポストレプリカの製作、設置 ・安室奈美恵さんとの関係企業と著作権、肖像権に係る調整を行う。	ハートポスト投函数 500通/月	【今後のスケジュール】 ・安室奈美恵さんが引退した日、(令和元年)9月16日に合わせて、ハートポストレプリカの設置とハートポストにちなんだ風景印の押印のサービスを開始とする。	【R1成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。
2			スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校と連携しながら寄り添い支援等をおこない、関係機関につなぎ不登校や問題行動等の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	小学校9校に各1名 中学校4校に各2名の計17名の学校配置とセンター内にコーディネーター4名及びアドバイザー1名を配置 学校と連携し寄り添い支援や関係機関につなぐ支援活動を実施	スクールソーシャルワーカーの支援を受けている児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 30%	【今後のスケジュール】 配置されたスクールソーシャルワーカー(学校配置の相談支援員、センター配置のコーディネーター、アドバイザー)の業務分担や役割を整理、強化し学校との連携により児童生徒の支援に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			適応指導教室事業	H24～R3	不登校児童生徒の適応指導に関する調査研究、相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室支援児童生徒数:4名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			児童生徒等相談事業	H24～R3	教育上の課題を抱える青少年の相談支援のため臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、課題への早期対応、改善に取り組む。	臨床心理士2名と青少年教育相談指導員3名を配置 教育相談等を実施	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 19%	【今後のスケジュール】 配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと連携し困り感のある子どもの相談対応をし、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			非行防止等巡回活動事業	H24～R3	青少年の健全育成に寄与するため、街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し、関係機関や地域と連携し青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	4中校区から各4名の街頭指導員を計16名委嘱し、4グループを編成 4名1グループが週3回(平日21時～23時)(金・土曜日21時半～23時半)の公園を中心に巡回し夜間街頭指導等を実施	街頭指導件数 622件以下	【今後のスケジュール】 地域や学校からの情報を活かし、季節に見合う巡回指導を強化することで、青少年の深夜はいかいい、非行防止や事件事故の抑止につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			学習支援員活用事業	H24～R3	小中学校において、学習の定着が不十分な児童生徒に対して学習支援を行うことで、学習意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、基礎的・基本的な知識・技能を確実に取得させ、学力の向上を図る。	学習支援員の配置:13校13人 小学校9人・中学校4人	県到達度調査における県平均正答率との差 ・小学校(3年～6年) 国語: +4%以上(3年生、5年生のみ) 算数: +3%以上 ・中学校(1年～2年) 数学:0%以上	【今後のスケジュール】 R2年度までに、宜野湾市総合平均と全国平均との差を小学校は+5%、中学校は±0%。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			派遣費補助金交付事業	H24～R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数:15団体 (文化活動団体数:5団体、スポーツ活動団体数:10団体)	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1～R3の支援団体見込数は、概ね45団体 各年度:15団体	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟登録している団体又は個人の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	知的、情緒障がいなどの課題を抱える幼児・児童生徒に対し、障がいの程度に応じ、特別支援教育支援員をマンツーマンまたは複数人に1人を配置する。 幼稚園15人、小学校45人、中学校20人配置	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)	特別支援教育支援員(幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)支援員による声かけ及び支援により学習に向かう態度を身につけさせ、幼児児童生徒、学校、保護者が安心して学校生活を送ることができる。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 H30以降の配置 特別支援教育支援員の配置:幼稚園(9園)15人、小学校9校45人、中学校20人。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の保護者のうち、大多数が満足していると考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	大謝名メヌカーの保存整備工事を行う。	大謝名メヌカー保存整備工事:1件	【R2成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上 【今後のスケジュール】 大謝名メヌカー保存整備工事を行い、安全に市民、観光客等に公開活用し、観光振興・文化教育につなげる。 H28年度:保存計画検討 H29年度:保存整備踏査設計完了 R1年度:保存整備工事等完了 R2年度:公開	【R2成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。
3			歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等と写真類を整理し、市民サービスに資するためデータベースへの登録を行い、公文書の公開を行う。	・歴史的価値を有する公文書等の整理 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を継続して整理を完遂させ、公開できる簿冊等を増やすとともに、歴史公文書の順次公開をすすめていく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			平和市民啓発事業	H24 ～ R3	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名(中学生)を派遣する。 沖縄戦から70年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	平和学習派遣生徒数:8人 平和祈念事業を行う	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H24～R3年度 平和学習派遣:各年度8人 累計8人	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			小学校英語教育課程特例校事業	H24～R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。またALT及びJTE各校派遣にあたってコーディネーターを配置する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	小学1年生～4年生:英語による質問4項目に対する平均正答率84%以上 小学5年生プラスコース総合平均正答率89%以上、6年生シルバーコース総合平均正答率84%以上	【今後のスケジュール】 H24～R2年度 小学1年生～4年生:英語による質問4項目に対する平均正答率84%以上 小学5年生プラスコース総合平均正答率89%以上、6年生シルバーコース総合平均正答率84%以上	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
4			外国人教師招致事業	H24～R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1ポイント以上	【今後のスケジュール】 H24～R2年度 3級以上の受験率を60% 5級合格率90%	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
4			学校ICT活用指導支援事業	H24～R3	ICT支援員を定期的に市内小中学校へ派遣し、ICTを活用した子ども達の理解が深まる授業の展開や児童生徒のICT機器活用能力の向上を図る。	IT活用主任嘱託員1名、補助員1名配置 情報夏期講習会(小学校電子黒板活用研修会)9回 情報教育研究会検証授業4回	教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校70%以上、中学校80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	ICT機器活用推進事業	R1	児童の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校の普通教室、特別教室等に電子黒板、書画カメラ、教材等送受信装置等を整備する。	市内小学校へICT機器の整備を行う電子黒板、書画カメラ、教材等送受信装置等	<p>教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる率を80%以上を目標とする。</p> <p>児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校80%以上、中学校80%以上。</p>	<p>【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器を活用した情報教育授業を推進する。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、電子黒板等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p> <p>事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。</p>	
4	中学校短期海外留学派遣事業	R1～R3	本市在住中学生10名を、アメリカ合衆国に短期海外留学生として30日間派遣し、ホームステイを基本として、語学研修や各種アクティビティを体験しながらコミュニケーション能力の向上と国際的な視野を育成する。	アメリカ合衆国への短期海外留学生として10名派遣	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 R1～R2年度 短期海外留学派遣</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値を設定した。</p>	
5	市民防災事業	H27～R3	<ul style="list-style-type: none"> 災害時備蓄食・保存水糧購入 避難所用簡易トイレ購入 自主防災組織資機材整備補助金交付 	<ul style="list-style-type: none"> 5,500食の備蓄食料を備蓄する。 552Lの保存水を備蓄する。 避難所へ簡易トイレを整備する 設立した自主防災組織への資機材整備の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保存食の備蓄 R1年度備蓄食糧率93% (H30年度備蓄食糧率75%) 保存水の備蓄 R1年度備蓄率19% (H30年度備蓄率19%) 避難所簡易トイレの購入 自主防災組織への資機材整備 (H30年度整備:2団体) 	<p>【R2成果目標】 ・整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)の実施。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・令和3年度までに目標の約2.7万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的に行い、常に約2.7万食を備蓄し、大災害に備える。 ・福祉避難所へ簡易トイレを整備する ・市内すべての自治会(23自治会)において自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。</p> <p>【R2成果目標設定の考え方】 ・本事業の目的から、本来災害時の活用状況等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、防災訓練(1回以上/年)により検証を行うことで、住民及び観光客等の安全確保に繋がると考え、成果目標と設定した。</p>	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
					R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	若手の会、NBミーティングの定例会等の活動支援を行う。 字毎の意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	調査内容報告書の作成	【R3成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」 80%以上 【今後のスケジュール】 令和元年度~2年度 検討内容の市民、県民及び地権者等への発信	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
6			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ~ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	【R3成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」 80%以上 【今後のスケジュール】 令和元年度 配置方針図の更新 令和2年度 跡地利用計画(素案)策定	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
7			被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行い、農家の生産量の増加を図る。	H30年度申請件数:19件	被覆資材等導入面積:47,000㎡	【R3成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5% 【今後のスケジュール】 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。
8			多様な働き方就労支援事業	H28 ~ R3	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	就業希望者に対し、就職に優位なスキルを取得させる。	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名以上 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	【今後のスケジュール】 引き続き就労支援事業を実施し、多様な働き方につながる雇用機会を創出していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9			宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ R3	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	・生活支援コーディネーターによる就労支援及び生活全般の相談・同行支援 ・支援対象者 10世帯	支援対象者にうち自立につながった割合 8割以上	【今後のスケジュール】 支援対象者 H30年度 10世帯 R1年度 10世帯 R2年度 10世帯	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
10			地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した協議会を開催し、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、小中学生を対象にした職業体験イベント等を実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の開催(3回) ・小学校、中学校毎に職業体験プログラムの実施	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連携協議会の活性化を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11			宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30 ～ R1	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事の完了	空調機工事の完了	【R3成果目標】 入居企業数 10社 【今後のスケジュール】 H30:空調機工事の実施設計 R1:空調機工事	【R3成果目標設定の考え方】 宜野湾ベイサイド情報センターを企業の創業支援等の場として引き続き活用することが目的であるため、現在の入居企業社数10社(入居率100%)を維持することを目標として設定した。
12			市民会館機能強化事業	R1～ R3	宜野湾市民会館は芸術文化活動の拠点として、市民の舞台発表や芸術鑑賞の場として活用されているが、建設から35年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる。 普天間飛行場の移設が完了し跡地利用に至るまでに長期間を要することが想定されるため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り中長期的な利活用を目指す。	変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 市民会館発電機更新【設計】 市民会館発電機更新【工事】 3階トイレ改修【設計】 3階トイレ改修【工事】 バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 市民会館発電機更新【設計】 市民会館発電機更新【工事】 3階トイレ改修【設計】 3階トイレ改修【工事】 バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	【R3成果目標】 年間利用者数 59,287人 【今後のスケジュール】 R1:発電機工事等 R2:大ホール・集会場天井落下防止対策工事等	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13	宜野湾市みどりの風景づくり基礎調査事業	R1～R3	自然環境の保全・再生、みどりに包まれた魅力的な都市環境の創出に向けて、官民一体となった緑地の保全や緑化の推進に関する方針を定めるための基礎調査を実施する。	・都市概況調査(自然・社会的条件) ・緑の現況調査 ・緑に関する市民意向調査 ・緑地保全・緑化に関する施策の評価 ・緑の風景づくりに向けた課題分析及び施策の基本方向	基礎調査の完了	<p>【R2成果目標】 基礎調査結果を踏まえて緑化の保全・推進に係る将来の目標値を設定し、目標値に対応した各種施策を実施・検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和元年度：基礎調査の実施 令和2年度：「景観形成重点地区」の指定など、基礎調査で定めた将来の目標値の実現に向けた施策等を実施する。 令和3年度：「景観形成重点地区」の追加指定や、緑化推進事業など、基礎調査で定めた将来の目標値の実現に向けた施策等を実施する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 本事業において策定する基礎調査に基づいて将来の目標値を設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該調査で設定した目標値を指標とした各種施策を実施・検証していくこととした。</p>

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光誘客プロモーション事業	H24～R3	観光誘客を図るため、観光情報の発信及びプロモーションを行う。	観光誘客PR業務の実施	PRブース来場者数:1,150人以上 アンケートにおける来島希望者の割合100% 映画撮影ロケ地誘致件数:1件 交流戦応援ツアー来島86名以上	【今後のスケジュール】 観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24～R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿を誘致し、来場観客数の増を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	スポーツツーリズムの推進とスポーツコンベンションの誘致	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体 プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数27,000人	【今後のスケジュール】 体育館施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光地受入基盤強化事業	H24～R3	観光誘客を図るため、クルーズ船寄航回数の増を図るため、クルーズ船受入事業を行う。また、星空学びの部屋や南の島の星まつりなどを活用した星空資源広報業務を行う。	クルーズ船受入事業実施 ○星空資源広報業務 ○観光プラットフォーム会議の開催 ○地元高校生による観光パンフレット作成業務 ○南の島の星まつりへの補助 とらばらーま大会への補助	クルーズ船寄港回数:112回以上 星空学びの部屋の来場者数:4,500人以上 島内の観光産業への就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 南の島の星まつりの来場者数:9,000人 とらばらーま大会へ来場者数:3,000人	【今後のスケジュール】 「石垣市観光基本計画」に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25～R3	空港利用者の利便性の確保を図るため、空港ターミナル内において、観光案内所を運営する。	観光案内人の配置:3名	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	【今後のスケジュール】 本市玄関口での観光案内人による接客力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	石垣市内文化財環境整備事業	H27～R3	石垣市内にある重要文化財等を保全し、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備し、石垣市の魅力を発信する。	文化財案内板設置 危険枝等除去	文化財案内板設置の完了 減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	【R4成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回程度開催) 【今後のスケジュール】 R2 文化財案内板設置・危険枝等除去 R3 多言語説明板設置・危険枝等除去	【R4成果目標設定の考え方】 月1回の開催を想定して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24～R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食い等により状態の良くない古文書等を修復し展示等を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、調査・研究等に活用する。	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	新聞資料2点、絵画資料10点の修復及びデジタル化を行う。	<p>【R2成果目標】 令和元年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人を目指す。</p> <p>【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良くないものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。</p>	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	大浜地区歴史遺産活用事業	H25～R1	市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。	駐車場、芝生広場の整備の実施	駐車場、芝生広場の整備の完了	<p>【R2成果目標】 地元のエコツーリズム団体や企業OB会等が実施する遺跡見学会の参加者数：200人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 市民の学習及び観光資源としての活用促進に取り組む。</p>	【R2成果目標設定の考え方】 類似した過去のツアー実績を勘案して設定した。	
2	旧空港跡地環境影響評価事業	H24～R2	旧石垣空港跡地の有効利用に向けた土地区画整理事業の都市計画決定、事業認可、事業実施を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。	環境影響予測評価及び準備書手続の実施	環境影響予測評価及び準備書手続の完了	<p>【R3成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用</p> <p>【今後のスケジュール】 R1 環境影響予測評価、準備書手続 R2 評価書手続</p>	【R3成果目標設定の考え方】 旧空港跡地利用計画を勘案して設定した。	
2	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24～R2	クルーズ船で寄港する観光客の利便性確保を図るため、新港地区クルーズ船専用護岸に屋根付き歩道を整備する。また、外国船受け入れに必要な埠頭保安規程の改定及び保安設備(照明、監視カメラ、フェンス、ゲート等)の整備を行う。	屋根付き歩道の一部整備実施 埠頭保安規程の改定実施 保安設備の一部整備実施	屋根付き歩道の整備の一部完了 埠頭保安規程の改定完了 保安設備の整備の一部完了	<p>【R3成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 屋根付き歩道の整備 R2 保安施設の整備</p>	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ R3	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。	あんぐん公園工事の実施	あんぐん公園工事の完了	<p>【R2成果目標】 ・あんぐん公園 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を公園利用者を対象としたアンケートで検証</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 宮島公園整備 R3 うぶ公園整備</p>	【R2成果目標設定の考え方】 アンケート対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ R1	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、平久保半島エコロードの整備に必要な道路整備工事を行う。	道路整備工事の実施	道路整備工事の完了	<p>【R2成果目標】 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人</p> <p>【今後のスケジュール】 スポーツツーリズム資源としての活用促進に取り組む。</p>	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、観光施設の整備、改修を行う。	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の実施 平久保灯台駐車場の実施設計の実施	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の完了 平久保灯台駐車場の実施設計の完了	<p>【R2成果目標】 ・玉取崎展望台 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2年度:底地ビーチ設計・工事 R3年度:米原キャンプ場設計・工事</p>	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			社会復帰支援実証事業	H27 ～ R1	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者に対し、一般企業での常用就職を目的として、就労の機会を提供し職業訓練を行うと同時に、就職活動の支援を行う。	生活困窮者の求職支援の実施	支援対象者の71%以上が就職	<p>【今後のスケジュール】 生活困窮者に対する求職支援を実施する。</p>	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の増加を図るため、保育所等が実施する取り組みについて支援等を行う。	○島外保育士の渡航費・転居費等の支援 ○潜在保育士の再就職の支援 ○未就学児を持つ保育士の再就職の支援 ○保育士養成校への支援 保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加 保育士養成校在学生・潜在保育士の合同就職説明会ツアーの開催	本事業により増加した保育士による受入可能園児数:216人増	【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。	【R1成果目標設定の考え方】 開園を予定している保育園数を勘案して設定した。	
3	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の自立を図るため、自立へ向けた具体的な目標及び意欲があるひとり親家庭に対し、家賃補助等の住宅支援や、生活及び就労支援を行う。	年間支援対象世帯数:5世帯	支援開始1年後の自立した世帯数:4世帯以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 他自治体の過去の実績を勘案して設定した。	
3	商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業	H24 ～ R3	本市の中心市街地及び商工施策基盤づくりを目的に、中心市街地の賑わい創出を行う。	公設市場の一部リニューアルを実施 本市商工業分野の人手不足の現況と解決方を検討する調査の実施	観光客等からの衛生面での苦情件数0件 商工業分野の事業者に対し、人手不足現況調査報告書が今後の人手不足解消に役立つと感じたか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	【今後のスケジュール】 中心市街地が更なる賑わいを創出できるような施策を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 対象事業者のうち大多数が人手不足の解消に役立つと感じられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	ものづくり分野の販路開拓や経済振興を図ることを目的として、特に税関空港に指定された石垣空港からの海外輸出の促進に取り組む。また、特産品の島内外でのPRや話題創出やプレゼンテーションの実施、伝統工芸や手仕事における人材育成および原材料確保の取り組みを実施する。	税関空港として、農林水産物や特産品の販路開拓 本市のものづくり分野のプロモーション活動の実施 八重山上布技術者の養成 やきもの用原土掘削及び運搬	保税蔵置場を利用した輸出货量:2.5トン以上 県内外でのPR催事時の平均来場客数2,500人以上 八重山上布の研修終了者:15人以上 石垣島粘土の使用窯業者数:15事業者以上	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	石垣市就業支援事業	H30 ～ R3	本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。	石垣市グッジョブ連携協議会による、小学生向けの職業体験イベントの開催や中学生向けのキャリア教育セミナープログラムの実施	「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:850名 島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	【今後のスケジュール】 島内での就業意欲が向上する施策を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数が意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R3	石垣の牛の出荷頭数の増加、伝染病等の防止及び、肉用牛の販売額の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用支援や靴底消毒及び、石垣牛の宣伝などを一体的に推進する。	靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル) 優良母牛導入補助の実施 高齢母牛淘汰補助の実施 石垣牛広告を電光掲示 殺虫剤購入費補助の実施 優良肥育素牛への補助実施	伝染病等にかかった頭数:0頭 平均出荷頭数:553頭/月 石垣牛平均販売額:1,440千円以上	【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R1、2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	農水産物プロモーション事業	H27 ～ R1	石垣島産農水産物の認知度向上のため、石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設(アンテナショップ)の運営を行う。	石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設の設置及び運営企画	情報発信拠点施設への来場者数: 3,000人	【今後のスケジュール】 石垣島産農水産物の認知度向上に向けた施策を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市は離島県の離島であるため、島外への出荷は空路に限定される。しかし、空路は輸送費を多大に要し、漁家経営を圧迫する要因の一つとなっているため、沖縄本島までの空路輸送費を陸路輸送費並みにすることで、地理的不利性を解消し、島外への出荷量を増加させる。	生鮮水産物の輸送支援(沖縄本島)の実施	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量: 120トン	【今後のスケジュール】 島内需要と島外出荷との需給バランスをみながら、沖縄本島への出荷量が更に増加するような支援を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	水産振興事業	H24 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	沖縄ミーバイ種苗の輸送支援	沖縄ミーバイ種苗輸送数:64,000尾	【R5成果目標】 沖縄ミーバイ生産量:32t 【今後のスケジュール】 ミーバイ生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【R1、5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	石垣島産マグロ類販売力強化事業	H30 ～ R2	市民や観光客に島産マグロを広く知ってもらい、島内漁業の振興を図るため、試食会の開催など地域向けの販売促進活動や、インターネットを活用した情報発信ができる環境を整える。	試食会の開催 水産物の情報発信環境の構築 漁法毎によるマグロ水揚げの周知	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	【R2成果目標】 地元セリにおけるマグロ類平均セリ単価:760円/kg 【今後のスケジュール】 全国に向け島産マグロの情報を発信	【R2成果目標設定の考え方】 過去のセリ単価を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	防災行政無線設備デジタル化移行工事の実施(17基)	防災行政無線設備デジタル化移行工事の完了(17基)	<p>【R3成果目標】 平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証</p> <p>【今後のスケジュール】 R2 石垣市防災情報システム多様化整備工事</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者にアンケート調査等を実施し、防災無線が確実に伝達されたか等を検証することで、市民や観光客等の災害時の確実な避難誘導等ができるものと考え設定した。</p>
5		明石地区避難道路整備事業	R1	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、予想される大地震時における津波避難道路を整備する。	測量設計業務及び道路整備工事の実施	測量設計業務及び道路整備工事の完了	<p>【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 整備された避難道路を活用した避難訓練を行い、予想される災害に備える。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 整備された避難道路を活用した避難訓練への参加者にアンケート調査等を実施し、安全に避難できたか等を検証することで、災害時の確実な避難につながるものと考え設定した。</p>
5		消防救助資器材等整備事業	H30 ～ R1	災害時、陸路からの進入・救助が困難な場合に、上空からの的確な監視等により、迅速かつ効率的な救助支援活動を行うため、ドローンを導入する。	災害支援用ドローンの整備	災害支援用ドローン整備数:2機	<p>【R2成果目標】 ドローンを活用した救助訓練(年12回)を実施する中で、ドローン導入前よりも救助が迅速かつ効率的になったかを含め、消防や関係団体と協議して本事業のあり方について検証</p> <p>【今後のスケジュール】 ドローンを活用した救助訓練を実施し、災害時の迅速かつ効率的な救助体制を確保する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 ドローンを活用した救助訓練を実施する中で、ドローン導入前よりも救助が迅速かつ効率的になったかを含め、消防や関係団体と協議して本事業のあり方について検証することで、市民や観光客等の救命体制等が整備できるものと考え設定した。</p>
6		児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	県内外大会等派遣児童生徒支援	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	<p>【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」の実施 ・広島・長崎への平和大使派遣:4名 ・平和フォーラム等の開催	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する 平和フォーラム等への参加者700名	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。	
6	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子の早期発見・早期支援に取り組むため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、臨床心理士による発達相談等を実施する。	臨床心理士1名の確保	乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、保護者が発達相談を受ける割合80%以上	【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制の構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談していると考えられる値として設定した。	
6	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ R3	発達支援を必要とする乳幼児や心身の発達に配慮が必要な児童生徒を抱える者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	臨床心理士2人配置 幼稚園に子育て相談員5人配置(農村地区1人、市街地4人)	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	【今後のスケジュール】 支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	授業時並びに放課後学習支援(学校教育支援員配置数32名) 外国語活動と英語指導支援(外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名) ○学力先進地域交流招聘実施(学力先進地域交流研修会:招聘3名)	沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 英語に興味・関心を持ったと回答をした児童生徒の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 決め細やかな学習支援による学力の向上及び英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 平均正答率は、過去の実績を勘案して設定した。 外国語活動については、対象者のうち大多数が学習向上を実感していると考えられる値として設定した。	
6	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	○学校ICT支援員の配置:4名 ○教職員研修会の実施(定期研修会7回/年) 校内LAN環境整備(中学校5校)	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教材におけるICT活用の定着を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が目的が達成されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	一般・教職教養、専門教科試験対策講座の開催	小学校教員採用試験合格者数:10人以上 中学校教員採用試験合格者数:5人以上	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
					6				
6		スポーツ教室・交流事業	H31 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	トップアスリートによる講演、指導者講習会、スポーツ教室の実施 県外市町村とのスポーツ交流の実施	(講演会・スポーツ教室) トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数：年間800名以上 (指導者講習会) 指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 市民のスポーツへの参画を促進する。また、児童生徒の視野を広げるため、県外の同世代の児童生徒との交流を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 参加者数については、定員数を考慮し設定した。 対象者のうち大多数が、指導力の向上につながった、また視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6		石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R3	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮児童生徒との相互交流を行う。	台湾蘇澳鎮との教育交流(受入・派遣)	異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6		不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置し、不登校の児童生徒に対応した支援を行う。また、教室に入ることの出来ない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないよう居場所づくり等、学校と協力し必要な支援を行う。	スクールライフサポーターの配置：2名	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率：小学校1.31%以下、中学校7.03%以下	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 スクールライフサポーター配置校のH29年度不登校率の実績値を基に設定した。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	子ども若者総合相談支援事業	H31 ～ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の自立に向け、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応を行うほか、関係機関で構成する「石垣市子ども・若者支援地域協議会」の円滑な運営及び支援機関の連携を図り、包括的、継続的な相談並びに支援等を実施する。	ユースアドバイザーの配置:4名 個別相談会:4回 スーパーバイズ:12回	相談件数に占めるリファーマ（適切な機関につなげた）割合 76%以上 児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労 8名以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	仮設ターミナル建設の補助	仮設ターミナル建設の完了	【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上 【今後のスケジュール】 R2年度:建築工事(土工事、躯体工事) R3年度:建築工事(外溝工事等)	【R4成果目標設定の考え方】 ・数値目標について 国際線の就航便数、機材及び搭乗率を踏まえ設定。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	浦添市来り来り推進事業	H24～R3	住民の生活環境の向上及び新たな観光スポット等の創出を図るため、地区ごとのまちづくり整備計画を策定する。	屋富祖・オリオン通り周辺地区 ・まちづくり協議会開催(2回程度) ・屋富祖通り周辺地区土地活用調査	屋富祖・オリオン通り周辺地区における「まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)」の完成	【R2成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。 【今後のスケジュール】 今後も継続的にまちづくり協議会を支援し、円滑な事業実施につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業で策定するまちづくり基本計画に基づき、事業を検討するため、円滑な事業実施につなげることを成果目標として設定した。	
1	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24～R3	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	・「てだこウォーク～てだこの都市・浦添 あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク～」の開催 ・プロポーザル公募による大会プロモーション及びイベントの実施 ・歴史ガイドによる史跡紹介	てだこウォーク参加者数 市外からの参加者:3,300人以上 市内からの参加者:4,400人以上	【今後のスケジュール】 引き続きてだこウォークを開催し、観光誘客及び住民の健康意識の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	ありんくりんクリーン事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、文化財の環境整備(清掃や除草等)を行う。	・文化財の清掃:1箇所 ・文化財の除草等環境整備:11箇所	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に清掃や除草等環境整備を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。また、各施設で配布する文化財案内ガイドブックを作成する。	・市内ガイダンス施設へのガイド配置:2名/317日 ・文化財ガイドブックの作成:12,000部	・ガイダンス施設入館者数:15,300名以上/年	【今後のスケジュール】 引き続き観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 入館者数増加率の実績を勘案して設定した。	
2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～R3	観光地としての魅力向上及び地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組を行う。	景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討等(シンボルロード、都市モノ沿線地区) 補助(工事)完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観を修景するための支援 例)赤瓦、琉球石灰岩を使用した石張り工事に対する補助 地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 例)浦添グスク、ようどれ探索等	風景づくり推進調査業務の完了 補助対象工事15件 内訳 赤瓦葺き工事5件 石積み、石張り等の工事5件 生垣等の工事5件 地域の歴史や文化に対する興味がわいたか(80%以上)を含め、参加者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【R3成果目標】 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2～R3 ・地域景観の向上に向けた計画等の策定。 ・地域景観の向上を図るための景観修景のための支援を実施。 ・地域景観資源を活用するための活動支援等の実施。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の参加者が地元の歴史文化に興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R3成果目標設定の考え方】 大多数の人にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	文化の継承及び観光誘客を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。 令和元年度は仲間火又神修復のための実施設計を行う。	「仲間火又神」実施設計業務:1箇所	「仲間火又神」実施設計の完了	【今後のスケジュール】 R2:仲間火又神復元整備工事 R3: 仲間火又神供用開始 【R3成果目標】 仲間火又神を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年	【R3成果目標設定の考え方】 類似のイベント等を参考に設定した。	
2	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業	H24 ～ R1	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の道路に、沖縄らしい風景づくりとしてコーラル舗装をイメージした乳白色のカラーアスファルト舗装を施し、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成を図る。	仲間地区の道路美化工事 カラーアスファルト舗装:134㎡	カラーアスファルト舗装済みの累計面積: 7,246㎡整備100.0%	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の来訪者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	文化の継承及び観光誘客を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する浦添市美術館において、常設展の充実、企画展の開催等を実施する。	常設展 ・指定有形文化財展 ・関連講座の実施 企画展 ・新収蔵品(購入作品)の紹介 ・琉球八景展 ・漆芸作家展 広報宣伝活動 ・体験企画、シンポジウム	常設展観覧者数:3,900人以上/年	【今後のスケジュール】 ・引き続き当館の効果的なPRに取り組み、誘客を図る。 ・建物や所蔵作品等を活用し、来館者がSNS等で発信できる仕組みづくりを行う。 ・魅力ある常設展示や関連講座等を実施し、来館者増を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	島桑オジー & オバ で観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。	・桑の栽培 ・商品製造 ・商品開発 ・販売促進	・桑関連商品販売額:24,383千円以上/年	【今後のスケジュール】 スケールアップし収益事業化を目指す。 (参考) R3年度(目標値) 桑関連商品合計販売額 35,000千円	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ~ R2	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。 令和元年度は、施設部分のPPP事業に係る募集要項等策定及び広場部分の実施設計並びに用地取得を行う。	・PPP事業に係る募集要項等策定 ・広場部分の実施設計の実施 ・用地取得	・PPP事業に係る募集要項等 ・広場部分の実施設計の完了 ・用地取得完了	【今後のスケジュール】 R2 施設及び広場建設工事 R3 建設工事 R4 供用開始 【R4成果目標】 年間施設利用者数 10万人以上	【R4成果目標設定の考え方】 浦添前田駅の降車人数予測を勘案して設定した。	
4	浦添観光振興事業	H29 ~ R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源や観光情報の発信・周知を行う。	・浦添PR業務(web)120件、観光イベント実施 ・プロ野球キャンプファン誘客イベント2回 ・教育旅行フェア参加1回 ・MICE商談会参加1回	・ポータルサイト訪問者数743,000以上 ・プロ野球春季キャンプファン誘客34,000人以上 ・教育旅行誘致件数5件以上 ・MICE誘致問い合わせ件数5件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続した観光情報の発信や、観光資源を活用した観光メニューを作成することで、本市を訪れる観光客の増加や認知度・満足度の向上につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	H31 ~ R2	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、市内の避難所に備蓄食糧及び災害用備品等を配備する。	市内の避難所に備蓄食糧及び災害用備品等を配備する。 <R1取組> ・災害用備蓄米 市内の県立高校2校へ 各2,200食 ・保存水 指定避難所18箇所 4,320本 福祉避難所12箇所 1,560本 浦添市役所 480本 ・備品(高校2箇所) 発電機 各1台 浄水器 各1台 投光器 各3台 非常用トイレ 各10個 トイレ用テント 各10個 ・防災倉庫 高校 2箇所 児童センター 5箇所	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了	【今後のスケジュール】 今後新たに避難所が追加された場合、該当箇所へ防災倉庫を設置し、避難所生活における必要最低限の備品や消耗品を整備する。 【R2成果目標】 整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する	【R2成果目標設定の考え方】 整備した食糧及び備品等を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで住民及び観光客の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29～R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船の寄港回数 272回以上/年	【今後のスケジュール】引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を基に設定した	
7	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～R3	児童生徒がスポーツ・文化活動において、県外の児童生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会等に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	・県外大会等派遣支援の実施	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて技術向上や健全育成、並びに経済的負担の軽減を図る。	【R1成果目標設定の考え方】対象児童生徒の大多数に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	スポーツ振興事業	R1	室内球技のスポーツ大会、スポーツ合宿の誘致を図るため、体育施設へ高機能床材を導入する。	体育施設への高機能床材導入	高機能床材の導入完了	【今後のスケジュール】全国規模の大会やプロスポーツの合宿を誘致し、次世代を担う青少年の意識高揚や心身の育成を図る。 【R2成果目標】 ・日本ハンドボールリーグ公式戦開催回数:3回以上/年 ・室内球技のスポーツ合宿団体数:1団体以上/年	【R2成果目標設定の考え方】過去の実績等を参考に設定した。	
8	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24～R3	児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習を行う。	・農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習 ・市内全11校の5年生1348名と保護者対象	宿泊体験学習によって児童にプラスの変容があったかを児童自身及び保護者を対象としたアンケート等で検証する。 事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】R1年度～R3年度 ・本事業終了後の効果的な後続事業の実施方法について調査研究を行う。	【R1成果目標設定の考え方】対象児童のキャリア教育の一環として効果があったと考える値として設定した。また、アンケート及び報告書により成果と課題を検証する。 大多数の保護者が、体験後の児童の社会性等の考え方や行動に変化が生じたと考える値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校 22名(各校1名～3名) ・中学校 10名(各校2名～5名) 日本語教育支援員 ・4名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 ±0ポイント以上 ・中学校:数学 +0.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 R1年度～R3年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 R1年度からR3年度まで、学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査における浦添市と県の差が減少し、小中学校がともに県平均以上になるように学力の底上げを図るとともに、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8			課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、各種支援員等を配置し、情緒不安やあそび非行傾向等の課題を抱える児童生徒等の支援を行う。	臨床心理相談員1名 教育相談員6名 青少年相談員6名 自立支援員3名 教育相談支援員16名 生徒サポーター5名	不登校児童生徒登校復帰率 小学生29.2%以上 中学生52.0%以上	【今後のスケジュール】 R1～R3:各支援員配置 教育相談の充実とあそび・非行傾向生徒への支援を継続的に実施する。学校配置相談員による効率的・効果的な支援を行うため、学校との連携をより強化する。 事業終期のR3年度において、不登校児童生徒出現率を沖縄県平均以下を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8			適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習指導や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	・適応指導教室に適応指導員1名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数:5名以上 ・不登校児童生徒保護者交流会の年3回実施	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 95.2%以上	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導員を配置し、支援を必要とする児童生徒に支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ R3	教員のICT機器活用に係る習熟度向上及び学校教育の質の確保を図るため、IT指導員を学校に派遣し、教育用ICT機器を活用した授業の実施を支援する。	・16小中学校へIT指導員3名巡回派遣 ・各校(16校)に年間30日程度派遣	16小中学校の教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:90%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 16小中学校の児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1～3年度:IT指導員配置:3名/年	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 大多数の児童生徒にとって授業がわかりやすかったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
8	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	・市内2小学校へICT機器を整備 【小学校2校】 教育用タブレット端末:42台 電子黒板+PC等:普通学級+特別教室1～2台	ICT機器を整備した11校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ICT機器を整備した11校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1年度:ICT機器2校整備 R2年度:ICT機器5校整備	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の教員が整備した機器を活用していると考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 大多数の児童生徒にとって授業がわかりやすかったと考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
9	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R3	戦前戦後を通して浦添出身者が移住した南米の各国と本市を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、南米へ移住した浦添出身者の子弟を招聘し、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・県外視察 ・地域との交流	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 (R1～R2) 研修生2人受入 (R3) フォローアップ研修生6人受入 第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘し、大会に参加する浦添出身者や県系人、地域や市民とのネットワークを広げる。	【R1成果目標設定の考え方】 招聘した研修生の大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				10		浦添市学童っ子応援プロジェクト事業		
11		浦添市中学生平和交流事業	H25～R3	沖縄戦に関する歴史を語り継ぎ、未来につなげるための人材を育成するため、市内の中学生を対象とした研修・交流事業を行う。また、研修終了後に市民に向けた活動報告を行い、市民へ平和の啓蒙を行う。	・事前研修、事後研修(県内) ・本研修(宮崎県日向市派遣、2泊3日) ・日向市中学生との平和交流(受入) ・浦添市戦没者追悼式への参加報告を行い、市民へ平和の啓蒙を行う。	参加生徒の保護者に対してアンケート調査を実施し、生徒が本事業に参加することで平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き市内の中学生10人を浦添市中学生平和交流団とし、県内及び県外で平和学習を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 参加生徒の大多数が平和等に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11		里道及び水路の境界確定復元事業	H24～R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 令和元年度における里道の登記済延長 10km	登記済延長率:79% (R1実施分:10%)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に里道及び水路の境界確定・復元を行い、公共用地を適正に管理する。 里道及び水路の目標登記済総延長率 R2:93% R3:100% 【R4成果目標】 公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 境界復元・確定の測量中であるため、当該測量後に策定する計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。
11		牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24～R3	牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の活動を支援し、地主会若手組織の活動体制づくり並びに地主相互及び地主と行政の連携を強化する。	・まちづくり活動支援(勉強会等3回) ・活動情報発信(1回)	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も勉強会を通して跡地利用特措法や土地区画整理事業等に関する法令・制度等への理解を深め、返還を見据え跡地利用計画への提言書とりまとめを支援する。	【R1成果目標設定の考え方】 勉強会に参加した地権者等の大多数が理解が深まっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ R2	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立。	特定事業の用に供する土地取得目標 37,000㎡(達成率90%) 達成率:先行取得目標面積(152,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 ・R2 基金積立。 【R3成果目標】 ・公園緑地として、約15.2haを用地取得し、円滑な跡地利用につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 跡地利用が円滑に実施されることを目的とした土地の先行取得であるため、円滑な跡地利用につなげることを目標として設定した。
12		浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	防犯灯をLEDへ切り替えた自治会に対して補助金を交付し、防犯灯400基をLEDへ切り替える。	R1年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年60,000kg-CO2の削減 (H29年度からの累計削減量: 260,000kg-CO2/年 (H28年度比))	【今後のスケジュール】 引き続き既存の自治会所有の防犯灯をLEDへ切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 R3年までに自治会所有の防犯灯をLEDに切り替え、R4年の二酸化炭素排出総削減量を約400,000kg-CO2削減する。(H28年比)	【R1成果目標設定の考え方】 切り替え予定の防犯灯の基数からCO2削減量を算定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	学習指導支援者配置事業	H24～R3	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行う。	学習指導支援員20人の配置 対象:主に小学校の3・4年生の算数 主に中学校の数学 学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む。 小規模校においては、状況に応じて他教科も支援する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小学3年生 算数:3.8%以下 中学2年生 数学:4.1%以下	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、沖縄県平均を上回る。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。	
1	生徒指導支援者配置事業	H24～R3	不登校の改善を図るため、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う生徒指導支援者を配置する。	市内3小学校、5中学校に生徒指導支援者を配置する。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 22%以上	【今後のスケジュール】 引き続き支援を行い、不登校の改善に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。	
1	小中学校英語支援員配置事業	H24～R3	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における補助指導員として、小中学校へ英語支援員を配置する。	小中学校英語支援員12人を市立小・中学校にシフト配置	小学校英語学力調査 5年生:正答率78%以上 6年生:正答率75%以上 沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語:-5.8ポイント以下	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(中学:英語)において、県平均を上回る。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。	
1	中学生海外短期留学派遣事業	H24～R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、市立中学の生徒をハワイ州ハワイ郡ヒロへ短期間派遣する。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(100%)を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 派遣予定人数 H24年度～R3年度:各年度12人 累計120人 派遣留学生のみならず、事業の継続により応募者数の増や留学生の帰国報告会の実施により、他の児童生徒の英語への学習意欲を高める。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。	
1	適応指導教室支援員配置事業	H24～R3	適応指導教室に通級している児童生徒の学校復帰を支援するため、適応指導教室へ支援員を配置する。	適応指導教室へ支援員4名を配置。 心理的・情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒について、適応指導教室にて指導・支援を行う。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の割合:28% 適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校できた児童生徒の割合:76%	【今後のスケジュール】 引き続き指導・支援を行い、対象児童生徒の学校復帰に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	県外で開催される大会等へ派遣する児童生徒への補助金支援	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が県内では出来ない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。	【今後のスケジュール】 児童生徒がスポーツ及び文化活動において全国大会で活躍する機会を増やし、質の高い競技に触れさせることで、児童生徒自身の成長につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が県内では出来ない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			小中一貫教育推進事業	H26 ～ R3	名護市立小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、教育課程研究に基づく特色ある取り組みの実践による学力向上を図るため、非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置人数:2人	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小学5年生 算数:県平均以上 中学2年生 数学: +5ポイント	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、屋我地ひるぎ学園の特色ある教育活動の推進・充実を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。
2			ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。(シャトルバスの運行/球場周辺の警備員・誘導員の配置) ・札幌ドームで「名護デー」開催。(球場入口にて、名護市観光施設・宿泊施設の案内等の配布/観光と特産品のPRブースの設置/試合前セレモニー)	プロ野球キャンプ時における見学者数 R1年度:21,000人以上 名護市観光統計入込客数 R1年度目標:6,516,708人以上	【今後のスケジュール】 引き続きプロ野球のキャンプを効果的に活用し、誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過年度の実績を基に設定した。
2			まちなか多言語案内サイン整備事業	H29 ～ R2	外国人観光客の利便性を確保するため、市内の観光スポットを記した外国人観光客向けの多言語案内板・誘導板を設置する。	・多言語案内誘導板:2基設置 ・多言語周辺案内地図板:2基設置	多言語案内板等により外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証。	【今後のスケジュール】 R1～2年度: 多言語案内誘導板:16基設置 多言語周辺案内地図板:4基設置	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			第2次名護市観光振興計画策定事業	H30 ～ R1	観光誘客を図るため、第2次観光振興計画を策定する。	・第2次観光振興基本計画の策定 ・評価検証が行える体制の構築	・第2次観光振興基本計画の策定完了 ・評価検証が行える体制の構築完了	【R2成果目標】 策定した計画について、(仮称)名護市観光審議会で観光施策の進捗管理や見直しを行うこと(年2回以上)、観光施策の在り方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・策定された観光振興計画に沿って各施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。 ・第2次観光振興計画策定の際に洗い出された課題の解決できるよう体制作りをする。 ・成果指標の整備 観光消費額、観光収入、滞在日数	【R2成果目標設定の考え方】 年度の上半期、下半期開催を想定し年2回とした。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ R1	市内事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、市内事業者の商品開発や流通に必要な知識・技術の習得のための支援を行う。	・商品開発に関連するワークショップの開催：5回 ・外部評価を受けるためのバイヤーの招聘等：2回 ・個別支援の実施：3社	ワークショップ研修参加者へのアンケートで、ワークショップの内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 商談成約件数：2件	【今後のスケジュール】 継続して販路開拓を支援し、商品開発から流通までの支援モデルの確立、普及を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がワークショップの内容について理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 商談会において、商談を6件程度実施することを見込んでいることから、その3分の1にあたる2件を商談成約件数として設定した。	
2	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30 ～ R2	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点(無線LANアクセスポイント)を整備する。	2年目：中心市街地エリアのWi-Fi整備、効果測定	・Wi-Fi整備(中心市街地エリア)完了 ・効果測定の完了	【R3成果目標】 外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 Wi-Fi環境を整え、観光客の利便性を確保を図っていく。	【R3年度成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	名護市産業支援センター機能強化事業	H30 ～ R1	雇用の創出を図るため、名護市産業支援センター(5階フロア)にオフィス、会議室、トイレ等を整備する。	機能強化工事の完了	機能強化工事の完了	【R2成果目標】 名護市産業支援センター5階フロアの雇用者数：28/48名(60%) 【今後のスケジュール】 令和2年度：供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的は雇用の創出を図ることであるため、改修後の5階フロアにおける雇用者数を成果目標に設定した。	
2	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R3	市内中小企業の販路拡大や売上増加を図るため、県内外で開催される物産展や商談会への出展支援等を行う。	・商談成約件数：1件 ・物産展・商談会等への出展後のフォロー支援件数：2件	商談成約件数：1件 物産展での売上額：975,000円以上 支援(アドバイス等)を受けた事業者へのアンケートで、今後の商談で役立つと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、物産展でのテスト販売やモニター調査を実施し、事業者個々の課題等を抽出し、ブラッシュアップ支援を図り、商談スキルの向上に向けた支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 商談成約件数については、商談等の経験値が不足している小規模企業者であることを考慮し、成約数1件と設定した。 過去実績を参考に設定した。 対象者のうち大多数が今後の商談で役立つと感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考		
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	備考	
									今後の展開方針等	補足説明等
2			自転車まちづくり普及事業	R1 ~ R2	健康増進や環境にやさしい交通手段として自転車を市民等に広く普及させ自転車愛好家等を増やすため、サイクルツーリズムを推進する。	・自転車普及イベントの開催: 3回 ・多言語サイクリングMAP作成: 4言語	イベント参加者数: 72名	<p>[R2成果目標] 市HP(自転車普及イベント、多言語サイクリングマップ)へのアクセス数: 5,000回</p> <p>HPでアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。</p> <p>[今後のスケジュール] 自転車普及イベントを継続するとともに、サイクリングMAPを活用し自転車愛好家の拡大、サイクルツーリズムの推進を図っていく。</p>	<p>[R1成果目標] イベント開催数と定員数を勘案し設定した。</p> <p>[R2成果目標設定の考え方] 自転車愛好家の増加については、サイクリングイベントや多言語MAPが掲載された市HPへのアクセス数を設定することで、本事業に対する取組の効果を測ることとした。</p> <p>対象者のうち大多数が利便性(満足度)が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
2			名護市インバウンド受入強化支援事業	R1 ~ R3	インバウンド観光客の増加を図るため、市内事業者を対象とした海外商業習慣等の知識獲得に向けたセミナーを開催する等、受け入れ体制の強化を行う。	・名護市の魅力・課題抽出のためのモニター調査: 対象4組 ・モニター調査の整合分析、インバウンド誘客のための戦略立案 ・インバウンド受入強化セミナー	本事業の取組に参加した事業者に対して、インバウンド対策に役立つと感じたかどうか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	<p>[今後のスケジュール] R1年度モニター調査の結果を分析したインバウンド誘客のための戦略立案、事業者支援を行う。 また、引き続き受入強化に向けたセミナー、インバウンド誘客に向けたプロモーションを行っていく。</p>	<p>[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数がインバウンド対策に役立つと感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
2			21世紀の森公園機能強化事業	R1	キャンプの誘致及び市民の健康増進を図るため、また、観光客の利便性(満足度)を確保するため、新名護市営球場において、トレーニング器具整備等や、満足度向上に向けた各種整備を行う。	・名護市営球場の備品調達完了と施設の供用開始 ・レリーフ等のコンセプトとりまとめ、デザイン選定、製作、設置の実施	トレーニング器具等の整備 レリーフ等の整備完了	<p>[R2成果目標] キャンプ誘致数6チーム、トレーニングルーム利用者数4,900人 観光客等へのアンケートで、レリーフ等の整備により、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。</p> <p>[今後のスケジュール] 整備後は市民及び観光客の利用を促進し、キャンプ誘致、観光客の利便性確保及び市民の健康増進の相乗効果を高められるよう取り組む。</p>	<p>[R2成果目標設定の考え方] 過去の実績を参考に設定した。 対象者のうち大多数が利便性(満足度)が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	21世紀の森体育館機能強化事業	R1	<p>21世紀の森体育館の機能強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本バスケットボール協会競技規則基準を満たすバスケットリングを整備する。 トップアスリートのプレーに対応できるように、フロアの床事故防止対策を行う。 照明をLED化し照度を向上する。 	21世紀の森体育館の機能強化整備	21世紀の森体育館の機能強化整備完了	<p>【R2成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県外からのプロ及びアマチュアチームの誘致件数(バスケットボール) 合宿:6件、大会:2件 (バスケットボール以外の競技) 合宿:6件、大会:6件 市民を含めたフロア利用者数 目標:132,495名 <p>【今後のスケジュール】</p> <p>整備後の合宿等誘致に向けて、積極的な本施設の情報発信に取り組む。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>	
2	やがじ地域観光拠点整備事業	H28～R3	<p>修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土地測量業務(塩づくり体験施設) 不動産鑑定(塩づくり体験施設) 用地購入(塩づくり体験施設) 物件補償(オランダ墓) 	<ul style="list-style-type: none"> 土地測量業務完了(塩づくり体験施設) 不動産鑑定完了(塩づくり体験施設) 用地購入完了(塩づくり体験施設) 物件補償完了(オランダ墓) 	<p>(整備スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度:基本計画策定 平成29年度:農業体験施設(造成工事、体験ハウス整備、集出荷施設実施設計) オランダ墓(道路実施設計) 塩づくり体験施設(施設基本設計) 平成30年度:オランダ墓(物件補償設計)、農業体験施設(集出荷施設建築工事) 塩づくり体験施設(実施設計、造成設計) 令和元年度:オランダ墓(物件補償)、塩づくり体験施設(土地測量、不動産鑑定、用地購入) 令和2年度:オランダ墓(道路整備工事)、塩づくり体験施設(造成工事) 令和3年度:塩づくり体験施設(施設整備工事) 	<p>【R4年度成果指標】</p> <p>修学旅行受入数:160校以上</p>	
3	金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24～R3	<p>金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 招聘セミナー参加企業:10社/20名 県外イベント来場者数:250名 高校生・学生・一般市民の金融・IT基礎知識の習得:150名 	<p>企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数:2件</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R2～R3年度:</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融・情報通信関連企業の経営者等を招致し、セミナーの開催 県外企業誘致イベントへの参加 高校生・学生・市民向け金融・IT基礎講座・講話の開催を継続して実施していく。 	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R1	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入支援:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合120%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生まれた雌子牛を保留することで、母牛の高齢化を抑制していく。 優良種への改良を継続的に行っていくために、本事業の令和2年度以降の継続についても合わせて検討していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			救命処置普及強化支援員事業	H27 ～ R3	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置。100%を目指す。	救命講習普及支援員配置数:3名 各種講習会回数:150回 まちかど救急ステーション認定:5事業所 新店舗コンビニエンスストアAED設置:2店舗	救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急手当が理解できたか80%以上を含め、当該事業のあり方について検証する。 まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上 整備したコンビニにおいて、救急救命(AED)講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 R1～R2年度:支援員3名/年 各種講習会開催	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が適切な応急対応が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。 対象者のうち大多数がAEDを使用した適切な応急対応が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			ハブ対策事業	H27 ～ R3	地域住民や観光客の咬傷被害防止を図るため、地域住民の生活圏や観光地にハブ捕獲器を設置し定期巡回を行う。	ハブ捕獲器の設置:360器	捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 平成30年度に捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害が1件発生したため、今後は捕獲器の設置箇所を増やし、ハブ咬傷被害0件を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			環境再生・活用整備事業	H29 ～ R3	地域の自然を生かした教育の場、憩いの場としての活用を図るため、喜知留川の整備を行う。	・喜知留川橋梁実施設計の実施 ・喜知留川用地測量業務の実施及び用地取得 ・喜知留川物件補償調査業務の実施及び物件補償	・喜知留川橋梁実施設計の完了 ・喜知留川用地測量業務及び用地取得の完了 ・喜知留川物件補償調査業務及び物件補償の完了	【R4成果目標】 環境学習参加者数116人 【今後のスケジュール】 (整備スケジュール) R2 用地取得・物件補償・橋梁整備工事・河川工事 R3 河川工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ R3	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車指導レーンの整備率:68%	令和元年度自転車指導レーン整備延長:2,440mの整備完了 ・宇座線:630m ・城通り線:1,060m ・大西線:750m	【R4成果目標】 温室効果ガス排出削減量(指標)はH30から3年間、交通量調査等を行いその後設定する。 【今後のスケジュール】 R2年度 整備率:71% R3年度 整備率:100% R4年度 まちなか市道部分 全面供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 指標の基となる数値はH30から3年間調査を行い、直近の数値として、これを基にR4成果目標を設定する。
7			名護湾沿岸基本構想策定事業	H30 ～ R1	名護湾沿岸地域の観光・産業振興を図るため、名護湾沿岸基本構想を策定する。 今年度は、前提条件の整理、関係者意向調査、事例調査を実施し、事業スケジュール、まちづくり全体構想図及びロードマップを作成する。	・前提条件の整理 ・関係者意向調査 ・事例調査 ・ロードマップの作成	名護湾沿岸基本構想の策定	【R2成果目標】 策定した基本構想を基に、観光・産業振興に向けた施設整備など、今後のまちづくりに向けた展開及び目標について設定する。 【今後のスケジュール】 当該地域の観光・産業振興に向けて、策定する構想図等に基づき計画的に取り組んでいく。	【R2成果目標設定の考え方】 構想策定中であり、本事業で策定した構想を基に成果目標を設定する。
8			名護市工場適地等構想地調査事業	R1	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想地の調査を行う。	令和元年度 工場適地等構想地の調査 1.名護市における工場立地環境の現状 2.工場立地に関する社会的背景と動向、ニーズ調査 3.工場立地に求められる条件整理 4.土地利用方針の検討 5.名護市における工場適地候補地の抽出 6.開発手法の検討、概算工事費の算出 7.工場適地候補地の評価 8.工場立地促進方策と課題 9.検討委員会の運営	新たな工場適地指定に向けた調査報告書の策定完了(=方向性の決定)	【R3成果目標】 工場適地の指定:1地域 【今後のスケジュール】 ・本調査を基に、新たな工場適地基盤整備の事業化を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 現況を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		スポーツ力向上促進事業	R1 ~ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催・・・4回	<p>スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> <p>講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。</p>	<p>[R4成果目標] 市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名</p> <p>[今後のスケジュール] 参加者やスポーツ関係者のニーズを汲取り、市民参加型のスポーツ教室等の開催を継続的に実施する。</p>	<p>[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数がスポーツへの意識がさらに高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> <p>対象者のうち大多数が指導力が向上したと感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> <p>[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。</p>
10		幼保連携型総合施設整備事業	R1 ~ R2	緑風学園に併設される幼稚園舎の隣接地に、幼稚園と保育所の機能を合わせ持つ幼保連携型認定こども園を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 ・土質調査 ・造成外構測量設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型総合施設に係る実施設計業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の土質調査業務の完了 ・幼保連携型総合施設建設予定地の造成外構測量設計業務の完了 	<p>[R3成果目標] ・幼保連携型認定こども園 安心・安全に子どもを預けることができ、就労及び子育てに関する負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、働く保護者等に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> <p>・子育て支援室 育児に関する相談や親子の集いの場での交流等によって、育児不安が軽減されたか(80%以上)を含め、利用者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> <p>[今後のスケジュール] 令和2年度 ・建築工事 ・機械設備工事 ・電気設備工事 ・厨房設備工事 ・備品購入</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が子育てに関する負担感及び育児不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
11		名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1 ~ R2	持続可能で安定した公共交通の導入に向けて、デマンド型の乗合タクシー及びコミュニティバスの実証実験を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験運行計画の策定(11月) ・ニーズ調査(2~3月) ・実証実験に係る広報計画の策定及び実施(12月) ・実証実験の実施(2~3月) 無償で運行 ・実証実験の評価(3月) ・地域公共交通会議の開催2回(12月、2月) 	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	<p>[今後のスケジュール]</p> <p>R2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験運行計画の見直し ・ニーズ調査 ・実証実験の実施 ・実証実験に係る広報等の実施 ・実証実験の評価 ・地域公共交通会議の開催 ・公共交通再編計画の策定 <p>R3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自走化による本格運行 	<p>[R2成果目標設定の考え方]</p> <p>実証実験の結果等を踏まえて、目標利用者数を設定し、二見以北地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取り組みの確実な実施につなげる。</p>
12		わんさか大浦パーク機能強化整備事業	R1 ~ R3	二見以北地域唯一の観光拠点「わんさか大浦パーク」に、来場者が学習できる機能や名護・やんばる東海岸地域の情報発信機能等を新たに整備する。R1年度は機能強化に向けた基本計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・わんさか大浦パーク機能強化基本計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・わんさか大浦パーク機能強化基本計画の策定完了 	<p>[R4成果目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わんさか大浦パーク利用者数 ・わんさか大浦パークから東村に回遊すると回答した利用者の割合 <p>[今後のスケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> R1年度:基本計画策定完了 R2年度:実施設計 R3年度:改修工事・供用開始 	<p>[R4成果目標設定の考え方]</p> <p>基本計画策定業務において調査・検討し指標を設定する。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。また、地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催し、受講者による魅力の把握・再発信を促す。	・旧摩文仁村の歴史民俗地図の作成 ・市史講座の開催(年2回)	・市ホームページ上での歴史民俗地図へのアクセス数1,250件以上 ・市史講座受講者アンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	【今後のスケジュール】 ・R2年度:旧喜屋武村歴史民俗地図・現況図発行、市史講座 ・R3年度:旧摩文仁村歴史民俗地図・現況図発行、市史講座	【R1成果目標設定の考え方】 歴史民俗地図のアクセス数については、過去実績を勘案して設定した。市史講座は、大多数の参加者の理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ R2	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設整備工事(2工区) ・重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金)	・重点地区施設整備工事(2工区)完了 ・助成金による景観形成整備の完了(3件)	【R3成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2:施設整備工事	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	観光地危険生物駆除事業	H25 ~ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15カ所	・市内における年間ハブ咬傷被害2件以内	【今後のスケジュール】 R2年度~R3年度:発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
3	糸満イベント推進事業	H24 ~ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助 糸満ふるさと祭り 日程:令和元年8月 会場:糸満漁港北地区 内容:地域伝統芸能、一般団体演舞、県内アーティストステージイベントなど	・糸満ふるさと祭り来場者数47,000人	【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら令和3年度まで継続して補助する。	【R1成果目標設定の考え方】 直近4年間の実績値を上回る数値として設定した。	
3	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ~ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・本体建設工事 ・工事監理業務 ・磁気探査	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事1年目の完了	【R4成果目標】 ・地域発信エリア年間利用者:2.5万人 ・継承体験エリア年間利用者:2.2万人 ・創造発信エリア年間利用者:4万人 【今後のスケジュール】 R2年度:本体建設工事(2年目)完了 R3年度:本体建設工事(3年目)完了 R4年度:供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 ・地域発信エリア:同規模の歴史民俗系の博物館の利用者数を参考に設定した。 ・継承体験エリア:市内類似施設の実績を参考に設定した。 ・創造発信エリア:類似規模施設の利用者数を参考に設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	確かな学力を育むサポート事業	H24～R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・市内小中学校に学習指導等支援員を配置し、学習指導等を行う(小学校10校、中学校6校)。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数-3% 中学校数学-2%	【今後のスケジュール】 各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施。市内全小中学校の学力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	英語指導事業	H24～R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・市内小中学校に英語指導助手を配置し、英語指導のサポートを行う(小学校4人、中学校3人)。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-3%	【今後のスケジュール】 引き続き市内10小学校と6中学校へ英語指導助手を配置。月に2回程度の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・小学生 大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・中学生 過去の実績を勘案して設定した。 県学力到達度調査の県との差(過去3年平均正答率) 中学校英語H27～H29年度平均:-4%	
4	適応指導教室設置事業	H25～R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者1人、教育相談員2人)。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	【今後のスケジュール】 適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
4	障害児学習環境づくり事業	H24～R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	こども園・小学校・中学校に支援ヘルパーを配置し、様々な障害を持つ児童生徒の支援を行う(特別支援教育指導コーディネーター配置(1人)、障害児特別支援ヘルパー(こども園・小学校・中学校)配置(38人))。	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援ヘルパーの適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園・学校の特別支援コーディネーターや特別支援ヘルパーへの研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	R1事業内容			R1活動目標(指標)	R1成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
パ 細								
4	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	小学校・中学校に情報教育支援員を巡回させ、情報教育の充実を図る(情報教育支援員の配置(1人))。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 情報教育支援員の配置を継続し、市内小中学校のコンピュータ整備及びクラス数の増加等に応じた電子黒板等整備を計画的に行う。また、教員のICT活用力向上のために、情報教育研修会の開催・授業支援のあり方については教員の補助等に努め、自立した授業が行えるよう取り組んでいく。	【R1成果目標設定の考え方】 ・児童生徒の大多数がわかりやすい授業の展開が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・教員の大多数がICT機器を活用した授業の展開するための技術の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝管理	・合宿誘致件数13件	【今後のスケジュール】 現在受入している合宿誘致数を施設整備することにより増加させる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
6	母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・ひとり親家庭の自立に向けた支援	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 当該事業の実績(H29年度及びH30年度)に基づき設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		kozafilmオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・誘致活動(3回) ・撮影支援(12ヶ月)	・撮影件数:111件	【今後のスケジュール】 引き続き撮影件数の増加に向け、誘致活動や撮影サポートを支援していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(2回)	・観光客来館者数:3,500人	【今後のスケジュール】 引き続き企画展の開催や展示室の運営を実施し、観光客の誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(5月～2月) ・音楽イベント等の開催(2回)	おきなわ音楽月間イベント来場者数: 64,000人	【今後のスケジュール】 音楽情報の発信やおきなわ音楽月間を開催し、観光客の誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構、舞台照明など、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびなー舞台照明設備機器改修設計	・沖縄市民小劇場あしびなー舞台照明設備機器改修設計の完了	【R3成果目標】 年間観覧者数:35,000人 年間舞台利用者数:5,500人 【今後のスケジュール】 平成30年度設計成果を基に、改修工事を進めていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談(週6日) ・多言語語学講座(週3回) ・多国籍住民等との交流会	来所者数8,709人 生活上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 相談者のうち大多数が生活上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートのより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	<p>エイサーのPRや振興を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> エイサーのまちPR事業 エイサーステッカー製作 エイサーリーフレット製作 街中へのエイサーバナー等設置 エイサーイベントカードの製作 <p>沖縄全島エイサーまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> シャトルバス運行 エイサーまつり空間演出業務 <p>エイサー会館コンテンツ制作(エイサー会館展示物更新)</p> <p>エイサーキャラバンの実施:3回</p>	<ul style="list-style-type: none"> エイサーイベント来場者数 403,403人 エイサー会館来場者数 28,584人 	【今後のスケジュール】引き続きエイサーイベント参加者数の増加に向け、エイサーのまち沖縄市のPR活動を積極的に実施し、エイサーイベントの魅力・利便性の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1			観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	各種メディアやウェブを活用した観光広報活動業務 ガイド養成講座の実施(16回) モニターツアーの実施(11回)	<ul style="list-style-type: none"> 主要ホテル宿泊延べ人数:357,757人 	【今後のスケジュール】観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1			文化芸能推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊やエイサーなどの伝統芸能等のイベントを開催し、市民等に伝統芸能に触れる機会を確保する。	公演(1回)	<ul style="list-style-type: none"> おきなわ芸能フェスティバル来場者数:16,681人 	【今後のスケジュール】引き続きおきなわ芸能フェスティバルを開催し、市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1			観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げるための基礎資料とする。	観光入込統計調査の実施	観光入込統計調査の完了	【R2成果目標】観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】調査中のため、本調査結果を踏まえ、主要観光地の入れ込み客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、観光振興施策を実施することを成果目標として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	<p>プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。</p> <p>プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。</p> <p>海外からのスポーツ団体の合宿誘致に向けた調査・分析等を行い、スポーツ合宿団体の誘致を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿受入:12ヶ月 ・誘致活動:2回 ・プロスポーツ団体等活動支援 4団体 ・交流イベント開催:1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿延べ宿泊者数:24,532人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 158,421人 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>スポーツ合宿者の増加に向けた誘致活動および2020年東京オリンピックに向けた合宿誘致活動の強化を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>
2			モータースポーツ推進事業	H27 ～ R1	<p>本格的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキットの整備実現に向け、モータースポーツの振興を図るイベントを実施し、モータースポーツの認知度向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モータースポーツイベントの実施 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者数:39,240人 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高める</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>
3			道路景観形成等推進事業	H24 ～ R3	<p>観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備実施設計3路線 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計完了 	<p>【R2成果目標】</p> <p>道路利用者のうち魅力的な観光地としての景観形成が図られた(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>引き続き市内の道路整備を実施する。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>路線整備については整備課完了するR2に成果目標を設定する。路線利用者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
3			緑化景観推進事業	H30 ～ R3	<p>観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回) ・プランターの設置(70基) ・亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(140本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4			こども科学力育成事業	H24 ～ R3	<p>科学イベント等を開催し、こどもたちの科学への興味関心を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学イベント開催(3回) ・出前科学教室(116コマ) ・科学研究支援(6校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上) 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>引き続き科学普及イベント・ワークショップ開催による意識啓発及び出前科学教室による学力向上に取り組んでいく。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24～R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習支援を行うことで、学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員の配置 4人 外国語指導助手の配置 25人 学習支援員の配置 24人 学校支援専門員 5人 学習支援コーディネーター 1人 外国語教育コーディネーター 1人 外国語支援コーディネーター 4人 外国語クラブ活動 10校 研修会の開催 学力調査(1回) 中学校放課後学習支援教室8校 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県平均正答率以上 中学校:県との差 - 2ポイント以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】引き続き支援員等を配置することにより、沖縄県学力到達度調査の正答率向上に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。 	
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24～R3	<p>特別な支援を要する障害がある園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p> <p>また、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園特別支援担当36人(補助者含む) 幼稚園特別支援教育補助者7人 心理士3人 保健師1人 就学支援員1人 特別支援教育コーディネータ1人 市スクールカウンセラー16校 心の教室相談員8校 市スクールソーシャルワーカー1人 学校支援教育補助者10人 特別支援教育補助者45人 心理検査(2回) 介助者派遣8人 適応指導教室教育相談員2人 適応指導教室指導員2人 適応指導教室巡回支援指導員4人 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度80%以上 対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 不登校児童生徒登校復帰率 16%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】特別な支援が必要な児童生徒や不登校・学力不振の児童生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した、また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。 	
4	青少年等支援事業	H25～R3	<p>青少年の健全育成を図るため、巡回指導や各種体験活動等を行うほか、若者相談窓口を設置し、相談支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 青少年教育相談指導員 8人配置 青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人 若者相談窓口担当相談員 2人配置 	<ul style="list-style-type: none"> 午前・午後巡回指導件数 前年度比 27.2%減 夜間・合同街頭指導件数 前年度比 9.8%減 若者の主訴改善件数 25%増 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を行い、青少年の健全育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。 	
4	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25～R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生12名を海外短期ホームステイへ派遣する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】国際的な視野を持つ人材育成するため、短期ホームステイ活動支援を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。 	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			就労等支援業務	H24 ～ R3	職業人講話やマナー講座等を通じて、小中高校生の就業意識の向上を図るとともに、就労相談や就労支援講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。	・学校における職業人講話、マナー講座等の実施(8校) ・就労相談 約2,000人/年 ・職場体験 35件	・参加児童へのアンケートで働くことへの興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・就職決定者割合46.8% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・講座等による職業意識の向上を図るとともに、就労相談等により、就職決定につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。
6			地域防災対策事業	H24 ～ R3	自主防災組織の結成及び体制を強化し、防災施設と活動拠点の整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	・防災組織の結成(5組織) ・防災組織資機材・倉庫整備(2組織)	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施し、整備した資機材が観光客や住民の安全確保に資するか(80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートで、本事業のあり方について検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織及び資材整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した
6			災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ R2	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・与儀地区1路線180mの整備工事	・与儀地区1路線180mの整備工事了完了	【R2成果目標】 本避難路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R1 整備工事(与儀地区) R2 整備工事(比屋根地区)・用地測量・用地購入 R3 整備工事(古謝地区)	【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的から、本来災害時の避難者数等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、当該避難道を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、防災力の向上に繋がると考え、成果目標と設定した。 回数については、過去に実施した地域の避難訓練等により設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	里道・水路の占用許可・用途廃止等を行うにあたり、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道及び水路の位置を確定する。	・里道 15kmの境界確定測量 ・水路 3,038mの境界確定測量	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【R4成果目標】 策定した(仮)沖縄市法定外公共物管理計画の中で、個人敷地に占用されている里道・水路の占用手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R1～2 確定測量・表示登記 R3 確定測量・表示登記・(仮)沖縄市法定外公共物管理計画策定 R4～	【R4成果目標設定の考え方】 測量中であるため、当該測量により策定された計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。
8			東部海浜地区開発事業	H25 ～ R3	企業誘致の促進を図るため、本区域における長期滞在型観光地形成に向けた手法や連携機能についての調査・整理を行い、効果的な企業誘致を図るための企業誘致PR動画制作を行う。 また、市民や県民等に対して東部海浜地区開発事業のPRを行い、東部海浜地区への利活用が円滑に行われるよう、認知度向上を図るとともに、本事業地区への進出希望の関連企業に対してヒアリングを行う。	・県外企業誘致ヒアリング ・長期滞在型観光地形成調査及び企業誘致PR動画制作 ・PRイベント実施	・県外企業誘致ヒアリングの実施6回(30社) ・長期滞在型観光地形成調査及び企業誘致PR動画制作 ・来場者等へのアンケートによる認知度(55%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【R3成果目標】 企業誘致件数:1件 【今後のスケジュール】 県内外企業等に公募条件整理に向けたサウンディング等を実施する。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度が向上し、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。	【R3成果目標設定の考え方】 企業誘致先となる民間用地(健康・医療施設用地8.0ha)は企業1社での利用を見込んでいるため、企業誘致件数を1件と設定した。
9			平和推進事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	・9月7日沖縄市民平和の日記念事業 市民向けイベント開催:1回 市内小中学校におけるイベント開催:8校 ・平和大使活用イベント開催:1回	・沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も9月7日沖縄市民平和の日記念事業等を継続的に開催し、沖縄戦への理解を深め継承していく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄戦への理解が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			郷土資料整備事業	H27 ～ R3	郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化を学べる環境を整備し、沖縄の歴史文化に係る理解を深める。	・郷土地域資料の購入・収集 450点	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化に係る学習環境の充実に取り組んでいく。	【R1成果目標設定の考え方】 郷土地域資料利用者のうち大多数が歴史文化に係る理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11			沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、マーケティングの実施及び、デジタルサイネージコンテンツ制作等を行う。	・マーケティング実施支援業務の実施 ・デジタルサイネージ活用動画制作等業務の実施	・マーケティング実施支援業務の完了 ・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・目標入園者数60万人	【今後のスケジュール】 H29～R3:今後も計画性をもって、計画事業スケジュールに基づき、適正な事業実施を行い、沖縄こどもの国の充実を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 目標入園者数については「沖縄こどもの国施設整備基本計画」にて設定している。
12			沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設の整備を行う。	クマ舎周辺エリア整備工事(第1期)の実施	クマ舎周辺エリア整備工事(第1期)の完了 目標入園者数60万人	【今後のスケジュール】 R2年度:クマ舎周辺エリア整備工事(第2期) R3年度:ワニ舎周辺エリア整備工事 R4年度:園内池周辺エリア基本設計、施設拡張エリア基本設計 今後も施設整備基本計画に基づき、沖縄こどもの国の機能強化のため、施設の充実を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 目標入園者数については「沖縄こどもの国施設整備基本計画」にて設定している。
13			商店街等活性化事業	R1 ～ R3	商店街の営業店舗数の増加を図るため、本市全域の商店街等の実態調査を行い、統計データ等を活用して課題を整理分析し、地域特性を活かした商店街等振興施策及び事業等の実施に向けた立案資料を策定する。	・商店街等組織への調査(9団体以上)	調査報告書の作成完了	【R3成果目標】 ・旧銀天街地区:47店舗 ・その他(全体):2,244店舗 【今後のスケジュール】 当調査資料を活用し地域特性を活かした課題解決を図るため、人材育成事業を実施し市と協働で地域課題に取り組むことの出来る人材育成を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
14	農業施設整備事業	R1 ～ R3	沖縄市倉敷地区の農業の振興に向けて、耕種農家と畜種農家の農業用水を確保するため、与那原川を水源とした、取水施設や貯水池(ファーム Pond)の整備を図る。	基本設計の実施	基本設計の完了	【R10成果目標】 ・家畜出荷頭数5%増加及び耕作放棄地0.54ha減少(対R4比) 【スケジュール】 R元年度 基本設計の完了(農業・畜産) R2年度 実施設計の完了(畜産) R3年度 本工事の完了(畜産)	【R10成果目標設定の考え方】 沖縄市農産業活性化計画に基づいて設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	文化観光創出事業	H24 ～ R3	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・駐車場施設の整備、園路照明灯の設置 ・実施設計(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路) ・磁気探査業務、特別調査、親水空間・斜面緑地保全ゾーン環境評価	・駐車場施設の整備完了 ・園路照明灯の設置完了 ・実施設計の完了(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路)	[R4成果目標] 令和4年度年間来場者数:2万人/年 【今後のスケジュール】 ・用地取得と物件補償(～R3年) ・施設整備(～R3年)	[R4成果目標設定の考え方] 類似観光施設の実績を参考に設定した。	
1	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H26 ～ R3	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながる響まちとみぐすく」の実現を目的とする。 また、とみぐすく祭り会場にて豊見城市産品を一堂に会した産業フェスタを併催することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業の効果的なPRを行い産業の振興を図る。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催 日程:令和元年11月(未定) 会場:豊崎美らSUNビーチ 内容:地域資源を活用した祭りとし産品を一堂に会した産業フェスタを併催	とみぐすく祭りの開催・豊見城産業フェスタの開催 とみぐすく祭りの来場者数:8万人 ハーリー大会参加チーム数:63チーム	【今後のスケジュール】 市の二大イベントを同時開催することにより、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を参考に設定した。	
1	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植栽木の管理(1387樹、2回除草清掃・防除工) プランターの植栽管理(464個)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹木の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R1	市内一周線の再編について、検討、評価を行うため、前年度実施した新庁舎移転後に行ったバスルート変更前の事前調査を基に、バスルート変更後のバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理及び豊見城市の望ましい公共交通のあり方の検討を行う。	バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理を行う。	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後は、R1の検証結果や社会情勢の変化に応じて、再度ルートの再編を行う必要があるか適切に判断し対応する。	[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	【今後のスケジュール】 優良母牛導入頭数 R1:16頭(5年目導入率83%) R2:16頭(6年目導入率100%)	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	臨床心理士による認定こども園及び保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を必要とする子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	臨床心理士配置:2名	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			心理相談事業	H27 ～ R3	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	各事業での心理相談・個別支援と事業運営 (事業回数) 幼児健診・事後支援 28回/年 親子教室(運営・指導) 12回/年 心理相談(運営・指導) 24回/年 経過観察クリニック 4回/年 関係機関会議の参加 5回/年 計 73回	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が育児に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで継続的に配置し、十分な教育を受けることができるように配慮する。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			学力向上サポート事業	H24 ～ R3	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.8ポイント H27～H29の県平均との差+2.7ポイント 中学校:+1.9ポイント H27～H29の県平均との差+1.8ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に配置し、令和3年度の県平均正答率との差を小学校+2.6ポイント、中学校+2.5ポイントを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率36% (改善ケース/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 令和3年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置数:中学校1人、 適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人)	不登校児童生徒復帰率20%以上 (学校復帰した児童生徒/新規不登校児童生徒)	【今後のスケジュール】 継続的に各種支援員を配置し、令和3年度の学校復帰率30%を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語講師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:3人 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	・小学生 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合 74%以上 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +4.0ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和3年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+3.8ポイントを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 〔小学生〕対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 〔中学生〕過去の実績を勘案して設定した。	
4	ICT教育推進事業	R1 ～ R3	教師のICT機器の習熟度を向上させるため情報教育指導補助員を配置するとともに、教師用タブレットPC、電子黒板及びデジタル教科書を整備し、わかりやすい授業を展開する。	情報教育補助員:3人派遣 教師用タブレットPC整備:307台 電子黒板整備:8台 デジタル教科書整備:小学校8校	教師にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 事業の成果目標として、児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
4	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持ってたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
4			青少年国際交流事業	H25 ～ R3	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 R1年度～R3年度:各年度14名 合計42名	【R1成果目標設定の考え方】 当事業の目的はリーダー育成・国際的人材育成であるため、この事業を通してより一層団員の興味関心・意欲を高め次世代で活躍できる人材を育成したいとの考えからこの成果目標とした。
4			お仕事体験事業	H30 ～ R2	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効率のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、就業意識が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			学校給食施設塩害防止長寿命化事業	R1 ～ R1	施設の衛生機能を強化することで、児童生徒に安全安心な学校給食を提供する。	外壁塗装等設計 外壁塗装等工事	学校給食衛生管理基準違反:0件	【今後のスケジュール】 食中毒の原因となる一般生菌・大腸菌群・大腸菌等の発生を確実に防除し、児童生徒に安全安心な給食を提供する。	【R1成果目標設定の考え方】 学校給食における衛生管理の重要事項を示した「学校給食衛生管理基準」を満たすことで、食の安全が確保されるとの考えから成果目標とした。
4			学習環境等整備事業	R1 ～ R1	市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。	調査設計及び監理委託業務 断熱防水工事	調査設計業務の実施 断熱防水工事の実施	本事業の目的である快適性の改善は、整備前で検証が困難なため、本年度は成果目標として定性的な指標を設定した。 【R2以降の成果目標】 ・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合80%以上 ・漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数0件	【R2以降の成果目標設定の考え方】 ・アンケートにより、大多数が快適性が改善したと考えられる数値として「80%以上」を目標値とした。 ・雨漏り等による資料の劣化や破損を防ぐことは、保存環境の改善につながると考え、「漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数 0件」と設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
5		組踊継承事業	H29 ～ R1	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	上演台本の検討と編集	上演台本の発刊 50部	<p>[R2成果目標設定の考え方] 組踊「雪払」練習会参加者数 20人/年</p> <p>[今後のスケジュール] 組踊継承者の育成と先進地の取組みを参考にし、地域に根差した文化資源を活用し、文化振興を継続的に実施していく。</p>	<p>[R2成果目標設定の考え方] 本来は組踊「雪払」の観覧者数等を設定すべきであるが、上演にあたっては人間国宝の組踊保持者による継承者育成が5年程度必要となるため、その発現年度は令和6年度と見込まれる。そのため、上演に向けた練習会への参加者数をもって、成果目標として設定する。人数については、一般的な組踊の演舞者数をもって設定した。</p>
5		文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	文化財案内表示板 制作30基	<p>・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年</p> <p>・文化財巡り参加者 30名/年</p>	<p>[今後のスケジュール] R2 文化財案内表示板 30基</p>	<p>[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。</p>
6		サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	<p>プロチームへの誘致活動 環境整備のための要望調査 県内の先進自治体視察による情報収集 備品の整備</p>	<p>プロチームへの誘致活動の完了 環境整備のための要望調査の完了 県内の先進自治体視察による情報収集の完了 備品の整備完了</p>	<p>[R2以降成果目標] サッカーキャンプ受入件数:2件/年</p> <p>[R5以降成果目標] 陸上競技場に係る年間の維持管理費の削減</p>	<p>[R2以降成果目標設定の考え方] 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。</p> <p>[R5以降成果目標の考え方] 指定管理制度導入による削減額を調査・検討し具体的な指標を設定する。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	企業誘致推進業務委託事業	H24～R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる	企業誘致推進員を県外に配置し企業誘致活動を実施	目標企業誘致件数:3社以上	【今後のスケジュール】引き続き県外企業の誘致を図るため、事業を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定	
	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る	・ME(モールドエンジニア)研修:基礎知識の習得(5ヶ月) ・PM(プロジェクトマネージャ)研修:具体的事例をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・CE(コンカレントエンジニア)研修:具体的事例(PM研修からレベルUP)をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・短期研修:企業向けの短期的な研修(1～5日間)	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】引き続き技術者の技術力向上を図るため、事業を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が技術力が向上したと考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証	
	商品プロモーション事業	H25～R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援や商談会を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る	・物産展への出展支援 ・PR活動 ・商品開発講座	・物産展の1事業者平均売上額74,100円以上 ・商談成立件数8件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	【今後のスケジュール】うるま市の豊かな農水畜産物を使用した商品開発は事業者の自助努力で開発できるよう講座の開催及び助言を行い、事業者自身が知識を身に付け、売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していく	【R1成果目標設定の考え方】売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定。商品開発講座については、参加者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定。また、本講座のあり方についてアンケートで検証。	
	国際物流トライアル推進事業	H30～R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	・市内事業者の物流効率化が図られる輸送モデルのニーズ把握 ・輸送モデルの創出に向けた実証実験	輸送モデル実証実験の完了	【R4成果目標】国際物流トライアル推進事業における中城湾振興地区での取扱貨物1モデルあたり2,880トン以上 【今後のスケジュール】R3まで実証実験に取り組む	【R4成果目標設定の考え方】定期航路化に必要なトン数を勘案して設定	
	産業基盤整備推進事業	H30～R1	企業の工場用地の確保に向けた産業基盤整備計画を策定し、工場用地の確保を図る	産業基盤基礎調査の実施(所有者、土地利用規制、近隣施設環境状況、環境アセスメント、誘致先としての可能性について調査等)	産業基盤基礎調査の完了	【R2成果目標】策定した産業基盤整備計画の中で、工場用地の確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業振興施策を実施 【今後のスケジュール】R2～基本構想・基本計画に基づく施策の実施	【R2成果目標設定の考え方】調査・計画策定中のため、計画策定後に目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施することを設定	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業が行う新商品の開発及び既存商品の高付加価値化を目的とした研究開発に対し、費用の一部(市内の公的研究機関に設置された研究及び実証共用機器の使用に係る経費)を支援し、商品開発に繋げる	市内のベンチャー企業等に対し、研究及び実証共用機器使用に係る経費補助	商品の開発件数5件以上	【今後のスケジュール】 開発件数の増加を目指し、継続的な支援とその体制を構築する	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			新産業創出連携促進事業	R1 ～ R3	製造業における新たな製品を創出するための企業間連携の促進を図る	市内企業間マッチングのコーディネート	マッチング件数 2件以上	【今後のスケジュール】 市内立地企業や沖縄県工業連合会、OISTや県外企業などへ周知を行い、事業効果を高めていく	【R1成果目標設定の考え方】 事業内容を勘案し設定
			EV自動車普及促進事業	H25 ～ R3	うるま市産EV自動車の性能や安全性向上により、普及促進を図る。	EV車の導入実証実験の実施	EV車の導入実証実験の完了 実証内容 車両性能・安全性等	【R4成果目標】 実証を行った事業者におけるEV車契約率 80%以上 契約率 EV車購入事業者数/実証事業者数	【R4成果目標設定の考え方】 実証事業(R1～R3)を行った事業者(「実証事業者」という。)からの検証結果をEV車にフィードバックすることによってEV車購入契約につなげる。 大半の実証事業者がEV車両購入契約を行うと仮定し、契約率を80%とした。
2			うるま市就労支援事業	H24 ～ R3	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る	求職者への総合的な就業支援の実施 小中高生へのキャリア教育の実施	・就労支援を行った新規雇用者数340人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに将来を担う児童・生徒の就業意識の向上や就労観・職業観の醸成に努める	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定 ・大多数の小中高生が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する
			うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	人材育成(OFF JT、OJT等)への支援	人材育成事業の実施	【R2成果目標】 人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 90%以上(1年後(R2年度))	【R2成果目標設定の考え方】 ・大学卒就職後1年以内離職率11.5% ・当該離職率を参考に、継続雇用率(1年後)を90%以上とした。
3			観光商品開発流通促進事業	H24 ～ R3	体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る	体験型観光商品メニューのPR	体験型観光商品メニューを体験した観光客数2,200人以上	【今後のスケジュール】 引き続き体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
					R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力を県内外に向けPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光客の誘客を図る	うるま市観光情報フェイスブックによる情報発信	主要施設来場者数 355051人以上	【今後のスケジュール】 市の魅力を県内外に向け継続的にPRし、観光誘客を図る	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			観光イベント連携・交流事業	R1 ～ R3	あやはし海中道路を活用し、新たな観光イベントの実施及び県外の友好都市等の催事において観光PRを実施し、観光客の誘客を図る	・観光イベントの開催 ・友好都市等での催事出店(P R活動)	・イベント来場者数:10,000人以上	【今後のスケジュール】 イベントを通してうるま市への誘客や滞在時間の延長、または宿泊を伴う滞在を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	・推進協議会(仮称)の開催 2回 ・誘致用パンフレットの完成(日本語・英語) ・プロスポーツチーム等の合宿誘致活動 ・受入機能強化(プレハブ設置)	・新規合宿誘致数 1件	【今後のスケジュール】 本事業で設立するスポーツコンベンション推進協議会(仮称)を主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組むことで、さらなる受入拡大に繋げていく。	【R1成果目標設定の考え方】 R1年度はサッカーキャンプを誘致することを考えており、県内市町村のプロサッカーキャンプ受入状況を鑑み、成果目標を設定した
4			勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る	・歴史文化施設建築工事 ・観光ターミナル建築工事 ・歴史文化施設展示製作業務 ・用地取得 ・物件移転補償(公共補償)	・歴史文化施設建築工事の完成 ・観光ターミナル建築工事の完成 ・歴史文化施設展示製作業務の一部完成 ・用地取得の完了 ・物件移転補償(公共補償)の一部完了	【R4成果目標】 年間入場者数300千人 【今後のスケジュール】 R2 観光ターミナル工事、回廊、イベント広場実施設計、用地取得、物件移転補償 R3 駐車場工事、入口広場工事、回廊、イベント広場工事、飲食棟、物販棟実施設計、用地取得、物件移転補償	【R4成果目標設定の考え方】 過去に策定した計画を参考に設定

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考		
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	備考	
									今後の展開方針等	補足説明等
5			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 景観地区等指定業務(伊計地区) <ul style="list-style-type: none"> ・範囲・基準等の検証 ・協議会開催2回 ・地域説明会1回 ・かわら版作成及び配布 200部×3回 ・まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 景観地区指定委託業務(伊計地区)の完了 ・まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区)の完了 	<p>[R3成果目標]</p> <p>伊計地区について、観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、本業務のあり方をアンケート調査により検証する。</p> <p>南風原・浜比嘉地区について、観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、本業務のあり方をアンケート調査により検証</p> <p>[今後のスケジュール]</p> <p>景観地区指定業務 R1 指定に向けた取組、指定後はまちなみ景観助成を実施 南風原・浜比嘉地区について、H33まで引き続き助成を続け、観光地としての魅力向上を図る</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方]</p> <p>対象者のうち大多数が、観光地として魅力的な景観形成が図られていると考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証</p>	
6			島アートプロジェクト事業	H24 ～ R3	島の風景と融合した「アート」を活用した展示会やイベントを創出することで、交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会設立 ・実行委員会開催 ・HP作成 ・開催告知 ・アートイベント開催 ・来場者満足度調査(アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> 来場者数:9,700人以上(16日開催) イベント来場者の満足度:80%以上 	<p>[今後のスケジュール]</p> <p>地域住民と一体となったアートイベントを継続することで、アートをとおして地域住民が目指す地域活性化の取り組みを実施</p>	<p>[R1成果目標設定の考え方]</p> <p>過去の実績を勘案して設定</p>	
7			循環型農業促進事業	H30 ～ R1	循環型農業促進事業基本計画を策定し、家畜排せつ物の堆肥化による農地への還元に向けた循環型農業の促進を目指す	<p>循環型農業促進事業基本計画の策定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の開催 ・策定委員会の開催 ・循環型農業システムの検討 ・先進地事例の調査及び視察 ・循環型農業システム普及方法の検討及び実施 ・基本計画の策定 ・報告書の作成 ・業務打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型農業促進事業基本計画の策定 	<p>[R2成果目標]</p> <p>策定した循環型農業促進事業基本計画の中で、循環型農業の促進に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした農業振興施策を実施</p> <p>[今後のスケジュール]</p> <p>循環型農業の促進に向けた、意見交換や調査、検討等の取組を実施</p>	<p>[R2成果目標設定の考え方]</p> <p>計画策定中のため、農業振興施策実施につなげることを成果目標として設定</p>	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			うるま市の頑張る農業を応援する事業	H30 ～ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る	災害に強い栽培施設整備 7,000㎡ 生産農家6戸	・葉野菜(1,500kg/10a) ・かもちゃ(960kg/10a)	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定生産・供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める	【R1成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定
			津堅島農業活性化事業	R1 ～ R3	観光振興や定住化等の離島振興策、農業参入意欲ある企業誘致等と連携した農業再生・活性化プランを策定し、津堅島農業の再構築を図る。	津堅島農業再生・活性化プランの策定業務の実施 津堅島型農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施	津堅島農業再生・活性化プランの策定 津堅ニンジン生産量増166.3t 300t	【H32成果目標】 策定した農業再生・活性化プランの中で、誘致企業数や新規就農者数など担い手確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした振興及び活性化策を実施する。 【今後のスケジュール】 プラン策定に向け関係団体と検討・協議・調整に取り組む。また、津堅ニンジン栽培に係る支援を実施し、増産に取り組む。	【H32成果目標設定の考え方】 プラン策定業務を踏まえ定量的成果目標を設定する。 【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績及び沖縄県農林水産部指標を参考に設定
8			小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る	学習支援員18名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年：小学5年 対象科目：算数	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	【今後のスケジュール】 正答率の高い学校の取り組みを研修等で共有し、理解度が低い児童や学習意欲の低い児童を中心に支援を行い、平均正答率30%未満の児童を減らすことで全体としての正答率を上げていく	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る	学習支援員10名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年：中学2年 対象科目：数学	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 - 1.5	【今後のスケジュール】 正答率の高い学校の取り組みを研修等で共有し、理解度が低い児童や学習意欲の低い児童を中心に支援を行い、平均正答率30%未満の児童を減らすことで全体としての正答率を上げていく	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
9			配慮を要する子巡回指導事業	H24 ～ R3	「配慮を要する子」の保育等に関し、市内保育施設に勤務する職員に対して、専門指導員による助言や研修会等を行い、保育の質の向上を図る	・巡回指導対象保育施設件数98ヶ所 ・研修会 年5回開催	・相談最終件数の割合40% ・保育所施設研修における理解度95%	【今後のスケジュール】 引き続き専門指導員による助言や研修会等を行う。特に相談件数の依頼や研修参加率の少ない認可外保育園に対しての訪問や保育等に係る技術的助言を行い質の向上を図る	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			ひとり親家庭 生活支援モデル事業	H25 ～ R3	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用につなげるにより、ひとり親家庭の自立に繋げる 児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る	・借上居室数(10部屋) ・生活スキルアップ講座等開催数(12回) ・弁護士相談のべ件数(30回) ・自主学習サポート回数(144回)	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合95% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたか(80%以上)を含め、当該支援のあり方について、検証	【今後のスケジュール】 入居世帯の年齢層、世帯構成に合わせ、必要な支援計画を作成 県母子会やハローワーク、企業立地雇用推進課との連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向け、継続的に支援	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定 ・サポートした児童生徒のうち、大多数が学習習慣の定着が図れたと考えられる値として設定。また、アンケートにより当該支援のあり方について検証する
10			中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る	スクールソーシャルワーカー配置数(4人)	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合21%以上	【今後のスケジュール】 スクールソーシャルワーカーを増員し、学校での相談活用やケース会議、関係機関と連携を強化を図り特別な支援を要する児童生徒へ継続的に支援	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る	教育相談員配置数(8人)	相談件数に対しての課題解決割合29%以上	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開設し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す	適応指導教室指導員配置数(4人)	・体験活動に参加することができた割合79%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合89%以上	【今後のスケジュール】 入級前の子や午前の通級が不安定な子等の居場所確保のために継続して支援体制を整える。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			特別支援教育相談事業	R1 ～ R3	小中学校に設置されている特別支援学級の担任・ヘルパーを対象に各学校へ巡回指導や研修、さらに保護者への相談支援等を実施することで特別支援教育の充実を図る。	特別支援教育相談員配置数(2人)	・特別支援教育にかかる不安が解消されたか(80%以上)を含め、教師や保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援学級の担任・ヘルパーへ巡回指導や研修、保護者への相談支援を実施し、特別支援教育にかかる不安の解消に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、特別支援教育にかかる不安が解消されたと考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証
11			うるま市自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る	・新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備補助実施(3団体) ・自治会や自主防災会へ防災説明会や訓練支援 防災説明会(5回)訓練支援(5回)	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	【今後のスケジュール】 継続して自主防災組織の結成を推進し、各年度において、3団体程度の自主防災組織を結成し、防災資機材を整備する。 囃託員を配置し、きめ細かい支援を行い、地域防災力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業 番号	事業名	計画 期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12			うるま市スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・トップアスリートによるスポーツ教室等の開催 ・外部指導員による部活動顧問への技術指導等	・部活動加盟率及び在籍生徒数 52%以上(2,043人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・部活動加盟率及び在籍生徒数の推移 R1・・・52%(在籍数2,043人) R2・・・55%(在籍数2,160人) R3・・・58%(在籍数2,278人) R4・・・61%(在籍数2,396人)	[R1成果目標設定の考え方] ・R4年度に全国部活動加盟率約61%を達成するために各年度の部活動加盟率を段階的に引き上げる形で設定した。R1年度は事業スキームが半年であることから加盟率をH30年度ベースの52%として、R2年度からは毎年3%増加させていく。 R1・・・52%(在籍数2,043人) R2・・・55%(在籍数2,160人) R3・・・58%(在籍数2,278人) R4・・・61%(在籍数2,396人) ・外部指導者からの指導を受けたことで、部活動顧問の指導力が向上し、新たに加盟した生徒が継続して部活動に加盟する意思があるかを検証する。数値については、概ね肯定的であるといえる数値(80%)を設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ R3	観光客の満足度向上を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用した散策コースの策定及び環境美化を行う。	・上野野原・下地東コースの策定 ・平成24～30年度に策定した「綾道」コース上の文化財の環境美化(除草清掃)	・満足度が向上したか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 これまで策定した「綾道」コースの文化財巡りを実施ながら対象者の満足度(80%以上)を測り、今後の事業の在り方を検討する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の満足度が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			観光拠点施設整備事業	R1	観光誘客及び伊良部島を訪れる観光客の満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。	観光拠点施設の工事 備品購入	観光拠点施設の工事の完了 備品購入の完了	【R2成果目標】 ・年間利用客数37,560人 ・観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 令和2年4月供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 ・観光客実態調査等の結果を踏まえ設定した。 ・対象者のうち大多数が満足度の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、通り池のトイレの増築工事を行う。	伊良部地区の各観光地を整備する。 ・通り池トイレの増築工事	・通り池トイレの増築工事の完了	【R2成果目標】 観光客の利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2: 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			新城海岸環境整備事業	H28 ～ R1	新城海岸のトイレ・シャワー施設に水道管を敷設し、水利用の衛生面を改善して観光客の利便性向上を図る。	水道管敷設工事	水道管敷設工事の完了	【R2成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			トロピカルフルーツパーク機能強化事業	H28 ～ R3	トロピカルフルーツパークに熱帯果樹の植栽と加工・研修施設の整備を行い、観光誘客を図る。	基本設計の実施	基本設計の完了	【R4成果目標】 年間利用客数49,474人 【今後のスケジュール】 R2 実施設計 R3 整備工事 R4 加工・研修施設の供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 同規模の類似施設を参考に設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	宮古島市伝統工芸品センター機能強化事業	R1	宮古島市伝統工芸品センターの冷房機を設置し、観光客等の快適な施設利用を図る。	宮古島市伝統工芸品センターの冷房機設置工事	観光メニュー体験者数 R1 180人(2019年7月～2020年3月)	【今後のスケジュール】 魅力的な施設となるよう、利用者の意見を取り入れていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1	観光施設美化事業	R1	竜宮城展望台の内外壁を塗装し、景観を向上させることにより、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・竜宮城展望台美化塗装工事の実施	・竜宮城展望台美化塗装工事の完了	【R2成果目標】 ・魅力的な観光地にふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2年1月の供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 事業の目的である観光地にふさわしい景観形成がなされたかどうかについてアンケートを実施し、効果を測定するものとした。
2	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～R3	観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光地アクセス道路環境美化の実施(32路線)	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	観光地公園環境美化強化事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	クルーズ船観光受入体制強化事業	H29～R3	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の設置・運営、歓迎迎せレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船受入業務委託の実施 ・観光案内所の設置、運営 ・臨時CIQ設置 ・歓迎迎せレモニー ・二次交通対策 ・パンフレットなど情報発信 ・アンケート、他港の受入状況視察等の情報収集	クルーズ船観光客数506,800人以上	【今後のスケジュール】 2020年春 クルーズ船専用バス供用開始予定	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	誘客促進事業	H24～R3	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動の実施、国内外の新規航空路線就航に向けたPR活動、官民が連携した「宮古島市観光推進協議会(仮)」の開催により各種取組の推進を図る。	観光PRイベント等への参加 観光マネジメント業務の実施	入域観光客数1,000,000人以上	【今後のスケジュール】 プロモーション活動を継続的に実施し、令和元年度入域観光客数100万人以上を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業	H30 ～ R1	下地島空港を利用する観光客等の誘客を図るため、地域の資源・魅力を感じられるコンテンツ(短時間周遊や体験プログラム等)の強化・改善を行う。	開発コンテンツの強化・改善に向けた委託業務の実施	開発コンテンツの強化・改善業務の完了	<p>[R2成果目標]</p> R1事業内容を踏まえ、コンテンツ利用者数に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興策につなげる。	<p>[R1成果目標設定の考え方]</p> 調査中のため、観光振興策につなげることを成果目標として設定した。
4			宮古島市天然ガス資源利活用推進事業	H28 ～ R1	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水(温泉水)を利活用した事業化実現のため、コンテナ植物工場継続実証、100%天然ガス使用発電機の実証、採掘権取得を行う。	<ul style="list-style-type: none"> コンテナ植物工場継続実証 100%天然ガス使用発電機の実証 採掘権取得業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> コンテナ植物工場の収穫326.4kg以上 100%天然ガス使用発電機による発電25kw 採掘権取得 	<p>[今後のスケジュール]</p> 天然ガス井を最大限活用できる方策の検討、事業実施後に見込まれる効果:民間による開発が促進され、地域振興、産業振興につなげる。	<p>[R1成果目標設定の考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫量:栽培面積を勘案して設定した。 発電量:天然ガス及び付随水を汲み上げる水中ポンプ稼働必要電力、コンテナ植物工場で使用する照明・空調等必要電力を勘案して設定した。
4			エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28 ～ R1	市民や事業者のエコへの関心を高めるため、エコの取り組みに対する情報発信やイベント等を開催するとともに、これまでの取組の効果検証を図り、持続的な運営方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトの運営(エコ活動の取材及びSNSの活用等)及び効果検証 市民が参加できるイベント等の開催及び効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトのアクセス数:85,000件 SNSの「いいね」数:1,100件 各種イベント参加者数:合計600名 	<p>[今後のスケジュール]</p> 策定したアクションプランに基づき、島内のブランド価値向上や島外向け情報発信等の施策を講じていく。	<p>[R1成果目標設定の考え方]</p> 過去の実績を勘案して設定した。
5			生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	沖縄本島への輸送が空路に限定される生鮮水産物の出荷量増加を図るため、出荷が同距離の陸路輸送費並みの運賃となるよう補助金を交付する。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(153.2トン)	<p>[今後のスケジュール]</p> 今後も沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、継続的に補助を行い、本市が持つ地理的事情の不利性を解消し、水産業の活性化を図っていく。	<p>[R1成果目標設定の考え方]</p> 過去の実績を勘案して設定した。
5			宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R2	安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化に向けた水槽設置工事を行う。	水槽設置工事を行う。	水槽設置工事の完了	<p>[R3の成果目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 種苗生産量 シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個 タイワンガサミ稚蟹 140,000尾 研修施設利用者 320人/年 <p>[今後のスケジュール]</p> R2 研修施設整備工事 太陽光発電設置工事 R3 供用開始予定	<p>[R3成果目標設定の考え方]</p> 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			来間東航路標識灯設置事業	H30 ～ R1	航路の安全性を確保するため、南バヤオ(伊良部南浮魚礁)に航路標識灯(灯標)3基を設置する。	安全な夜間航行に資するため、同航路に航路標識灯を設置する。	航路標識等設置工事の完了	[R2成果目標] 来間東航路夜間航行事故発生の防止発生件数0件を目標にする。	[R2成果目標設定の考え方] 事業内容を踏まえ設定した。
6			救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R2	観光客等の事故や傷病の発生に対する応急手当の普及を図るため、専属の応急手当普及員を配置し、救命講習会を開催する。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:21回(普通救命講習 /15回、普通救命講習 /3回、上級救命講習/3回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	救命講習受講者数1,700人以上 救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	[今後のスケジュール] 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。 受講者のうち大多数が適切な応急手当が実施できると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7			課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・スクールソーシャルワーカー6名配置 ・問題行動学習支援員3名配置	・不登校児童生徒復帰率50%以上(のべ復帰者/のべ不登校者)	[今後のスケジュール] SSWr事業の周知とSSWrのスキルアップのため事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
7			選手派遣支援事業	H24 ～ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	[今後のスケジュール] 今後も継続的に児童生徒に広い視野をもたせるため大会派遣への支援を行う	[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7			移動図書館整備事業	R1	生涯学習環境の向上を図るため、移動図書館を整備し、公共図書館へアクセスし難い地域等を定期的に巡回する。	移動図書館の整備	移動図書館の年間貸出数7,950冊以上	[今後のスケジュール] R1.12 移動図書館の整備完了 R2.1 移動図書館の供用開始	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を参考にして設定した。
7			電子黒板整備事業	H30 ～ R1	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の普通学級及び特別教室に電子黒板を整備する。	電子黒板の整備 小学校13校177台 中学校7校56台 小中学校併置校1校8台	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	[今後のスケジュール] 引き続き小規模校も含め全小中学校への電子黒板の整備を推進し、学校教育の質の確保を図る。	[R1成果目標設定の考え方] 児童生徒のうち大多数が電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ R2	本市への高等教育機関の設置に向けた、学校経営・学生確保等に関する実現可能性の検証(実証)を実施する。	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の実施(実証を実施する機関1校以上)	高等教育機関の設置実現に向けた、課題の把握	[R3成果目標] 高等教育機関の設置認可 1件以上 [今後のスケジュール] 実証で把握された課題の評価・改善の検証を行い、令和4年度以降の高等教育機関の設置を目指す。	[R3成果目標設定の考え方] 事業内容を踏まえ設定した。
9			平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ R3	平良港において取扱物流量の増加を図るため、総合物流センターを整備する。	実施設計の実施	実施設計の完了	[R4成果目標] 取扱物流量132千: [今後のスケジュール] R2 工事 R3 工事 R4 供用開始	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
10			地下水保全調査事業	H29 ～ R2	地下水保全の取組に繋げるため、伊良部島における水源開発の可能性調査及び平良地下水流域の流域界特定調査結果の分析を行う。	1)伊良部島における水源可能性調査の実施 2)平良地下水流域の流域界特定調査の分析	1)伊良部島における水源可能性調査の完了 2)平良地下水流域の流域界特定調査結果の分析完了	[R2成果目標] 1)伊良部島における予備水源地の確保のための取組につなげる。 [今後のスケジュール] R2 東添道地下水流域の詳細調査	[R1成果目標設定の考え方] 事業内容を踏まえ設定した。 [R2成果目標設定の考え方] 1)調査中のため、伊良部島における水源地を確保するための取組につなげることを成果目標として設定した。
11			城辺地区世代間交流施設等に関する検討事業	R1 ～ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地区に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能等を備えた施設を整備する。	基本計画の策定	基本計画の策定完了	[R4成果目標] ・負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・生きがいづくりに寄与したか(80%以上)を含め、児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 [今後のスケジュール] R2 基本及び実施設計 R3 工事	[R4成果目標設定の考え方] ・対象者のうち大多数が負担軽減が図られたと考えられる値として設定した。 ・対象者のうち大多数が生きがいづくりに寄与したと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1		スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致を図る。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	【今後のスケジュール】 継続的に芝生の適正管理を行うことで、プロ・サッカーキャンプ誘致に繋げ、観光振興を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。
1	2		尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ R1	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」に基づき、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学べる機会を創出することで、市の歴史文化の継承を図る。	1 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校(各1回) ・紙芝居DVD制作 ・「文化講演会」1回 2 地域興しの人材育成 ・「尚巴志塾事業」講座6回 3 エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 上記開催地区4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業完了時、「尚巴志」の認知度が高まり、獲得した知識をそれぞれが情報発信していくことで、南城市の知名度向上に繋げ、観光客増を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が市の歴史文化への理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3		南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R2	市産商品の売上増加を図るため、市産商品のPR及び販売活動を行う。	・市内イベントでの販売活動1回 ・県内観光商業施設等での販売活動1回 ・市外イベントでの販売活動1回	商品の売上額:441万円以上 (出展するイベント等での売上額)	【今後のスケジュール】 来場者や売上の増加に向け、内容を改善しながらR2年度まで支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4		海外交流推進事業	H28 ～ R1	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有するとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査する。	・アジアからのインターンシップ受け入れの実施 ・アジアに向けた観光PR活動の実施 ・市内観光事業者へのセミナー開催(成果共有)	斎場御嶽における外国人観光客数40,000人以上/年	【今後のスケジュール】 各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的に香港市場とのネットワークを形成する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	5		南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その3)を策定する。	地域懇談会実施箇所:9地域	南城型エコミュージアム実施計画(各論その3)策定(9地域)	【R2成果目標】 地域ごとのエコミュージアム計画を基に、観光誘客を目的とした事業の実施に繋げる。 【今後のスケジュール】 R2～R3 南城型エコミュージアム実施事業を展開	【R2成果目標設定の考え方】 本事業において策定するエコミュージアム計画の中で観光誘客に係る指標を設定するため、当該計画で設定した指標を目指した観光誘客に繋がる事業を実施していくことを目的とする。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	6		観光振興将来拠点地整備事業	H25 ~ R1	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。また、災害時には避難場所として活用し、市民や観光客等の安全確保を図る。	・造成工事 ・面整備 ・擁壁工事 ・管理施設工事(外灯、安全柵等)	・駐車場利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。 ・整備した駐車場を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R2 全面供用開始	【R1成果目標設定の考え方】 (駐車場利用者) ・駐車場利用者のうち、大多数が利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (災害時避難所機能) 整備した駐車場を活用した防災訓練の実施、検証を行うことで住民及び観光客の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。
1	7		東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ~ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、世界遺産斎場御嶽をはじめ、東御廻りに関するスポットの周辺整備等を行う。 今年度は、世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画を策定する。	世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画策定 ・関係者へのヒアリング ・観光客ニーズ調査 ・検討委員会の開催 ・関係者会議の開催	世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定完了	【R3成果目標】 観光客を対象にアンケートを実施し、観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R1 世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定 R2~R3 計画に基づき、整備実施	【R3成果目標設定の考え方】 観光客の大多数にとって魅力的な景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	8		南城市観光交通実施計画策定事業	R1	観光客の市内交通に関する利便性の確保を図るため、観光交通のあり方や公共交通の利用促進に向けた取組を定めた観光交通実施計画を策定する。	観光交通実施計画策定 ・有識者へのヒアリング ・来訪者の動態調査 ・首都圏及び外国人のニーズ調査 ・検討委員会の開催	南城市観光交通実施計画策定完了	【R2成果目標】 南城市観光交通実施計画において指標を設定し、観光客の市内交通に関する利便性確保に向けた取組の確実な実施に繋げる。 【今後のスケジュール】 R2以降 計画書に基づき、施策を実施。	【R2成果目標設定の考え方】 事業の目的から、観光客の市内交通に関する利便性が確保されたかを成果目標として設定すべきだが、観光交通実施計画を基にした取組の実施前であるため、効果の検証が困難である。実施計画内で指標を設定し、この達成に向けて取組を確実に実施することを計画策定後の成果目標として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	1	平和学習受入体制強化事業	H25 ~ R2	<p>系数アプチャガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、来訪者の安全確保及び戦跡の保全のための工事を行い、沖縄戦の歴史の継承及び観光誘客を図る。 今年度は、ガマ内の保全対策工事を行う。</p>	第1期保全対策工事の実施	第1期保全対策工事の完了	<p>【R3成果目標】 年間来場者数：108,800人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 H30 保全対策設計 R1 保全対策工事 R2 保全対策工事</p>	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	1	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ~ R3	<p>市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付ける者に対し支援を行う。</p>	優良母牛導入支援：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：113%以上	<p>【今後のスケジュール】 R2 導入支援：50頭 R3 導入支援：50頭</p>	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	2	優良乳用牛リース支援事業	H27 ~ R1	<p>市内の酪農家の経営の安定化に向けて、乳用牛の生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、酪農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。</p>	優良乳用牛導入支援：50頭	<p>・生産乳量(1頭)：7,860kg以上/年 ・乳質(脂肪率)：3.89%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 事業完了後も関係機関と連携強化を図り、乳用牛の改良強化に繋げる。</p>	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	1	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ~ R3	<p>温室効果ガス(二酸化炭素)の排出削減を図るため、防犯灯を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。</p>	防犯灯をLED照明へ切り替え：約350本	LEDに切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量の削減効果：36,000kg-CO2/年の削減	<p>【今後のスケジュール】 年次的に自治会の防犯灯をLED照明に切り替え、温室効果ガス(Co2)削減に繋げる。</p>	【R1成果目標設定の考え方】 既存照明と同等の照度を持つLED照明へ切り替えた場合を勘案して設定した。	
5	1	学習支援員配置事業	H25 ~ R3	<p>児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。</p>	<p>・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置</p>	<p>沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。</p> <p>・小学校：県平均以上 ・中学校：県平均以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 継続して学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。</p>	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	<p>特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。</p>	<p>・5幼稚園：特別支援教育支援員12名配置 ・8小学校：特別支援教育支援員36名配置 ・4中学校：特別支援教育支援員6名配置</p>	<p>特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 継続して特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p>	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が支援員の対応へ満足したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、市の歴史・文化に関する資料を収集・編纂し、冊子として刊行する。また、資料を活用して市民等を対象とした学習会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 『資料集 戦争』：会議(4回)、刊行(400部) 『民俗』：会議(2回)、原稿執筆 学習会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の調査成果を活用した学習会への参加人数:30人以上/年 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 R2 「民俗」調査/執筆 R3 「民俗」刊行 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】 類似の学習会(文化課主催の琉歌講座)の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R1	スポーツ施設の機能強化によるスポーツ合宿の実施増加に繋げるため、ウエイトルームを整備する。	・現場技術監理業務の実施 ・ウエイトルーム整備工事の実施	・現場技術監理業務の完了 ・ウエイトルーム整備工事の完了	【R2成果目標】 合宿誘致件数:48件以上 【今後のスケジュール】 R1年度 ウエイトルーム整備完了	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ～ R2	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・優良母牛導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合117%以上	【今後のスケジュール】 継続的に優良母牛の導入支援を実施することにより子牛のブランド化を進め、農家の所得向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		学習支援員配置事業	H25 ～ R2	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い学力の向上を図るため、学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校 2名(各校1名) ・中学校 1名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語:-1.0ポイント以内 算数:-3.1ポイント以内 理科:-1.9ポイント以内 中学校 国語:-0.33ポイント以内 算数:-0.07ポイント以内 理科:-0.97ポイント以内 社会:-1.3ポイント以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員を配置して個々の学力に応じた学習指導を行うことにより、沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		生徒指導支援員配置事業	H30 ～ R2	不登校の児童生徒に対応した支援を行い不登校の改善を図るため、生徒指導支援員を配置する。	生徒指導支援員の配置 ・中学校 1名	不登校児童生徒復帰率 30%以上	【今後のスケジュール】 引き続き生徒指導支援員を配置して児童生徒に対応した生徒指導を実施することにより、不登校の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	幼児児童生徒の英語等、語学力向上を図るため英語支援員を配置 ・認定こども園、小学校 2名 ・中学校 1名	・認定こども園・小学校 英検jr取得率 ブロンズ 小学校5年生:83%以上 シルバー 小学校6年生:80%以上 ・中学校2年生 到達度調査(英語)平均正答率 沖縄県との差:3.5ポイント 支援を受けた認定こども園児は、小学校へ進級して受験	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員を配置することにより、児童生徒の英検jrの取得率や沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		学習支援教室委託事業	H28 ~ R2	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(村営塾)を設置する。	対象: 中学3年生 ・開室期間: 7月下旬 ~ 翌年3月・週3回 ・1回3時間 ・科目: 英語・国語・数学・理科・社会 教務形態: 委託	受講生の高校受験合格率: 100%	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援教室(村営塾)を設置し、受講生の高校進学を支援する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		環境保全・美化推進事業	H27 ~ R1	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・ネコ・イヌ対策を行う。	・賃金職員の配置(2人) ・各対策保護捕獲器の設置(ハブ: 30基、犬: 3基、猫: 30基) ・保護収容ネコの譲渡推進のための避妊去勢等の手術を実施	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止(咬傷被害0件) ネコ・イヌの野生化未然防止(ネコ・イヌによるヤンバルクイナの捕食5件以下)	【今後のスケジュール】 引き続き、ハブ・ネコ・イヌを保護捕獲し、保護収容ネコの譲渡を推進する。地域住民及び観光客の安全確保と野生生物の保護を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		多自然川づくり事業	H24 ~ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	・河川工事の実施(L=85m) ・現場技術管理業務の実施	河川工事整備率 61%(734m/全体延長L=1,200m)	【R4成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数 20人 【今後のスケジュール】 R1年度 ・河川整備工事、現場管理業務 R2年度 ・河川整備工事 R3年度 ・河川整備工事 R4年度 ・供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 類似の商店街観光誘客イベントを参考に設定した。 類似の観覧会(辺土名川水生生物観覧会)等を参考に設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			大宜味村観光情報発信整備事業	H24～R3	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を強化する。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援 ・情報発信の為にパンフレット等作成	・大宜味村産業まつり来場者数 5,500名以上 ・PRイベント交流人口 15,000名以上	【今後のスケジュール】 今後、さらなる交流人口の増加への取組の構築を図り、リピーターや大宜味ファンを増やしていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績及び今後の見込みを勘案して設定した。
1			環境保全・美化推進事業	H28～R2	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・賃金調査職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:30台、犬:3台、猫:10台) ・猫の譲渡実施	・ハブ咬傷被害:1件以下 ・ヤンバルクイナの生息率:15.4%以上 ・保護した猫の譲渡:40件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 ・ハブ咬傷被害については過去の実績を参考に設定した。 ・ヤンバルクイナの生息率については、環境省が調査している数値を参考に設定した。 ・保護した猫の譲渡件数については、過去の実績を参考に設定した。
1			ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26～R3	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=200m	・累計河川工事整備率 64% (1,658m/全体延長2,600m)	【R4成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 R2 護岸工事 R3 護岸工事・台帳整備	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			結の浜地区海浜等整備事業	R1	結の浜地区において観光の振興を図るため、人工海浜及び周辺施設整備に向けた基本計画を策定する。	・結の浜海浜整備基本計画の作成	・結の浜海浜整備基本計画の策定	【R2成果目標】 本事業で策定する基本計画を基に、観光産業の振興に向けた施設整備事業に実施につなげる。 【今後のスケジュール】 R2以降 基本計画に基づく事業の実施	【R2成果目標設定の考え方】 本事業で策定する基本計画に基づき施設整備計画を検討するため、円滑な整備事業の実施につなげることを目標として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		第二次大宜味村観光振興基盤整備事業	R1	観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、村の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	今後の大宜味村の観光振興の方向性について第二次大宜味村観光振興基本計画としてまとめる。	・観光振興基本計画の作成完了	<p>【R2成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2以降 計画に基づく各事業の実施</p>	【R2成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目標として設定した。
2		学習支援員配置事業	H25～R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校 3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校 2名(1年～3年2名)	R1年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 -1.5ポイント以上 ・中学校 -1.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して村内小中学校に学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		地域支援員配置事業	H25～R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校)	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25～R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	・生涯学習講座 12回以上開催	・講座受講者数 252名以上	【今後のスケジュール】 今後も本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、本事業を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		児童生徒等県外派遣支援事業	H26～R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	・児童生徒への県外派遣支援	・派遣された児童・生徒の保護者へアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 村内各学校と派遣に関する情報共有に努め、事業を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が県内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。
3		カラキ活用推進プロジェクト	H28～R1	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増加を図る。今年度は苗木の増殖実験・加工法の検討等を行う。	・苗木の育成栽培 ・定植苗配布 ・加工法の検討 ・挿し木5,000本の実施 ・PR活動の実施	・前年までの挿し木の管理及び剪定方法と萌芽状況確認 ・定植苗配布 ・加工商品開発のための加工法の検討をする ・挿し木の完了 ・PR活動を実施する	<p>【R4成果目標】 ・開発した商品を活用した村内事業者11店舗以上</p> <p>【今後のスケジュール】 苗木栽培技術者の養成(2人)・苗木の増殖に取り組む。</p>	【R4成果目標設定の考え方】 商品材料であるカラキの安定的な供給まで挿し木から6～7年程度のため、R4に設定し、開発した商品を現在の村内販売店等の店舗数5割以上が活用していく目標として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28 ～ R1	働く保護者等の子育て支援の充実を図るため、幼保連携型総合施設を整備する。	令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(建築、外構工事、建築監理業務、備品購入)	令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(建築、外構工事、建築監理業務、備品購入の完了)	[R2成果目標] ・供用開始1年目(令和2年度)の目標を以下のとおりとする。 子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。 [今後のスケジュール] R2 開園	[R2成果目標設定の考え方] 大多数の働く保護者が子育て支援の充実が図られた、と考えられる値として設定した。 また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。
5		喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業	R1	喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作しやんばの森ビジターセンターに展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施する。	喜如嘉の芭蕉布着物を制作 2着以上	年度内での制作完了及び展示	[R2成果目標] 喜如嘉の芭蕉布及びその伝統工芸技術について、興味・関心がもてたか(80%以上)を含め、施設来場者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。 [今後のスケジュール] 展示施設の来場者に、制作した着物の伝統工芸の魅力を発信する。	[R2成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が、興味・関心がもてたと考えられる値として設定した。 また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	東村つつじ祭り強化事業	H27～R1	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、本村の魅力を来園者(観光客等)に周知し、観光産業の活性化を図る。	・園内ライトアップ等の実施 ・ステージイベントの充実	つつじ祭り来場者数42,000人以上	【今後のスケジュール】 来園者の増加に向け、まつりの開催時の内容を改善しながらR1年度まで継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H27～R2	「東村村民の森基本計画」を元に、観光誘客に繋げる取組みとして、つつじ園内に観覧施設を整備する。	観覧施設の整備(施設概要) 鉄筋コンクリート造り 1階 観覧施設 160㎡程度	観覧施設の整備完了	【R2成果目標】 年間利用者数 115,000人以上 【今後のスケジュール】 R2 観覧施設工事(外構) 3月開催の「つつじ祭り」から供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	東村企業研修プログラム構築事業	H29～R1	昨年に商品開発を行ったPA(プロジェクトアドベンチャー:冒険教育)プログラムを販売へ繋げるため、モニターツアー及び販促活動を行う。	モニターツアーの実施 販促物の完成 商談会参加	プログラム販売体制の構築完了	【R2成果目標】 年間企業研修 10社以上 【今後のスケジュール】 モニターツアー及び販促活動に取り組む。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の調査結果を参考にして設定した。
2	特別支援教育支援員配置事業	H27～R3	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	特別支援教育支援員配置数 ・小学校へ2名 ・中学校へ3名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して幼稚園並びに小中学校へ支援員を配置し、幼児児童生徒の学習環境の保持を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	産業支援住宅整備事業	H29～R1	本村地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図る為、産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅の建設(4棟)及び造成外構工事の実施(施設概要) 鉄筋コンクリート造り平屋建て 4棟 1棟 96.71㎡	産業支援住宅の建設(4棟)及び造成外構工事の完了	【R2成果目標】 第1次産業従事者入居戸数 4戸 【今後のスケジュール】 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 産業支援住宅に第1次産業従事者が定住することで、第1次産業従事者の確保が図られることから整備戸数を設定した。
4	避難経路整備事業	H30～R1	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。	避難経路の整備(施設概要) 避難経路(幅2m程度、延長70m程度)	避難経路の整備完了	【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年以上)により、本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 東村地域防災計画を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R1	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)が村民及び県民との交流を通じて、本村の移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。	・研修生受入 4人 ・染め物や沖縄料理、方言等の沖縄文化を学ぶとともに村民及び県民との交流を実施。	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・受入事業は定期的に継続し、相互の情報交換を行いネットワーク向上を図る。 ・相互交流も定期的に継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の受入実績等を参考にして設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	人育成事業	H24 ~ R3	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。	小学生を対象に、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。 派遣生徒数：36人	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、子どもたちの視野を広げる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	教育環境充実事業	H25 ~ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	幼稚園、小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。 ・幼稚園（特）2人 ・小学校（学）3人（特）5人 ・中学校（学）1人（特）1人	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学生 -0.8ポイント以上 中学生 -7.1ポイント以上 ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒の学力や学習意欲の向上を図り、児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ R3	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に2週間、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる	帰国後、生徒の国際的な視野がより広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 留学生数増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	環境保全美化推進事業	H24 ~ R3	観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	観光力基盤強化事業	H24 ~ R3	観光誘客を図る為、村内で実施するイベントを支援する。	村内で実施する以下のイベントに対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・古宇利ハーフマラソン(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(1月) ・今帰仁まつり(10月) ・三村交流事業(11月)	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,300人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,600人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:48,500人 ・今帰仁まつり来場者:10,200人 ・三村交流事業来場者:1,400人	【今後のスケジュール】 村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	観光地安全強化事業	H24 ~ R3	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	繁忙期である12月~2月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	【今後のスケジュール】 イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ~ R3	今帰仁城跡付近を流れる今泊港川について、自然環境を最大限に活かした河川に整備し、魅力的な景観形成を図る。	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)について自然環境を最大限生かした整備を行う。	全体計画における17.8%整備(累積整備率55.5%)	【R4成果目標】 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・R2~3年度:河川の整備 ・R4年度:供用開始 ・全体整備計画 1120m(H33)	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ~ R3	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	ガイドによる案内者数 12,400名	【今後のスケジュール】 来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	景観形成強化事業	H24 ~ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に沿った道路整備を行う ・張りコンクリート設置工事 ・排水路工事	・実施設計完了(張りコンクリート工事、側溝敷設、排水路設置工事、簡易舗装工事) ・排水路設置工事完了	【R4成果目標】 魅力的な景観が形成されたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・全体整備計画 H29~R3の5年間で観光アクセスルートを4.825kmを整備する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	今帰仁城跡等情報発信強化事業	R1	映像コンテンツを用いた情報発信により村の認知度向上を図り、観光誘客へつなげる。	・映像コンテンツの制作 ・デジタルサイネージの設置	・映像コンテンツの制作完了 ・デジタルサイネージの設置完了	【R2成果目標】 今帰仁城跡公式HP(観光情報)アクセス数10万件 【今後のスケジュール】 R2 供用開始(村の観光情報発信に取り組む)	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	着地型観光誘客事業	R1 ~ R3	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。	教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。 ・専属職員の配置 3名 ・受入民家を対象とした講習会 ・県外での誘致活動 等	令和2年度の民泊客(予約の人数) 12,000人(60校) (内訳) ・新規 31校 ・リピーター 29校	【今後の展開方針】 今後も継続的に教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合113%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良繁殖雌牛導入支援を行い、安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ~ R1	村の待機児童の解消を図るため、幼保連携一体化施設を整備する。	幼保連携一体化施設の整備。 (施設概要) 設置場所:今帰仁村字越地180番地 主要機能:幼児教育・保育施設 構造:RC造 階数:2階建て 床面積:2,620㎡	外構工事(駐車場)の完了。 転落防止柵の設置工事の完了。	【R2成果目標】 待機児童数0名 【今後のスケジュール】 R2 幼保連携一体化施設共用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付 = 1191基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	・観光客へのアンケート 観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる人の割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約450カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲機設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。
1	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回 もとぶ元気夕市の実施 48回	闘牛・闘山羊大会来場者数:880人 もとぶ元気夕市来場者数:7,680人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。地域再生計画に基づき設定した。
1	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ R1	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画の策定	観光振興基本計画策定	【R2成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R2～計画に基づく各事業の実施	【R2成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目的として設定した。
1	八重岳山頂パーク(仮称)整備事業	H31 ～ R3	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には多くの観光客が訪れており、今後も本町の主要な観光拠点として活用するため、山頂付近に自然やロケーション活用した環境整備を行い観光客等が訪れる景勝地づくりを推進し、さらなる観光客の誘致を図る。	基本構想の策定	基本構想の策定完了	【R4成果目標】 基本構想の中で年間利用者数を設定する。 【今後のスケジュール】 R2 実施設計 R3 整備工事	【R4成果目標の考え方】 基本構想で設定した年間利用者数を成果目標とする。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ R3	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	農業用施設整備の支援	強化型パイプハウス設置の完了	【R4成果目標】 パイン収穫量1,400kg以上(1棟当たり) 【今後のスケジュール】 今後も継続的に強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部作成品目別技術・収益性事例(果樹編)のパインの収量を参考にして設定した。
2			もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ~ R4	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合107%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良母牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ~ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
2			もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ~ R1	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	・もとぶ産品製造事業所の支援 (ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	【平成30年度開発特産品】 アセローラ酢販売額:228千円 アセローラプレザーブ販売額:160千円 生姜入りシークワースードリンク販売額:252千円	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、売上の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 販売計画を基に設定した。
2			農水産業担い手支援住宅整備事業	H31 ~ R3	農業及び漁業の新たな担い手を確保するため、農水産業担い手支援住宅を建築する。	産業支援住宅の基本計画の策定	産業支援住宅の基本計画策定完了	【R4成果目標】 基本計画の中で、整備戸数を設定し、全戸数の担い手の入居を目指す。 【今後のスケジュール】 R1 基本設計 R2 実施設計・測量業務 R3 建築工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本計画で設定した戸数を設定する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			もとぶピージャー産地確立推進事業	H25 ~ R1	本町では少数飼育農家が多数であり、定期的に一定量の出荷が難しいことや粗飼料自給率が低いことから、経営を逼迫している状況である。そのため各地区に共同山羊舎の整備及び機械導入を行うことで、畜産農家の経営安定化を図る。	農業用機械の導入 (粗飼料管理機一式)	農業用機械(粗飼料管理機一式)の導入完了	【R2成果目標】 粗飼料自給率66%以上 【今後のスケジュール】 一貫した粗飼料の生産体系を確立し、経営の安定化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 沖縄県が作成した山羊経営技術指標を基に設定した。
3			本部型就業意識向上支援事業	H29 ~ R1	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(9校) 教職員向けマナー研修の実施(2回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4			本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ R3	町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。また教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できるように、教員の事務作業の補助も行う。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和元年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 - 6.9ポイント以上 中学校 - 2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣する。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間)	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4			特別支援教育環境充実事業	H28 ~ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 8名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、特別支援員への満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ R1	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への赤土流出について、その発生源に対する対策を実施し、赤土流出を軽減することで環境保全を図る。	流出対策事業(工事)実施	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,300m ³	【今後のスケジュール】 調査検討業務の成果を活用し、今後も継続的に赤土流出対策を実施することで環境保全を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 設計測量時の堆積土浚渫量を参考に設定した。
6		防災施設機能強化整備事業	H29 ～ R1	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	緊急避難路の整備	緊急避難路整備の完了	【R2成果目標】 本避難路を活用した避難訓練の実施(2回/年)し、安全・安心に避難できたか(80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。対象者のうち大多数の訓練参加者が、安全・安心に避難できたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ R3	地域住民や観光客のハブ咬症被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブやタイワンスジオの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を400箇所に設置する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数：400箇所	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数：0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲器設置エリアの細分化 ・仲泊・前兼久地区の調査 ・拡散防止の強化 ・捕獲数増加エリアに対して捕獲器設置数増加	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
			恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、各種イベントやプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光誘客プロモーションの実施 ・イベントの開催 ・観光案内人の配置 ・誘客コンテンツ開発事業	・イベント観覧者数：15,000人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数：延べ302万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーション・イベント活動をはじめ、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R1成果目標の考え方】 ・イベント来場者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・宿泊者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ~ R1	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は建築及び外構工事を行う。	・建築及び外構工事の実施 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ及び防犯カメラ設置工事の実施 ・家具設置工事の実施 ・展示資料の作成 ・展示備品の購入	・建築及び外構工事の完了 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ及び防犯カメラ設置工事の完了 ・家具設置工事の完了 ・展示資料作成の完了 ・展示備品購入完了	【R2成果目標】 ・施設の年間利用者数 延べ102万人以上 【今後のスケジュール】 令和元年度 建築及び外構工事 令和2年度 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び類似施設の実績を参考に設定した。
1			あしびなー施設整備事業	H29 ~ R2	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は建築実施設計を行う。	・建築実施設計の実施 ・用地取得	・建築実施設計の完了 ・用地取得の完了	【R3成果目標】 ・施設の年間利用者(観光客等)数 延べ1,680人 【今後のスケジュール】 令和元年度 建築実施設計、用地取得 令和2年度 建築工事 令和3年度 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 基本構想における体験学習講座受講者数で設定した。
2			恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ~ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、排水路を整備する。今年度は、第2期改修工事を行う。	排水路中流部の排水路整備工事(第2期改修工事)の実施。	排水路中流部(348m)の完成。	【R2成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫)：0件 【今後のスケジュール】 令和2年度：排水路上流部(392m)の整備工事実施	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援教育支援員配置 幼稚園:4人 小学校:10人 中学校:6人	特別支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R3	阪神春季キャンプ中はもろるん年間を通して誘客出来る観光資源を開拓するため、キャンプの受入態勢を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・阪神春季キャンプ見学者数(86,000人)	【今後のスケジュール】 関係団体(観光協会、商工会)との連携をして集客と滞在時間の延長を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			宜野座村文化のまじり魅力発見事業	H24 ～ R3	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等を実施する。	(がらんまホール公演) 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催する。(17回以上) (お出かけ公演) 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を行う。(11回以上)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,520名以上) ・お出かけ公演実対象者数(5,250名以上)	【今後のスケジュール】 H28～R3 ・芸術文化・伝統芸能公演の開催:30公演/年 ・お出かけ公演実施:20公演/年 ・子ども育成事業実施:2事業/年	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光人材の育成等を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施(関西地域、沖縄県内、団体誘致等) ・観光プログラムの開発事業の実施 ・観光人材育成事業の実施 ・年間を通じたイベントの開催(3回)(村内) ・外部専門家(アドバイザー)招請によるSNSなどの活用による情報発信の検証と、発信技術の向上を図る。	・宜野座村の観光入客数(24.5万人)	【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R1	秋の行楽シーズン、スポーツの盛んな季節において、宜野座村を訪れている観光客等に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公演を中心とした場所において、大花火大会を開催し宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(10,000人/2日間)	【今後のスケジュール】 開催の時期、内容等を検討しながら効果的に開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H27 ～ R3	村の文化振興の中心的施設である宜野座村文化センターがらまんホールの各種機器の機能を強化し更なる高度な文化事業が行えるよう整備することで、村内外からの入場者数増加を図る。	・デジタルモニターシステムを導入する。 (施設概要) 設置場所: 沖縄県宜野座村314-1 主要機能: 劇場 席 数: 403席	デジタルモニター実施設計・設置完了	[R4成果目標] 年間入場者数22,409人以上 【今後のスケジュール】 R2 音響システム機能強化 R3 照明システム機能強化	[R4成果目標の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
1			農村沿道景観向上事業	R1 ～ R3	村内のホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートを、安全で快適な散策ができるよう除草等を実施する。	・美化作業員配置2名	安全で快適な散策ができたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	[R1成果目標の考え方] 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	・学習支援員配置数 松田小学校2名 宜野座小学校4名 漢那小学校2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ・小学校3年・4年・5年・6年(算数)	【今後のスケジュール】 確かな学力の定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	[R1成果目標の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
2			中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	・学習支援員配置数等 宜野座中学校 5名 (英語、国語、数学、理科、社会各教科1名)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ・中学校2年(国語、数学、英語、理科、社会)	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	[R1成果目標の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
2			幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者が安心・安全に子供を預け、育児の負担感を軽減するため、幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育担当職員配置数 松田幼稚園2名 宜野座幼稚園2名 漢那幼稚園2名	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象となる幼児の保護者へのアンケートで事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 預かり保育受け入れ園児率を申し込み園児の100%を目指す。	[R1成果目標の考え方] 対象者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に村内の中・高校生6名を英語圏へ派遣する。 ・研修先:アメリカ合衆国(ハワイ州) ・内容:現地大学での英会話授業、歴史文化学習、村人会との交流等 ・ホームステイ4泊、大学寮13泊	・研修先:アメリカ合衆国(ハワイ州) ・内容:現地大学での英会話授業、歴史文化学習、村人会との交流等 ・ホームステイ4泊、大学寮13泊	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も中高生を派遣し広い視野をもった人材を育成していく ・海外語学研修派遣者数(累計)R3年度 36人 ・現地プログラムの充実	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R3	有機の里宜野座村を目指し、推進協議会・部会を開催する。専門技術員による栽培指導を実施し、安定した農産物の生産拡大を図り、エコ農産物の有利販売拡大を行う。	減農薬、減化学肥料による環境保全型農業を推進する。詳細内容は以下の通り。 ・有機の里宜野座村推進協議会・部会の開催 ・アドバイザーの招聘 ・専門技術員の配置 農業技術営農指導員1名 土壌分析・肥料設計・エコファーマー認定指導員1名 販売戦略担当1名 ・エコ販売袋・シール等の購入	・エコファーマーの認定者数 3名 ・エコ農産物販売目標135t	【今後のスケジュール】 エコファーマーの認定数及びエコ農産物販売数の増加を図ることにより環境保全型農業を推進する。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を助案して設定した。
3			農業用観光施設モデル整備事業	H28 ～ R1	県内外から多くのイチゴ狩り来客者を受け入れることで、観光型農業による本村の観光振興を図るため、イチゴ用ハウス及び作業棟を整備する。	・農業用観光施設工事 1,800㎡/1棟 ・作業棟設置工事 68㎡/1棟	R1/R2年 イチゴ狩り来客者 4,100名	【今後のスケジュール】 県内外からのイチゴ狩り来客者受け入れに取り組む。	【R1/R2成果目標の考え方】 過去の実績を助案して設定した。
3			さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R2	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、さとうきび生産の活性化を図る。	営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、営農指導や講習会を実施する。 ・営農指導員配置1名	R1年生産量5,264t以上	【今後のスケジュール】 栽培農家戸数を増やし、栽培面積拡大に繋げる。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を助案して設定した。
4			観光景観向上対策事業	H27 ～ R3	村指定の観光地である松田鍾乳洞に繋がる洞窟等の景観向上を図るため、監視・作業員を配置し観光地に放置された不法投棄物の撤去等を行う。	監視・作業員配置2名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去	・観光地における不法投棄の減少:10件/年以内	【今後のスケジュール】 不法投棄を減少させ、景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を助案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		計画 期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R3	観光客や修学旅行生等の安全を確保することを目的として、咬傷事故を未然に防ぐため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	・ハブ捕獲器設置 ・観光地パトロールの実施	・観光地におけるハブの咬傷被害件数：0件	【今後のスケジュール】 観光客が安心して観光できるよう安全を確保し、入客数が増加するよう努める。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R3	企業の誘致を図るため、企業の求める就労支援、広報普及活動、企業誘致活動等を行う。	・企業誘致ブース出展 ・招聘ツアーの実施	・企業誘致ブース来場者：200名 ・招聘ツアー参加者：20人	【今後のスケジュール】 ・他事業（人材育成・IT体験イベント等）との展開 ・企業誘致ブース・招聘ツアーの継続実施	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び村民との交流を行う。	宜野座村出身者海外移住者子弟4名を招聘し、3カ月間の研修を実施する。 (受入相手) ・ペルー、アルゼンチン、ブラジル、ハワイ州	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 ・子弟研修生受入4人 / 各年度の継続した取り組み (事業実施後の取組み) ・子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			パークゴルフ場整備事業	H28 ～ R1	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	建築工事の実施 (施設概要) 設置場所: 金武町並里区内 主要機能: パークゴルフ場 クラブハウス ホール数: 18ホール 構造: RC造 階数: 1階 床面積: 93㎡	建築工事の完了	[R2成果目標] ・観光客の年間利用者数 15,046人 ・町民の年間利用者数 8,102人 [今後のスケジュール] R2 供用開始 観光誘客及び住民の福祉向上に取り組む。	[R2成果目標設定の考え方] 類似施設の実績を参考に設定した。
1			プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプの継続受け入れを図るため、体育施設の芝管理等を行う。	プロスポーツキャンプ受入体制構築 競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備、人工芝舗装) プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備 スポーツ教室の開催	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	[今後のスケジュール] 受入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
1			金武町観光振興等推進事業	H31 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催、県内外での観光・物産PR等を行う。また、観光客の利便性を確保するため、町内に多言語対応の観光案内・誘導サインを整備する。	地域活性化イベントの開催 金武町観光物産PR等 金武町観光案内サイン整備	地域活性化イベント来場者数 6,547人 観光・物産PRブース来場者数 3,364人	[R2成果目標] 観光案内サインにより利便性が確保された(80%)を含め、観光客に対してアンケートにより本事業の在り方を検証する。 [今後のスケジュール] イベントや観光物産展の実施や観光情報発信等により観光誘客に取り組む。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。 [R2成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が観光案内サインにより利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良繁殖雌牛の導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約97%	[今後のスケジュール] 引き続き優良繁殖雌牛を導入することにより、農家の経営安定化を図る。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
3			金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R3	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童生徒の職業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	・職業相談 ・各種講座の開催: 11講座 ・キャリア教育: 5回	・就業率10.8%以上 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	[今後のスケジュール] 引き続き職業相談や講座、セミナーを実施し、雇用拡大を図る。	[R1成果目標設定の考え方] ・就業率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	・日本人英語指導員 小学校:2人 ・外国人英語指導助手 小学校:2人 中学校:2人 ・英語コーディネーター 教育委員会:1人	・小学校 平均正答率84.5%以上。 ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率26%以上。	【今後のスケジュール】 引き続き、日本人英語指導員等による英語教育の充実を図り、国際化に適應できる英語コミュニケーション能力の育成及び学力の向上に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
			幼稚園児預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	・預かり保育希望園児の受入	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の継続実施により、保護者の就労促進に繋がり、子育て環境の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
			特別支援教育支援事業	H24 ～ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数 ・幼稚園:1名 ・小学校:12名 ・中学校:5名	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 支援を必要とする幼児児童生徒の学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し、安心して学べる学習環境の構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			金武町海外移住者子弟等受入事業	H29 ～ R3	海外と本町を結ぶ架け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	・受入人数:2人 研修期間 (8月～12月までの約4ヶ月間) ・研修報告(閉講式) 1回	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業を継続し、伝統芸能や文化教養の継承および、人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が沖縄の文化や歴史に興味をもったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	・顕彰式の開催 ・當山記念館等を活用した移民関連の学習会を開催 ・公演等の記念事業の実施	移民の日関連事業参加者数:550人	【今後のスケジュール】 事業を継続し、金武町を移民発祥の地として位置づけ、移民関連事業を実施し、當山久三の偉業及び功績を顕彰するとともに、「海外雄飛の里金武町」として、移民の歴史の周知及び国際感覚豊かな人材育成に取り組む。また、金武町移民の日が沖縄と移住国、または世界各国を結び付ける記念の日として定着させていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
6		「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ R1	町出身の偉人の功績や町の歴史、文化、精神を後世へ継承するため、金武町の偉人及び民話を絵本化する。	絵本の製作完了及び配布 ・町内こども園7冊 ・町内幼稚園・学校全クラス63冊 ・各地区公民館14冊 ・県内公共図書館39冊 ・国立国会図書館2冊 ・その他(町立図書館、役場、教育委員会、大学図書館、各メディア)38冊	寄贈先の読者へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 町内イベントでの読み聞かせ(読書フェスティバル、学校等での朝の読み聞かせ、公民館まつり、子どもまつり等)	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が絵本の内容について理解できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R1	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃) ・捕獲器の設置 (15基設置)	・ハブ咬傷による被害件数0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			村立保育所整備事業	R1 ～ R2	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。	・用地取得の実施 ・実施設計の実施	・用地取得事務の完了 ・実施設計の完了	【R3成果目標】 待機児童ゼロ 【今後のスケジュール】 R2 建築工事等 R3 供用開始	【R3成果目標の考え方】 ・待機児童の解消を目的とした事業のため、待機児童数ゼロと設定した。
3			伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
4			村花・世界のゆり推進事業	H24 ～ R2	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。 また、「ゆり祭り」期間中にイベントを開催し観光誘客を図る。	・テッポウユリ及び世界のゆり球根 70,000球 ・「ゆり祭り」における無料送迎バス、花火・プロジェクションマッピング等のイベント開催	第24回伊江島ゆり祭り来場者数 R1年29,000人	【今後のスケジュール】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者の増 (R2目標 33,000人)	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			観光地クリーン事業	H27 ～ R2	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	・環境美化保全作業人15名雇用 ・観光地管理委託(3箇所:4月～10月)	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		計画 期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	観光客誘客環境整備事業	H26 ～ R2	伊江村にある観光施設、リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村基本構想策定を行うことで伊江村の観光振興の向上を図る。	・リリーフィールド公園施設整備 ・伊江村青少年旅行村基本構成策定	(リリーフィールド公園) 施設整備完了 (伊江村青少年旅行村) 基本構想策定完了	(リリーフィールド公園) リリーフィールド公園入場者数 R1年度 29,000人 (伊江村青少年旅行村) 基本構想等を踏まえて、来場者数等の観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした事業を実施する。	(リリーフィールド公園) 過去の実績を参考に設定 【実績】 ・H28:30,000人 ・H29:30,000人 ・H30:26,000人 平均:28,666人 【目標】 ・R1:29,000人 過去3年間の平均値を基準値とし、それを上回ることを目標として数値を設定。 (伊江村青少年旅行村) 基本構想等を踏まえて、来場者数等の観光振興に係る目標値を決定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該数値に基づいた事業を実施することを目標とした。
4	観光誘客推進事業	R1 ～ R3	継続的な観光振興を推進するため、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動や観光情報を発信し、伊江村の認知度向上を図り、観光誘客へ繋げる。	県内外の観光イベント等でのPR活動	集客イベントでのブース来場者数 県内:500人以上(各イベント毎) 県外:1,000人以上(各イベント毎)	【今後のスケジュール】 県内外において、継続したPR活動を実施し、伊江村への観光誘客に繋げていくための取組を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 集客イベントにおいて、パンフレットを配布し、県内外の人へ伊江島を知ってもらうことで、本村への観光誘客を推進することが可能との考えから設定した。 離島フェアなど、過去の県内イベントの実績(約500部)から配布数を算定。県外イベントは、イベント規模が県内より大きく来場者数も多いこと、また、伊江島のことを知らない方もいるため倍となる1,000部の配布数を目標として設定する。
5	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 小学校(2校6人配置) 中学校(1校3人配置)	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 5ポイント以上 中学校 3ポイント以上	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取組みを継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業番号 パ 細	事業名	計画 期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
					R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R3	沖縄本島との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。	各種大会派遣費の助成 1,000人(単年度)	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、児童生徒に広い視野を持たせるため、派遣旅費の支援を継続していく。 派遣人数(累計) H25～R3年度:10,000人	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が児童の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6			伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R3	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。	・小学6年生企業訪問体験 ・中学1年生職業人講話 ・中学1年生職場体験前のフォロー ・中学2年生、中学3年生卒業生による進路講話 ・中学生みりょく発見隊	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 小学生から中学生まで継続的に事業を行う事により就業意識を向上を図る。事業実施前と後にアンケートを実施し、意識の違いを確認する。 参加児童生徒数(累計) R3年度:800人	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の就業意識の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7			伊江村小学校ICT機能強化事業	R1	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に教育用パソコンを整備する。	小学校2校へパソコンを整備	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のある方を検証	【今後のスケジュール】 整備したパソコンを活用し、児童の情報端末操作技術の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8			離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R1	伊江村の漁業振興に向けて、これまで、夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により、伊江島琉球石灰岩地層の地下水を汲み上げ、新たな過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた、試験栽培を行う。	・試験栽培の実施	・試験栽培による品種の選定	【今後のスケジュール】 R2 実施設計及び施設整備 【R3成果目標】 調査結果及び試験栽培を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 調査結果及び試験栽培を踏まえて生産量目標値を決定する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9	伊江村パークゴルフ場整備事業	R1	新たな観光誘客施設としてパークゴルフ場を整備し、伊江島ハイビスカス園等とも連携した滞在型観光への取り組みを行う。	パークゴルフ場整備工事の実施設計 パークゴルフ場整備工事の実施	パークゴルフ場整備工事の実施設計の完了 パークゴルフ場整備工事の完了	【今後のスケジュール】 R2 供用開始 【R2成果目標】 R2年度利用者数:15,150人	【R2成果目標設定の考え方】 ハイビスカス園の5年間の来場者数の平均値を基に、その約30%をパークゴルフ場へ誘客することを目標値として設定した。 ハイビスカス園入場者数実績 H25～H29:合計:238,995人 ・5か年の平均値:約48,000人・A AをR1年度の基準値として採用 R2利用者数(前年度比5.1%増) $A \times 1.051 = 50,500人 \dots B$ Bの約30%を目標値とした。 $B \times 30\% = 15,150人$ 前年度比5.1%増については、村観光振興計画の観光客目標値を参考
10	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ～ R1	スポーツ合宿の受入機能強化など、スポーツコンベンションを推進するため、伊江村多目的交流センターを整備する。	伊江村多目的交流センターの基本計画	伊江村多目的交流センターの基本計画の完了	【スケジュール】 H30 基本構想 R1 基本計画 R2年度以降については、基本構想、基本計画の内容を踏まえ、今後の展開方針等を決定する。	【成果目標設定の考え方】 基本構想、基本計画等を踏まえて目標受入れ人数や施設稼働率等を設定する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24～R3	スポーツキャンプを中心に、各種スポーツ大会・試合・キャンプ・合宿・スポーツイベント等の更なる誘致促進、受入体制の強化を目的とする。また、それに伴い、本村でのスポーツキャンプが定着化している地域で、観光誘客イベントを行うことで、ファン層などの観光客を村内へ誘客する。また村内でもスポーツコンベンション受入の機運を高める取り組みを行う。	・各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(5回) ・観光誘客活動(3回) ・観光誘客イベントや、キャンプ期間中の集客について事業委託を行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 26件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 23,275人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ・大会等の誘致を行い、『スポーツキャンプ地読谷村』としての認知を高めることで持続的なスポーツコンベンション受入と、経済波及効果の向上に繋がると考える。そのため、キャンプ・大会誘致等の継続的な誘致と、観光誘客イベントを行う。また、村内でもスポーツコンベンションの受入の機運を高める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	危険生物駆除事業	H25～R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・村内にハブ捕獲器を400器設置 ・定期巡回・管理・処分の実施 ・危険周知看板100枚の管理・修繕	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数：0件	【今後のスケジュール】 今後も継続して事業を行い、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 咬傷被害の未然防止を図る目的を踏まえ、設定した。
1	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25～R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	・コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供 ・レンタカードライブMAPへの記事掲載	メール受信件数：1281件	【今後のスケジュール】 R3年度までFM放送番組の制作・放送を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	読谷にーびち観光客誘致事業	H29～R3	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	・国内・国外でのプロモーション(3回) ・パンフレットの作成(1万部)	リゾートウェディング数 2,633組	【今後のスケジュール】 今後も継続実施することで、本村のリゾートウェディングのブランド化と、観光客のリピーター化に繋がることが見込まれる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	世界遺産座喜味城跡活用事業	H25～R3	座喜味城跡が世界遺産登録20周年を迎えることから、座喜味城跡のライトアップを実施し、改めて座喜味城跡の魅力を発信していく。	座喜味城跡ライトアップの実施(90日間)	ライトアップ期間中の入場者数11,000人以上	【今後のスケジュール】 座喜味城跡の魅力を発信していくため、継続的にライトアップ事業を取り組んでいく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。(H27実績 10,476人であることから、その数値を上回る人数で設定)

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	川回る広場整備事業	H30 ～ R2	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	川回る広場の整備を行う(工事・現場監理)	工事及び現場監理のR1年度分実施完了	【R3成果目標】 供用開始1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 ソフトボール競技公式戦の誘致 5件 ソフトボールチームのキャンプ誘致 6件 【今後のスケジュール】 令和1年度～2年度 工事 令和3年4月 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 隣接施設の実績を参考に設置した。	
1	バス停上屋整備事業	H27 ～ R1	観光客及び地域住民の利便性向上を図るため、都屋バス停上屋を整備する。	バス停上屋整備工事の実施	バス停上屋整備工事の完了	【R2成果目標】 本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R1 整備工事 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、「快適にバスを待てるようになった」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
2	日本語教育支援員配置事業	H24 ～ R3	二重国籍や外国籍児童等、日本語を習得していない児童に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語教育支援員を配置する。	村立小学校に3名の日本語教育支援員を配置 (配置) 村立3小学校	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任とする。	
2	小中学校学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(算数・数学)の向上を図る。	村立小中学校に7名の学習支援員を配置し、主に小学校3年生の算数、中学校1年生の数学の学習支援を実施 (配置) 村立5小学校 村立2中学校	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 小学校3年生算数 1.7ポイント以上 中学校1年生数学 -2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 (配置) 村立5幼稚園 村立5小学校 村立2中学校 教育委員会に特別支援教育専門指導員を1名配置	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を効果的に配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。評価者は対象となる児童生徒の保護者とする。
2		ICT機能強化事業(小学校デジタル教科書)	H27 ～ R1	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校にデジタル教科書を整備する。	小学校5校へデジタル教科書を整備	児童へのアンケートで、デジタル教科書を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、デジタル教科書の活用のあり方について検証	【今後のスケジュール】 整備したICT機器を活用し、学校教育の質の確保を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		小学校ICTパソコン教室機能強化事業	H30 ～ R1	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に学校教育用パソコンを整備する。	小学校2校のパソコン教室へパソコンを整備	パソコン教室の利用実績が利用計画時数の80%以上	【今後のスケジュール】 整備したパソコンを活用し、児童の情報端末操作技術の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 概ね計画通りに利用したと考えられる値として設定した。
3		ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ～ R1	これまでに構築した地域散策マップWebサイト・システムを機能拡充し、さらに連動される形で「デジタルアーカイブシステム」の構築を行う。	デジタルアーカイブシステムを構築する。	サイトアクセス数:2,000	【今後のスケジュール】 ミュージアムにおいて「読谷村デジタルアーカイブ展」などの村民参加型の企画展等を開催することで、H30の年間アクセス数1,200を2,000にする。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ R3	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのパンフレットを作成し、沖縄語になじみの薄い児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	・沖縄語(しまくとぅば)の単語調査・整理・原稿執筆(32頁) ・パンフレットの印刷製本	・沖縄語(しまくとぅば)パンフレットの発行(1,000部) ・村内小中学校(7校)、自治会(24自治会)へ配布 ・教材の活用により、沖縄語の理解が深まったか(80%以上)を含め、沖縄語の保存継承のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで毎年テーマごとにパンフレットを発刊	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ～ R3	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	実施設計の作成	実施設計の完了	<p>[R4成果目標] ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。</p> <p>[今後のスケジュール] R2年度:用地購入 R3年度:整備工事</p>	[R4成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数の利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。	・保護者アンケート 帰国後、国際的な視野が広まったと回答した割合80%	<p>[今後のスケジュール] 今後も継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。</p>	[R1成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R3	本村の工芸品の周知とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外プロモーションを実施する。	・テストマーケティング等の実施(2回) ・物産展への出展(1回) ・展示会への出展(2回) ・周知用媒体ツールの作成	・陶器市の来場者数 14,338人	<p>[今後のスケジュール] 今後も継続的に県外プロモーションを実施し、本村の工芸品の周知とヤチムン等を活用した観光誘客を図る。</p>	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
6	低炭素社会構築事業	H30 ～ R2	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に切替、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	・R1年度分防犯灯等のLED切替工事の実施	・R1年度分防犯灯等のLED切替工事の完了	<p>[R3成果目標] 防犯灯のLED化によるCO2排出削減量268.5t-CO2</p> <p>[今後のスケジュール] R2 LED照明整備工事</p>	[R3成果目標設定の考え方] 既存照明からLED照明に切り替えた際のCO2排出削減量を基に設定した。	
7	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ～ R3	大木地区の土地区画整理事業の進捗を図るため、境界が接する崖地の対策を行う。	崖地対策実施設計を行う。	崖地対策実施設計完了	<p>[R3成果目標] 大木地区の土地区画整理事業の進捗率88%</p> <p>[今後のスケジュール] R5 大木地区の土地区画整理事業の進捗率100%</p>	[R3成果目標設定の考え方] 現在の進捗率を基に、崖地対策工事の進捗率を勘案し、設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	うたの日コンサート事業	H25 ~ R1	観光誘客を図るため、音楽イベント「うたの日コンサート」の開催に係る経費の一部を支援する。	実行委員会への補助金交付	来場者数:7,840人以上	【今後のスケジュール】 引き続きより多くの県外ツアー客の誘客に努めるとともに、本町により長く滞在(周遊)する仕組みづくりに努める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ~ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	外構工事の実施	外構工事の完了	【R4成果目標】 施設利用者数 77.9万人 【今後のスケジュール】 R2 施設建築工事 R3 外構工事・供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び県の観光振興基本計画を参照して設定した。	
1	比謝川緑地広場整備事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・進入路、通路の整備工事	・進入路、通路の整備工事の完了	【R4成果目標】 年間利用者数:延べ12,240人以上 【今後のスケジュール】 R1 進入路、通路の整備工事 R2 自然体験センター建設工事 R3 広場整備、外構工事	【R4成果目標設定の考え方】 施設の受入可能人数を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H24 ~ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	学習支援員の配置数:5人 (小学校:4人、中学校1人) 算数:数学の授業でティームテーチングや放課後の補習で学習支援を行う。学習支援する児童生徒の人数:60人 (学習支援員1人あたり児童生徒10人に対応する)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-4.8ポイント以上 中学校:-7.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員の役割を整理し、補習等の内容や対象者を明確にすることで単元テストの正答率の向上をめざす。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	英語力強化事業	H24 ~ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、小学生が英語に親しむ環境の創出及び中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数:5人 (小学校:3人、中学校:2人) 英語指導員の配置数:1人 (中学校:1人) 中学校においては、英検対策や放課後の学習支援を行う。	(小学生) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (中学生) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合:8.0%以上 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-5.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 各学年の年間指導計画にゲームやアクティビティを位置づけ、英語に親しみながら、学習の充実を図る。 中学校においては、英会話授業の充実、放課後の補習や英検対策などの英語指導の充実を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。 過去の実績を勘案して設定した	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	ICT活用事業	H24 ～ R3	教員のICT機器活用に関する習熟度の向上及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT指導員を配置し、教員及び児童生徒の情報機器操作能力向上及びICT機器の授業への活用に向けた支援を行う。	パソコン指導員の配置数：3人 (小学校：2人、中学校：1人) 授業支援や児童生徒の情報機器操作能力の向上を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT活用教員のICT機器等の活用率を高め、わかる授業の展開を図り、教師の情報機器の活用力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	生徒の不登校改善を図るため、中学校へ生徒指導支援員を配置し、生徒への支援を行う。	生徒指導支援員の配置数：2人 (中学校：2人)	不登校生徒復帰率：25%以上	【今後のスケジュール】 家庭や関係機関との連携を図りながら、登校支援を行い、学校復帰率を高める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	秋田交流学习体験事業	H26 ～ R1	小中学校における授業環境の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市に派遣し、児童生徒には学習規律を、教師には指導方法や授業づくりの手法を学ばせる。また、大館市の教師を招聘し、本町の教師を対象とした研修を行う。	<秋田県への派遣> ・児童生徒：20人、教員：9人 <秋田県からの招聘> ・教員：3人	(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (研修会や報告会を受けた教師へのアンケート) ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 招聘教員による講話や秋田県学习交流事業の報告会を行い、秋田型授業のよさを理解し、各学校の授業改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 研修会や報告会を受けた教師のうち大多数がスキルや意欲が身についたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	特別支援教育支援員の配置：23人 (小学校：16人、中学校：7人)	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	『嘉手納町の歴史と文化』刊行事業	R1	嘉手納町の歴史文化の継承を図るため、本町の歴史と文化をまとめた副読本を刊行、小中学校に配布し、社会科の授業や総合的な学習の時間で活用する。	・副読本『嘉手納町の歴史と文化』の内容及び構成の検討、製作 ・中学校の社会科や総合的な学習の時間の年間指導計画への位置づける。 ・副読本を活用した授業実践	児童生徒に対するアンケートを実施し、町の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 本町の歴史や文化等を課題研究(自由研究)のテーマとして、課題追求の過程で副読本を活用させる。 ・課題研究の報告会(発表会)を開催する。 ・優れた研究報告(発表)は「教育の日」の式典で表彰(総管賞の授与)を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が町の歴史文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	雇用促進事業	H25 ～ R1	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 92日 セミナーの開催日数 45回	相談者及び受講者のうち、就職が決まった人数:11人以上 相談者及び受講者の内、就職が決まった人数の割合:5.5%以上 「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査で(年2回)で確認。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にセミナーの内容を充実させ、求職者のニーズに合わせた講座を受講できるようにする。 他機関(教育機関や社会福祉施設等)と情報共有を密にし、事業の周知徹底を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	草木の再資源化(チップ化後の重量) 656t以上/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R3	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	・嘉手納中学校屋内運動場照明設備、兼久海浜公園ソフトボール場屋外照明設備のLED化	R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 嘉手納中学校屋内運動場 2,290kg-CO2/年の削減 兼久海浜公園ソフトボール場 5,410kg-CO2/年の削減	【今後のスケジュール】 今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,193.655kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。	
6	食育まんが啓発推進事業	H29 ～ R1	町民の食生活に対する意識の向上を図るため、食育を題材とした漫画を制作、配布し、健康的な食生活の情報を周知する。	食育まんがの制作(2本) 4,970部配布 ウェブブック化(2本)	食生活の改善に対する意識が向上したか(87%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も食育まんが制作・配布を行い周知を図り健康増進の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ~ R1	災害時の町内避難者や観光客等の安全確保を図るため、非常食料及び生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の導入を行う。	避難所2箇所(計150人分)に備蓄食糧、生活必需品等を各75人分(計150人分)配備。	町内避難者及び観光客等の備蓄完了。	<p>【R2成果目標】 整備した備蓄食糧及び物品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 今後、全避難所(20箇所)への備蓄品の設置を行い、町内避難者及び観光客等の備蓄率100%を目指す。 町内の避難所へ備蓄品等の配置 ・H30 2箇所整備 90% 完了予定 ・R1 2箇所整備100% 完了予定</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 整備した食糧及び物品等を活用した防災訓練の実施、検証を行うことで住民及び観光客の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。</p>	
7	防災啓発事業	R1	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、ハザードマップや避難場所の情報を掲載した防災マップを作成し、住民及び観光客等に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ作成、配布(7,500部) ・地図情報システム構築、公開 	防災マップ等の配布及び地図システムの構築完了	<p>【R2成果目標】 作成した防災マップ等を活用した訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 全世帯へ防災マップの配布を行い、ポケット版を道の駅等へ配置する。町民及び観光客に対し、災害時の避難知識向上を図る。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 防災マップ等を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで住民及び観光客の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。</p>	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			北谷町観光物産プロモーション事業	H24～R3	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。また、本町を訪れた外国人観光客の対応をするため、多言語対応職員の配置、多言語観光情報パンフレットの製作等を実施する。	(1)国内プロモーション 2箇所実施 (2)海外プロモーション 2箇所実施 (3)プロモーション動画制作 (4)多言語対応窓口の設置、多言語観光情報パンフレットの制作等	・観光情報センター利用者数76,760人以上 (うち外国人利用者数55,332人以上) ・外国人観光客の大多数が利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、外国人観光客に対応するため、継続的に多言語対応職員を設置する。	【R1成果目標設定の考え方】 ・利用者数 過去実績を勘案して設定した。 ・外国人観光客のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
1			コミュニティバス導入調査検討事業	H26～R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行う。	コミュニティバスの実証運行を実施し、その効果検証を行う。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・収支率10%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 平成29年度～平成30年度において実施したバス利用者アンケートや利用状況の分析等の結果をもとに運行改善等を実施し、本格運行導入の可否を判断するための調査及び検討を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 ・利用者の大多数が利便性・回遊性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・運航改善を実施し、実証運行最終年度のR3に目標収支率である25%を目指す。
1			西海岸歩行者ネットワーク整備事業	H24～R1	観光客や町民が本町西海岸の観光スポット等を散策出来るよう、遊歩道を整備する。	歩道新設工事の実施。	歩道新設工事の完了。	【R2成果目標】 遊歩道歩行者数13万人/年 【今後のスケジュール】 整備完了後、本事業の効果を確認するため歩行者の交通量調査を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			アラハビーチ周辺魅力向上事業	R1	観光施設としての魅力向上を図るため安良波公園の機能強化を目的とし、本公園の主要施設であるインディアンオーク号の改良を行う。	インディアンオーク号の改良及び周辺整備工事を行う。	インディアンオーク号改良及び周辺整備工事の施工完了。	【R2成果目標】 安良波公園利用者数50万人/年 【今後のスケジュール】 HP等による周知活動を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			英語指導助手派遣事業	H24～R3	小学校の児童生徒の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	・英語指導助手(AET)の配置 小学校 4名(各校1名) (隣接の幼稚園を兼務) 中学校 2名(各校1名)	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差0.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 次期学習指導要領における、小学校外国語科の導入に伴い、移行措置の段階から授業時数の増加に沿って、必要な勤務時間を増加させる。	【R1成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校:過去実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	日本語指導学習支援員配置事業	H25 ～ R3	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員を1人配置する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合(80%以上)等を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 日本語指導が必要な児童が今後増加した場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
2	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	・学習支援員の配置 小学校 4名(各校1名) 中学校 2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.7ポイント以上 中学校 1.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを1人配置する。	・町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 8件以内 中学校 18件以内 ・スクールソーシャルワーカーの研修や助言により問題行動等に的確に対応でき再発防止等に役に立った(80%以上)を含め、対象となる教諭にアンケートを実施し、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置する	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の教諭が助言等により再発防止に役に立ったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
2	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に中・高校生のハワイ短期留学派遣を実施し、国際的な広い視野を持つ人材育成を行っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
R1事業内容					R1活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足説明等
3			跡地利用推進事業	H24 ~ R3	今後返還が予定される駐留軍用地の返還後、速やかに事業着手ができるよう、跡地利用推進調査及び勉強会等を実施し、跡地利用計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ瑞慶覧倉庫地区：跡地利用基本計画策定 ・キャンプ桑江南側：土地利用ゾーニングの検討、地権者への継続的な情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・跡地利用基本計画の策定の完了 (キャンプ桑江南側地区) ・庁内調整及び有識者ヒアリングなどを踏まえ、知の拠点における導入機能の精査を行い、概略整備効果の検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R2成果目標】 (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) (跡地利用計画)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R4成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本構想(素案)策定後、当該跡地利用に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) R2 整備計画策定、事業計画(案)検討 R3 事業計画策定 (キャンプ桑江南側) R2 実現化方策検討業務 R3 基本構想(素案)策定 	<ul style="list-style-type: none"> 【R2成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として設定した。 【R4成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として設定した。
4			北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ~ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)及びキャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部等)の土地の先行取得を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基金の積立 	<ul style="list-style-type: none"> 特定事業の用に供する土地取得目標 14,166㎡(達成率約78%) 達成率：先行取得目標面積(86,000㎡)に対する累積取得面積の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 R2~R3 基金積立及び土地先行取得 	<ul style="list-style-type: none"> 【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	・体験型交流事業:17事業	・体験交流人数:500人以上	【今後のスケジュール】 ・継続的に魅力ある事業を企画し、参加者の確保に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 ・各講座の定員総数以上を目標として設定した。
1	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・北中城村三大まつりの開催支援	・青年エイサーまつり来場者数:7,000人 ・北中城しおさいまつり来場者数:24,000人 ・ひまわりin北中城来場者数:52,100人	【今後のスケジュール】 ・まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継続して実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。
1	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、多言語による観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施する。	・多言語観光案内業務の実施 ・観光イベントでのプロモーション ・TVプロモーション	・村内観光入込客数:699万人以上	【今後のスケジュール】 ・県内外でのイベントへ参加し、北中城村のPRを推進するとともに、観光協会と連携した観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・北中城村観光情報インフラ整備推進計画を勘案し設定した。
1	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の進入路整備を行う。	・公営墓地進入路整備工事の実施	・公営墓地進入路整備の完了	【R4成果目標】 ・公営墓地利用世帯:35世帯 【今後のスケジュール】 R2:公営墓地整備工事 R3:納骨堂整備工事	【R4成果目標設定の考え方】 ・北中城村公営墓地整備基本計画の策定時において、村内意向調査を加味し設定した。
1	ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ～ R1	本村の魅力を伝えられるような景観形成を図るため、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・植栽、人工芝の設置 ・誘導サイン等の設置	・交流スペースの整備完了	【R2成果目標】 ・地域イベント等への参加者に対し、魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R2:供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 ・地域でのイベントや県外の訪問団体への現地案内を通して、来訪者に北中城村の魅力ある景観等を体感してもらうため、アンケート調査結果を成果目標として設定した。 ・指標については、概ね大多数の人が魅力ある景観と言える数値として設定した。
1	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ周遊バスの実証実験を実施する。	・実証実験に向けた準備 ・実証実験(無償)の開始	・観光周遊バス利用者数:10,800人	【今後のスケジュール】 R2:実証実験(無償) R3:実証実験(有償)	【R1成果目標設定の考え方】 ・実施計画を勘案し設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		計画 期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	観光情報インフラ整備 推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにビッグデータの分析を行う。	・観光情報アクセスポイントの運営 ・ビッグデータ取得及び分析	・村内観光入込客数:699万人以上	【今後のスケジュール】 ・継続した観光基盤の強化を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 ・北中城村観光情報インフラ整備推進計画を助案し設定した。
1	リュウキュウマツ保全事 業	H28 ～ R3	沖縄県木であるリュウキュウマツを保全するため、すでに枯れた松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。	・被害木の伐倒駆除:5本以上	・予防達成率:90%以上	【今後のスケジュール】 ・松くい虫による被害拡大を防ぐため、継続した駆除等を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過年度に実施した現況調査に基づき設定した。
2	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存 事業	H24 ～ R2	駐留軍用地の返還から跡地開発までの一連の流れを後世に伝えるため、アワセゴルフ場跡地の返還合意から跡地利用までの映像による記録及び編集を行う。	・記録映像の撮影時間:3時間	・全体の記録映像の作成進捗率:89%	【R3成果目標】 ・村HP年間アクセス数:660回 【今後のスケジュール】 ・R2完成に向け、引き続き映像記録の撮影を行い、跡地利用についての周知を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を助案し設定した。
2	キャンプ瑞慶覧特定駐 留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・公共用地の取得:902㎡	・全体用地取得率:83.6%	【今後のスケジュール】 ・公有地取得拡大に向け、事業を継続して実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 ・事業計画に基づき設定した。
3	雇用サポートセンター事 業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援を行うことで雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓:50件 ・求職者の個別支援:40件	・失業者のマッチング:15人	【今後のスケジュール】 ・事業継続による失業率の改善に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を助案し設定した。
3	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム、校内ハローワーク等を実施する。	・ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) ・職場体験の実施(中学校1校) ・きたなかティーンJOBクラブの実施 ・出前フォーラムの開催(高校1校) ・校内ハローワークの開催(1回)	・就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・企業や学校等の教育機関との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 ・大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		営農支援強化事業	H24 ~ R3	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備支援を行う。	・営農指導員の配置:2人 ・パイプハウス施設の整備補助:2基	・指導した農家の年間出荷額:3,790千円以上 ・パイプハウス整備完了2基	【今後のスケジュール】 ・農業者に対する生産・販売体制の支援による農業経営の安定化に取り組む。 【R2成果目標】 (パイプハウス) 【ゴーヤーの出荷額】 目標出荷額 113,750(1r) / 100 (㎡単位へ) × パイプハウス設置面積 1,485㎡ = 1,689,000円	【R1成果目標設定の考え方】 (営農支援員) ・過去の実績を勘案し設定した。 【R2成果目標設定の考え方】 (パイプハウス) 北中城村「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の目標値に基づいて設定した。
4		地域ブランド構築事業	H24 ~ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	・開発した特産品取扱店の維持・開拓 ・北中城村特産品の調査の実施	・特産品年間販売額 アーサクッキー:120千円以上 アーサ麺:1,100千円以上 パッションスイーツ:8千円以上 トロピカルブレンドティー:14千円以上 パッションフルーツスカッシュ:20千円以上 パッションフルーツタコライスソース:63千円以上	【今後のスケジュール】 ・開発した特産品のフォローアップを継続して行うとともに、販路拡大に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。
4		農を活かした北中城活性化事業	H28 ~ R2	水耕栽培実証実験を継続、その栽培品目による6次産業化商品(試作品)のテスト販売等を行うことで、市場性等の検証を行う。また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化実証に向けた基本設計及び実施計画を策定する。	・水耕栽培実証実験の実施 ・エネルギー化、堆肥化に係る施設等の製作仕様・基本設計の検討 ・設備稼働に向けた実施計画の検討	・水耕栽培実証実験の完了 ・6次産業化商品(試作品)のテスト販売:3品 ・エネルギー化、堆肥化に係る施設等の製作に資する仕様・基本設計の策定 ・設備稼働に向けた実施計画の策定	【R2成果目標】 ・水耕栽培農業者の増:0 6件 ・6次産業化による村の特産品開発:3品以上 【今後のスケジュール】 ・6次産業化による特産品の商品化に向け取り組む。 【R3以降の成果目標】 ・村施設として導入:0 1件(R3) ・民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:0 2件(R5) 【今後のスケジュール】 R2:設備等導入企業の選定と設備導入・設置に向けた実施設計・事業化計画等の策定 R3-R5:事業化	【R2成果目標設定の考え方】 ・「北中城村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の指標である新規農業者数を参考に設定した。 ・「農を活かした北中城活性化検討事業報告書」における6次産業化モデル商品の開発数を参考に設定した。 【R3以降の成果目標設定の考え方】 ・H28年度に検討した分散型バイオマス施設選定地で適性であると判断された3候補地を最大値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R2	農を活かした「食」「福祉」「交流」「環境」に関する施設を整備するため、事業化計画の策定を行う。	・事業化計画の検討	・事業化計画の策定	<p>【R2成果目標】 ・実施計画及び事業化計画等を踏まえ、後年度の成果を設定する。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・R2:施設整備・土地造成等の実施検討、事業実施に向けた事業者及び地権者との調整、資金調達検討・協議、事業着手に向けた関係機関調整</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 ・実施計画で成果を設定するものとした。</p>
5		総合英会話指導支援事業	H24 ～ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	・英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人	・英語検定の受検者数:543人	<p>【今後のスケジュール】 ・国際性豊かな人材育成の素地を培うため、継続した生きた英語に触れあう機会を創出する。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。</p>
5		アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した、小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	・中学・高校生クラス:64回 ・小学生クラス:64回	・定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	<p>【今後のスケジュール】 ・継続した事業展開により、米国語学教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の習得率向上を目指す。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 ・英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「80点以上」と設定した。</p>
5		海外子弟青年交流事業	H24 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南米3カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル)から研修生の受け入れを実施する。	・海外子弟青年研修生受入人数:3人	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 ・海外子弟研修生を中心に各国村人会との活動の活性化を図る。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 ・研修生が概ね沖縄及び派遣先の文化歴史に興味を持ってたと判断できる値として設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ R3	<p>村の歴史文化に関する情報を広く発信するため、歴史風致資産や伝統的な民俗祭祀行事について、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を行い、資料集・報告書の作成を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗祭祀行事の調査結果の編集・監修・入稿用版下の作成 ・史跡・名勝等の調査結果の編集作業の実施 ・調査記録(動画)の公開に向けた編集及び監修作業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開用動画記録の完成 ・歴史風致資産調査のとりまとめ:80% 	<p>【R2成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB公開による年間アクセス数:660回 <p>【R4成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の歴史に対する理解度が深まったか(80%以上)を含め、資料集の利用者に対するアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R2: WEB公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗祭調査のとりまとめ(100%) ・調査成果報告書原稿作成・編集 <p>R3: 調査成果報告書編集・監修・発刊</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を勘案し設定した。 <p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大多数が村の歴史に対する理解度が深まったと考えられる値として設定した。
7			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	<p>特別な支援を要する障害がある児童生徒について、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村立幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育支援員を配置する。</p>	<p>特別支援教育支援員の配置</p> <p>小学校:10人 中学校:4人 幼稚園:4人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。 	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者のうち、大多数が支援員に対して満足していると考えられる値として設定した。
7			学習支援員配置事業	H27 ～ R3	<p>学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。</p>	<p>学習支援員の配置</p> <p>小学校:2校/2人 中学校:1校/1人</p>	<p>沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(18.5%以下) 中学2年生:数学(37.6%以下) ・無答率 小学5年生:算数(6.8%以下) 中学2年生:数学(10.5%以下) 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の継続により、本村の学力向上に取り組む。 	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を勘案し設定した。
7			児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R3	<p>県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、児童生徒の視野を広げるため、学校教育の一環として派遣される大会等に対し派遣費用を補助する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県外大会への派遣団体数:5団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成を図る。 	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		小中学生県外派遣(社会教育関連)事業	H29 ~ R3	・県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	・県外大会等への派遣者数:50人	・派遣された子ども達の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・本事業の継続により、村内の子ども達の意欲向上及び健全育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。
8		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ~ R3	村民の健康課題にアプローチし、多くの村民に運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	・定例健康イベント(ヨガ等)の開催:2回 ・親子で参加できる健康イベントの開催:2回 ・健康マイレージの導入	・健康イベントへの総参加者数:430人以上	【今後のスケジュール】 ・スマートフォン等を活用した健康マイレージによる参加を促すなど、運動習慣の定着を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
					R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			防災体制整備事業	H26 ～ R1	災害時における住民及び観光客の安全を確保するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に必要となる生活物資や備蓄品等の整備を行う。	防災マット 40セット 照明機器 4台	防災マットの備蓄完了 照明機器の整備完了	【R2成果目標】 整備した防災マット及び照明機器を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施し、本事業のあり方について検証する。	【R2成果目標の考え方】 防災マット及び照明機器を活用した避難訓練を実施し、検証を行うことで、村民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。
1			災害時避難所給電システム導入事業	R1	CO2排出量の削減を図るため、また、災害時の住民及び観光客等の避難所における安心安全の確保を図るため、災害発生時に避難所への電力供給も可能な電気自動車及び機器を整備する。	電気自動車及び給電機器の購入	電気自動車の整備完了 給電機器の整備完了	【R2成果目標】 整備した電気自動車及び給電機器を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施し、本事業のあり方について検証する。 電気自動車導入による二酸化炭素排出量の削減効果:1,440kg-CO2/年の削減	【R2成果目標の考え方】 整備した電気自動車及び給電機器を活用した避難訓練を実施し、検証を行うことで、村民及び観光客等の安心安全確保に資すると考え成果目標とした。 電気自動車の稼働見込み及びガソリン車と電気自動車のCO2排出量比較から、電気自動車を活用することによるCO2排出削減量を算定した。
1			省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため公共施設照明器具にLEDを導入する。村立中学校体育館照明のLED取り換え工事を行う。	中学校体育館LED導入工事の実施	工事の完了	【R2成果目標】 LED導入による温室効果ガス(CO2)排出量の削減効果:12.8.t - CO2/年の削減	【R2年度成果目標】 体育館の稼働見込み及び水銀灯とLEDのCO2排出量比較から、LEDに取り換えることによるCO2排出削減量を算定した。
2			吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 テニスコート機能強化整備の実施 吉の浦会館トイレ機能強化整備の実施 吉の浦体育館照明をLEDに整備の実施	プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 整備の完了 整備の完了 整備の完了	【R2成果目標】 整備完了後1年目(R2年度)のテニスコート利用者数:約7,300人以上 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について公園および会館利用者へのアンケートで検証する。 整備完了後1年目(R2年度)の大会開催10件以上、利用者40,500人以上 【今後のスケジュール】 プロサッカーキャンプを誘致するため継続してサッカー専用芝生の適正管理を行う。	【R1成果目標の考え方】 良質な芝生の維持管理を行いながらキャンプ実施期間(1月～2月)に受け入れ可能な最大チーム数を目標として設定した。 【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。利用者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			観光客誘客促進事業	H25 ～ R3	地域の伝統芸能の継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクションマッピング」及び「中城村護佐丸まつり」を開催する。	観光振興イベントの開催	○イベント来場者数 プロジェクションマッピング9,300人以上 護佐丸まつり9,500人以上 ○伝統芸能団体出演者数 プロジェクションマッピング35人以上 護佐丸まつり155人以上	【今後のスケジュール】 効果的な広報活動及びイベント内容の強化を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 イベント来場者数 過去の実績を参考に設定した。 伝統芸能団体出演者数 過去の実績を参考に設定した。
2			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプの支援事業実施	・キャンプ見学者数：9360人以上	【今後のスケジュール】 プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			中城城跡受入基盤機能強化整備事業	H29 ～ R1	中城城跡馬場広場は降雨による冠水が多発し、来訪者の往来に支障が生じることがある。来訪者の利便性を確保するため、広場の排水性を高めるための工事を行う。	・排水性を高めるための工事の実施	・排水性を高めるための工事の実施完了	【R2成果目標】 前日の悪天候による広場の状態悪化により、イベントを中止した回数：0回	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	・環境美化作業員 6名 ・中城城跡環境向上作業員 10名 配置し、美化清掃等を実施。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して美化清掃等を実施	【R1成果目標設定の考え方】 観光客の大多数にとって魅力的な景観となっていると考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
2			歴史の道整備事業	H27 ～ R1	観光客等の安全確保を図るため、歴史の道の一部であるフクピリ橋の機能強化整備を行う。	委託設計の実施 整備工事の実施	フクピリ橋整備工事の完了	【R2成果目標】 歩行時の安全性が確保されているか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業の効果について検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 来訪者の大多数にとって安全が確保されていると考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・情報教育補助員 1人配置 ・年400時間の授業支援 ・電子黒板等ICT機器の整備	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・児童生徒の大多数にとって授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・教員の大多数がICT機器活用の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
4			きめ細かな児童生徒支援事業	H24～R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行う。また、不登校など課題のある児童生徒の不登校の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。	特別支援員配置 22人 幼稚園 4人 小学校 15人 中学校 3人 相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 不登校児童生徒復帰率57%以上	【今後のスケジュール】 引き続き日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 特別支援員配置 大多数の保護者が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 不登校等相談員配置 過去の実績を参考に設定した。
4			学力向上のための学習支援事業	H29～R3	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	・学習支援員配置 中学校3人	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県と本村との平均正答率の差-4.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き生徒一人一人に合った学習支援を行い、学力の向上につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
4			子育て保育支援事業	H29～R3	特別な支援を要する子の保育園での生活の困難の改善を図るため、対象児を預かる保育園による保育士の加配に対する支援を行う。	・加配職員18人配置及び配置支援	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、加配職員を配置し、子育て保育環境の整備を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・支援対象児の大多数にとって困難が改善されたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
4			ひとり親家庭学童利用支援事業	H30～R3	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	ひとり親家庭への学童利用料を減免する額クラブへ補助を行う。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、ひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート結果から課題や改善点を把握し、問題点の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 支援対象者(保護者)の大多数にとって育児の負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		文化財悉皆及び中城村 沖縄戦調査事業	H25 ～ R3	本村の歴史文化の継承を図るため、村内に所在する文化財等の調査・把握及び沖縄戦に関する記録保存を行い、出版物として刊行する。また、これまでに整理した資料を活用し、村民等を対象とした展示会を行う。	(文化財悉皆調査) ・各集落での調査員による聞き取り調査の実施 ・調査概報(文化財パンフレット)の作成:3字(合冊) ・「中城村の拝所」の作成(沖縄戦調査) ・調査員による沖縄戦調査 ・中城村戦跡マップの作成	調査した内容を活用した企画展示会の来場者数:1,000人以上	【今後のスケジュール】 引き続き調査やパンフレット等の作成を行い、企画展示会の開催などを通して、歴史文化の継承を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
5		村内文化財整備事業	H28 ～ R1	本村の歴史文化の継承を図るため、村指定文化財(史跡)「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替えを行う。	ガジマル植替え工事の実施	「伊舎堂前の三本ガジマル」の植替え完了	【R2成果目標】 伊舎堂前の三本ガジマルを活用した学習会等の参加者数:80人以上	【R2成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
6		中城村農業振興ビジョン 策定事業	H30 ～ R1	本村の農業振興を図るため、本村が目指す農業振興の将来像や目標、施策展開の基本方針を定めた農業振興ビジョンを策定する。	調査及び現状分析の結果をもとに、基本計画及び振興方向の検討を行い農業振興ビジョンを策定する。	農業振興ビジョンの策定完了	【R2成果目標】 農業振興ビジョンに基づき、本村の農業振興を目的とした施策の実施につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業において策定する農業振興ビジョンの中で目標生産額等の各種指標を設定し、目標達成に向けた施策展開の基本方針を定めることとしているため、農業振興ビジョンで設定した各種目標を目指した施策を実施していくことを目標とした。
6		中城村農業振興 環境整備事業	H30 ～ R3	本村で伝統的に栽培されている農作物の生産量の増加を図るため、栽培技術及び品質向上に向けた種苗の選抜や栽培方法の検討、試験栽培を行う。また、技術確立後は農家に対して技術の普及を行う。	営農指導員2人、作業補助員1人を配置し、試験栽培を実施	栽培試験の実施(2品目)	【R4成果目標】 試験栽培により確立された栽培技術について、営農指導を受けた村内の農家の割合 80%以上	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の農家に試験栽培の効果を行き渡らせることができたと考えられる数値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R1成果目標の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		文化財環境整備活用事業	H25 ～ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断・治療 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:3回	文化財巡り等イベント参加者数120名以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して文化財の基礎的環境整備、ガイド団体等の人材育成を行いつつ、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。
1		農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H24 ～ R2	農水産物販売機能やレストラン機能などを併せ持つ施設を整備し、地元農水産物の消費の拡大などを図る。	新築2期工事及び工事監理委託業務等の実施	新築2期工事及び工事監理委託業務等の完了	【R3成果目標】 供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 (農水産物販売機能) 年間総売上225百万円 (地域住民が活用できる厨房機能) 年間利用件数 96件 (地域情報展示発信機能) 本施設について、来場者へのアンケート調査を実施し、西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R1年度 新築2期工事 R2年度 外構工事等実施後に供用開始(令和2年11月予定)	【R3成果目標の考え方】 (農水産物販売機能) 県内類似直売施設の実績を参考に設定した。 (地域住民が活用できる厨房機能) 町内の類似施設の利用状況を参考に設定した。 (地域情報展示発信機能) 来場者のうち大多数が「西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されている」と回答した割合を値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		西原まつり事業運営事業	R1	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	西原まつりの開催の支援	まつり来場者数 37,000人	まつりを通して地域産業・芸能・文化の振興を図り、県内外からの誘客に繋げて、地域活性化に資する	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R3	外国語活動指導員を派遣し外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名派遣	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 来年度から小学校で外国語教科が必修化となることに向けて、事業の充実を図っていく。	【R1成果目標の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			教育相談員配置事業	H24 ～ R3	町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:3人 ・教育相談員の定期的な学校訪問 ・教育委員会との会議(児童の情報共有及び情報交換他)の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わることで、状況の改善を図る。	【R1成果目標の考え方】 平成29年度の実績を勘案して設定した。
2			学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +2.5以上 算数 +4.0以上 ・中学校 国語 -0.8以内 数学 +1.0以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:15人 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(4回)	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善がみられた児童数を30%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援員一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が学園生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			親子通園事業	H28 ～ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達に気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ:8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、継続して受け入れを行うことで保護者の育児不安の軽減を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		西原町防犯灯・道路灯LED化事業	H29～R3	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出の抑制を図る。	防犯灯・道路灯LED化工事(約130基)	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値:33,206kg-CO2	【今後のスケジュール】 H30、R1に引き続きR2～R3においても実施する防犯灯・道路灯のLED化工事により、温室効果ガス(CO2)の排出量を抑制し、低炭素島しょ社会の実現を推進する。	【R1成果目標の考え方】 平成29年度調査・設計業務による成果より算出し、設定した。
5		農家経営安定支援事業	H26～R1	農家への技術指導及び経営指導のため、指導員を配置し、巡回指導・窓口相談及び園芸セミナー(講習会)を開催することで、栽培技術の理解及び向上を図る。	指導員の配置2名 年5回の農業講習会の開催	・巡回指導した農家へのアンケート栽培技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート栽培技術への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、地域農業者の栽培技術向上を図り、町で検討し、推進していきたい品目の普及を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象の農家やセミナー参加者のうち大多数が栽培技術の理解及び向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6		里道及び水路の境界確定復元事業	H27～R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	確定測量の実施 表示登記申請の実施	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～R5 確定測量・表示登記 R6 避難経路整備計画図策定 R7 避難経路整備	【R5成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。
7		西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27～R1	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	求職者と企業のマッチング 30件以上 スキルアップ講座等 30回以上	新規雇用割合40%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	地域型就業意識向上支援事業	H27 ~ R1	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	協力企業数 8社 県外実習研修1回	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上（85%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して商品販売活動や商品開発及び県内外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、郷土愛の醸成を育む。	【R1成果目標の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象の高校生や大学生のうち大多数が郷土愛の醸成が育まれたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	与那原町魅力発信事業	H26 ~ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・各種イベント(地域活性化イベント) ・イメージキャラクター等プロモーション推進 ・観光促進コンテンツ製作 ・大綱曳PR資料作成 ・与那原大綱曳まつり運営補助	・与那原大綱曳まつりへの24,000人誘客(平成29年度実績23,109人) ・与那原大綱曳まつりの満足度(ぜひ我也想参加したい人の割合)70% ・その他の事業で4,000人誘客	【今後のスケジュール】 ・与那原大綱曳まつりやその他のイベントにおいてもテレビやラジオなどのメディアを活用しPR活動を積極的に行っていく。 ・春夏秋冬、1年を通してイベントを開催し、与那原町の魅力を発信していく。 ・キャラクターのプロモーションを行い、キャラクターと共に与那原町の魅力を発信していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ~ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境を整え観光振興を図る。	・散策コース(10km)環境美化作業員配置 8名 ・町内各所への花木の植樹	・本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光客と地域住民にアンケート調査を実施し、「観光地としてふさわしい景観及び環境である」(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して美化清掃にて回遊箇所緑化及び植栽工事を実施	【R1成果目標設定の考え方】 観光客と地元住民のうち大多数が「観光地としてふさわしい景観及び環境である」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ~ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・学習支援員 18名配置 ・特別支援教育支援員 17名配置 ・スクールカウンセラー 2名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・放課後学習支援員 4名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上を目指す 中学校:県との差2.3ポイント以上を目指す ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・本事業について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援教育支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 ・対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が「特別支援教育支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	国際理解人材育成事業	H24 ~ R3	英語教育への意欲を持たせ、国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手の配置及び英語指導講師を派遣する。	・英語指導助手 2名配置 ・英語指導講師派遣	・本事業について、児童生徒へのアンケート調査を実施し、「外国語への興味・関心が高まったか」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を実施するため英語指導助手を配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が「外国語への興味・関心が高まった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			豊かな心の教育推進事業	H30 ～ R3	児童生徒の創造力や表現力などの豊かな感性や、自主性、柔軟性などの豊かな心を育むために、各分野において優れた功績を収めた人や第一人者等による児童生徒向けの講演会を実施する。	・小学生向けの講演会(2小学校) ・中学生向けの講演会(1中学校)	・本事業について、児童生徒へのアンケート調査を実施し、「将来への夢や希望を持つきっかけになったか」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 著名人等の講話を定期的に行うことで、児童生徒の道徳教育に繋げ、命の大切さや自己肯定感等の心の育成を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が「将来への夢や希望を持った」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			体力向上推進事業	H30 ～ R3	児童の基礎的な体力の向上や、たくましい体の育成のために水泳指導員の派遣を行う。	・3、4年生の水泳授業へ水泳指導員の派遣(2小学校、各学年10授業)	・3年生:水に浮くことができる 50%以上 ・4年生:25メートル泳ぐことができる 30%以上	【今後のスケジュール】 R3までに事業を継続し、基礎的な体力を身につけることと同時に達成感や自己肯定感を育み、体育活動の充実を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 小学校学習指導内容に基づき、設定した。
2			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・情報教育支援員 2名配置 ・夏休みのパソコン講座実施(10回) ・電子黒板一式(小学校2台、中学校1台)	・児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上」を含めアンケートにより本事業のあり方について検証する。 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、「ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合80%以上」を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	R3年度まで事業を継続し、児童生徒のパソコンの基本操作習得を目指す。研修等を行い、教員の指導力の向上を図り、ICT設備を利活用する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がICTを活用した授業が分かりやすい、機器の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。
3			ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を配置する認可保育所へ経費の一部を助成する。(月額50,000円を上限に助成する。)	認可保育所への看護師配置 7施設中1施設(各1名配置)	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	【今後のスケジュール】 継続して看護師を配置することにより0歳児の受け入れ数が拡充され、0歳児における待機児数減少を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H28 ～ R3	公立幼稚園の給食提供に伴い、安心安全に給食が提供できるように、配膳支援員を配置する。また、食育による家庭における保護者の軽減を図る。	公立幼稚園2園5クラスに配膳支援員を配置し、給食時を安心安全に供給する。	・本事業について、保護者へのアンケート調査を実施し、「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 配膳支援員を配置し給食提供時、食事時の安全を確保するため、令和3年度まで継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が「負担軽減となった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行う為の特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員12名配置	・本事業について、対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、幼児の登校意欲や進学意欲、ならびに自己肯定感を高める支援に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ~ R3	沖縄県では、毎年のように台風が襲来し、塩害、農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風被害を軽減し、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入するための経費に対して補助を行う。	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。	被覆資材の導入により台風等の自然災害、病害虫等の被害を軽減することにより、被覆資材を導入した施設からの出荷量を向上させる。目標として、過去2年の出荷量の平均値より上回る数値を設定。 ゴーヤー出荷量 2,562kg以上 マンゴー出荷量 4,695kg以上	【今後のスケジュール】 今後は、講習会等を通じさらに品質向上に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
5	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ R3	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生2名受入：日本語及び文化研修の実施 ・児童生徒・町民との交流会の実施 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会及びアンケートの実施	・与那原町における交流会でのアンケート：国際交流に関心がある人の割合：92% ・帰国後の研修報告会でのアンケート：沖縄・与那原に関心がある人の割合：100% (PR大使としての活動の実施)	【今後のスケジュール】 研修生は、帰国後積極的に町人会及び県人会活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に尽力する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が人材育成が図られたと考えられる値として設定した。	
6	走る・よなばる・PR事業	H29 ~ R1	本町の観光資源・産業を町内外へアピールし認知度の向上とその振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車等オリジナル標識を交付する。また、従来標識には無い反射塗料(シート)も採用し、交付促進を図る。	与那原町原動機付自転車等オリジナル標識を350枚製作する。	・本事業について、観光客と地域住民へのアンケート調査を実施し、「与那原町の認知度」(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も広報を通して交付促進を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 観光客と地元住民のうち大多数が「与那原町を認知した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	災害対策備蓄整備事業	H28 ~ R2	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	町人口(R2年度推計値)の5%及び観光交流施設受入れ人数分の非常用食料等を整備する。	避難者988人(推計 乳幼児含む)の救援物資が届くとされるまでの期間(三日間)の食料1日2回、三日分7,400食及び水4,632本の内6,220食、3,864本(H30累計)を整備する。	【今後のスケジュール】 令和2年度を達成年度と設定し、令和2年度以降も継続的に非常用食糧等を備蓄していく。	【R1成果目標設定の考え方】 与那原町災害対策備蓄計画に基づき、数値を設定した。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	親川拝所整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	・親川拝所整備実施設計業務(外構・土木)・管理棟基本設計業務 ・親川拝所整備に係る物件調査業務 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務 ・親川拝所整備に係る事業認定申請図書等作成業務	・親川拝所整備実施設計業務(外構・土木)・管理棟基本設計業務の完了 ・親川拝所整備に係る物件調査業務の完了 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務の完了 ・親川拝所整備に係る事業認定申請図書等作成業務の完了	【R3成果目標】 親川拝所供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 ・拝観ツアーの参加者数137人以上 【今後のスケジュール】 R1 ・親川拝所整備実施設計業務(外構・土木)・管理棟基本設計業務 ・親川拝所整備に係る物件調査業務 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務等 ・親川拝所整備に係る事業認定申請図書等作成業務 R2 ・用地買収、物件補償(6/6件) ・管理棟実施設計業務及び網曳資料館取壊し業務 R3 ・親川拝所周辺整備工事着手・完成、トイレ・管理棟着工・完成	【R3成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
9	与那原町健康づくり支援環境整備事業	H29 ～ R3	健康な体をつくり、健康・長寿を達成するために、与那古浜公園内の施設整備を行う。	・工事(トラック内にゴムチップウレタン舗装及び健康遊具などの設置)	・施設の一部供用開始(トラック内にゴムチップウレタン舗装などの完成)	【R4成果目標】 年間利用者数 1,910人以上 【今後のスケジュール】 ・スポーツイベントの推進 ・公園利用者の拡大	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	新しい公共交通検討事業	R1 ～ R2	高齢者や障がい者の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	福祉型町内バスの実証実験の実施	需要や課題等の実態把握(令和2年度まで事業実施予定)	【R3成果目標】 具体的な数値については、実証実験を踏まえて設定する。 【今後のスケジュール】 R2年度まで実証実験を実施し、R3年度に本格導入に向けて検討する	-	
11	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R3	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保する。	運玉森の遊歩道整備のための基本計画を策定する	基本計画の策定	【R4成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	【R4成果目標の考え方】 参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	青少年国際交流事業	H24 ～ R3	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数：10名 ・研修後報告会の開催	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数：4人	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思ったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して小学校4校に英語指導助手を配置し、英会話や英語圏の文化に興味を持たせるよう努める。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R3	個々の学力の把握及び個々の実態に即した指導を実施し、児童生徒のさらなる学力向上につなげるため、学力調査を実施する。	学力調査等の実施 小学校4校中4校 (国語・算数・5年生理科) 中学校2校中2校 (国語・数学・理科・社会・英語)	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校：13科目/13科目 中学校：1科目以上/10科目 ・県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校：全科目/7科目 中学校：全科目/6科目	【今後のスケジュール】 今後も継続して学力調査を実施し、調査結果を基に個々の課題克服のために活用していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業ではついていけない児童生徒の学力向上に努めるため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校：8人、中学校：4人	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校：4科目/4科目 中学校：1科目以上/8科目	【今後のスケジュール】 今後も継続して全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園：19人、小学校：26人 中学校：5人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が満足していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	学校ICT推進事業	H24 ～ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。	・ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟 ・ICT支援員配置(1名)	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にICT機器の整備及びICT支援員を配置し、教員のICT機器の習熟等を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象者(教員)のうち、大多数が習熟していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象者(児童生徒)のうち、大多数が理解していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	7	教育相談支援事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、教育相談員などを小中学校に配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒や、不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 5名配置	不登校児童生徒復帰率60%	【今後のスケジュール】 今後も継続して生徒校外指導員、自立支援教室指導員等を配置し、支援体制を強化していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	・外国人英語指導助手の配置 中学校 1名	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年:-1.9ポイント以内 2年:-13.8ポイント以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国人英語指導助手を配置し、中学校英語力の向上を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童等の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒人材育成のため、大会派遣を継続して支援していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との交流等の機会を増やし、児童生徒及び青年会等に広い視野を持たせるため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が、体育協会関連団体の主催する運動競技及び文化活動に参加する際の大会等の派遣費用を支援する。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	11		南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後に運動習慣を身に付けるため、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して幼稚園の体育指導を継続的に実施し、町内の子もたちの健康の保持促進を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	12		幼稚園空調機設置事業	H30 ～ R1	気温が高い期間が長期にわたる沖縄で園児の健康維持や熱中症対策をおこなう必要があるため、幼稚園に冷房機を設置する。	幼稚園冷房機設置 ・工事 4園 4教室の整備	冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	【今後のスケジュール】 H30年度:実施設計・工事 R1年度:工事	【R1成果目標の考え方】 過去の実績より勘案して設定した。
2	1		南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の番所跡に植樹されているフクギ並木の整備を行う。	観光ルート延長L=18,400mの町道メンテナンス(美化清掃)、公園6箇所の景観美化、 フクギ並木(L=40m)の整備	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2		ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町へ誘導するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催:1回 ・脚本賞舞台化:1回	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,200人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘導するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3		シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出すると共に観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規:2名 ・シマじまガイド開催:12回	シマじまガイド事業参加者:1,700人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,500人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:10,000人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	5	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び認証した商品の販売数増を図るため、町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催や、「はえばる良品」認証及び、特産品の販路開拓等を行う。	・商品開発に関するワークショップの開催：5回 ・ブランド認証制度の構築・運用 ・28年度以降に認証した商品のPR ・販路開拓、拡大、テスト販売出店等：5回 ・販路開拓セミナーの開催：6回	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン5,456個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ429個 澁しカボチャ使って味わうスープの素1,058個 はえばるのまきもの63個 ウォッチナー105個 SANGOくっしょん630個 沖縄キビまる豚420個	【今後のスケジュール】 今後も継続的に地元企業やJA等との連携強化及び人材育成、はえばる良品の周知及び販路開拓・拡大を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	6	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえらんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・イメージキャラクターによる観光PR活動(1年で100回)	・はえらん等利用数：50件 ・観光サイトアクセス数：207,500件	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7	南風原南インターチェンジ周辺土地利用計画書策定事業	R1 ～ R2	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画書を策定する。	・上位計画の整理 ・意見交換会の開催 ・南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書の策定	南風原南インターチェンジ土地利用基本計画書策定完了。	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画書を策定し企業誘致を図る。 【R3以降の成果目標】 企業誘致2社以上	【R3以降の成果目標の考え方】 R1～R2：土地利用計画書 策定 R3以降：事業化に向けた手続き、面的整備 本地区は物流関係の企業誘致を想定しており、町内及び県内の事例面積(3～5ha)を元に企業誘致を2社以上と設定した。
3	1	はえばるリサイクルループ事業	H24 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減するため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥を生産する。そこで生産された飼料ではえばる豚を育て販売し、食品廃棄物の循環を構築する。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別し、飼料や肥料を生産することで、循環構築をはかり、生ごみ(家庭系)の年間資源化の増を目指す。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量：30トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、食品廃棄物の循環構築を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	2		草木リサイクル事業	H24 ~ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築するため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増を図る。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化): 427トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化): 45トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	3		環境保全3R推進事業	R1 ~ R3	本町の一般家庭から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルすることで、環境負荷の少ない循環型社会を形成する。	町内から排出される資源ごみを分別しリサイクル量の増加を図る。	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量 284トン 廃食油の収集分別量 9,720リットル	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R1成果目標の考え方】 H30年度(10~2月)の収集分別量の実績より算出した。
4	1		災害時等避難施設機能強化事業	H24 ~ R3	災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	災害時避難施設の内外部の補修及び機能強化工事(補助:1件)	避難所整備の完了	【R2成果目標】 整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)の際に、参加者に対して災害時に有効に活用できるか等ヒアリングにより、本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を継続的に支援していく。	【R2成果目標の考え方】 県の実績を参考に設定した。
5	1		放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ~ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の家賃住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	(1)家賃補助 基準値(R1):9ヶ所 (2)生活保護世帯及びひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助 基準値(R1):91人分	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	2	認可外保育園支援事業	R1 ~ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	(1)認可外保育園への補助 1.運営補助 2.傷害保険補助 3.歯科検診補助 (2)町外認可外保育園に通う町内在住者の児童の保護者への補助 1.町外認可外保育児童助成	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 認可外保育施設の質の向上及び保護者の負担軽減を継続的に実施する。	【R1成果目標の考え方】 アンケートについては、保育の質の向上、助成による負担軽減を実感できる保護者を対象とした。 また、成果目標については、大多数が、保育の質が向上した又は助成により負担が軽減され満足したと考えられる値として80%を設定し、合わせて当事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ~ R3	南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。	開壕日数:309日	見学者数11,500人	【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	2	子ども平和学習交流事業	H24 ~ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数(8人) ・事前学習、本研修の後その報告会を開催	参加児童の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 子どもたちが平和について理解を深めるため、平和学習交流事業を継続して実施していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ~ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	学童期における生活習慣病予防健診の実施(対象者:町内の小学5年生及び中学2年生)	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して将来の生活習慣病の予防に向けて、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施していく。	【R1成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が理解できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを、

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R3	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> PRツールの制作配布(観光MAP等) 県内外、国外で行われるイベントでのPR活動 (沖縄国際映画祭、ツーリズムEXPO等) 広告掲載(沖縄離島情報誌) 外国語スタッフの配置 (とまりん(那覇)、渡嘉敷港案内所) 多言語観光案内サインの設置 	年間入域観光客数 150,000人以上 外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。</p> <p>・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。</p> <p>・とかしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。</p> <p>・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。</p> <p>・ホスピタリティ向上の為多言語人材の確保及び、観光関係事業者を対象に食に関する研修会等を実施する。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p> <p>大多数の外国人観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
1			渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽8箇所実施 美化清掃8箇所実施	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R3年まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>大多数の観光客にとって魅力的な景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
1			渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ～ R1	渡嘉敷村の豊かな景観資源や文化を維持・継承・発展させる条件を整え、良好な景観形成に向けた景観計画を策定する。	・実施調査業務の実施	・景観計画策定の完了	<p>【R2成果目標】</p> <p>策定した景観計画に基づき、景観形成に向けた取組の実施につなげる。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>景観計画の策定後は計画に基づく施策を確実に実施し、良好な景観の形成を図る。</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】</p> <p>策定した景観計画に基づいて取組の実施につなげることを計画策定後の成果目標として設定した。</p>
1			渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R3	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対する運賃半額補助	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島における生活環境のハンディを解消し、定住促進に繋げる。	【R1成果目標の考え方】 ・大多数の島民にとって沖縄本島へ移動しやすい環境が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	定期船欠航時のヘリコプターチャーター運賃の支援	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・宿泊施設やHP、船舶予約窓口でのPRにより、利用客数の増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・大多数の利用者にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する。	学習支援員配置校 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き児童の学力向上及び離島の教育環境の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。	
3	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	校外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、船賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	各種スポーツ大会及び文化活動等派遣 阿波連小学校4件 渡嘉敷小学校3件 渡嘉敷中学校13件	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航支援を行い、離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・児童生徒の大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	家庭教育支援事業	H28 ～ R3	学外でも学びたい児童生徒の学習機会を確保し、学力向上につなげるため、小学5年生～中学3年生を対象にWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業による学習塾を実施する。	対象：村内在住の小学校5年生～中学3年生 ・小5～6年生 国語・算数(40コマ) / 各学年 ・中1 英語・数学(40コマ) ・中2 英語・数学(40コマ) ・中3年生 英語・数学・国語(60コマ) 週1日、年間20週 合計 180コマ 中2・3年生については10月より習熟度別クラス分けを導入。	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村との平均点の差を-11.7点以上とする。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで事業を継続することで持続的な学力向上をめざす。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	歴史文化資産保存活用事業	H29 ～ R1	歴史文化の継承及び観光誘客を図るため、村内に現存する文化財・遺跡等の位置や現況の把握及び沖縄戦に関わる史実の聞き取り調査を行い、資料として作成・整理する。また、これらの資料を平和学習等に活用する。	・文化財遺跡等の実地調査 ・沖縄戦に関わる史実の聞き取り調査 ・資料として整理・作成	・文化財遺跡等の実地調査 完了 ・沖縄戦に関する聞き取り調査 完了 ・ガイドブックの作成完了	【今後のスケジュール】 R2（供用開始後） 【R2成果目標】 資料を活用し、平和学習会等を実施した修学旅行学校数 3校 資料を活用した学習会への参加人数 50名	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。学習会の開催予定回数及び予想参加人数から設定した。	
5	渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29 ～ R1	総合的な防災体制を強化し、災害発生時に村民及び観光客等の安全確保を図るため、防災・災害対応関連情報の整理・公開及び防災体制強化に向けた各種計画等の整備を行う。	・地域防災計画の更新 ・業務継続計画の策定	・地域防災計画の更新完了 ・業務継続計画の策定完了	【R2成果目標】 地域防災計画に基づき住民及び観光客等が参加する避難訓練を実施し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、訓練に参加した村民・観光客等を対象としたアンケートで本事業のあり方を検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 ・参加者のうち大多数が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R3	村内指定の3ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー等を配置する	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月 古座間味ビーチ 1名追加)	ライフセーバー配備期間中の死亡事故:0件	【今後のスケジュール】 引き続き海水浴客等の海洋事故防止と安全確保に努め死亡事故“ゼロ”を目指す	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	各種イベント実行委員会への補助金交付 県内外PRイベントの実施	・観光関連イベント参加者数:9,017人以上 ・入域観光客数:112,000人以上	【今後のスケジュール】 座間味村観光客入域数の増加に向け内容を改善しながら支援事業を継続する。 (参考:R3目標) 入域観光客数:12万人	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年8回 ・観光事業者スキルアップ講座 陸域メニュー開発 3回 心肺蘇生講習会 1回	・観光客を対象に、利便性が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ・入域観光客数:112,000人以上/年	【今後のスケジュール】 座間味村観光客入域数の増加及び開散期の集客拡充に向け内容を改善しながら支援事業を継続する。 (参考:R3目標) 入域観光客数:12万人	【R1成果目標設定の考え方】 ・観光客の大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・講習参加者の大多数がおもてなしに活用できると感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・入域観光客数については過去実績を参考に設定した。
1			座間味村景観計画策定事業	H29 ～ R1	文化の継承及び魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観計画を策定する。	・景観計画策定委員会の実施 ・庁内会議の開催 ・景観計画の住民説明会実施 ・景観条例の策定	景観計画の策定完了	【R2成果目標】 策定した景観計画に基づき、景観形成に向けた取組の実施につなげる。 【今後のスケジュール】 R1 景観計画の策定	【R2成果目標設定の考え方】 策定した景観計画に基づいて取組の実施につなげることを計画策定後の成果目標として設定した。
1			座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ～ R1	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、観光客の受入機能、村の魅力を発信する展示機能、交流スペース機能を有する複合施設を整備する。本年度はシアタードーム設備工事を行う。	シアタードーム設備工事の実施	シアタードーム設備工事の完了	【R2成果目標】 観光客施設利用者数:9,000人以上/年 村民施設利用者数:2,850人以上/年 【今後のスケジュール】 R1 設備工事 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び隣接施設の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や石碑等の周辺環境整備を行う。	案内看板・説明看板設置及び雨天時対策(東屋)並びに周辺整備工事の発注及び施工管理委託発注	戦跡等の周辺環境整備の完了	<p>【R2成果目標】 修学旅行学校数 13校以上/年</p> <p>【今後のスケジュール】 R1 阿嘉島(シジ山、前浜、秘匿壕)整備 R2 慶留間島(小鳩の塔、世界平和記念碑、秘匿壕)整備 R3 座間味島(昭和白虎隊の碑、躑躅の塔、集団自決の碑、平和の塔進入路)整備</p>	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			座間味村ウェルカム・パーク整備事業	R1 ～ R2	環境省が整備する博物館展示施設とあわせて緑地公園、バス発着点を整備し、観光客や村民が憩い、交流できる「座間味村ウェルカム・パーク」を整備する。	・既存施設の解体 ・座間味村ウェルカム・パーク基本設計	・既存施設の解体 ・座間味村ウェルカム・パーク基本設計	<p>【R3成果目標】 緑地公園施設利用者に対してアンケート調査を実施 「憩い、交流の場として活用できたか(80%)」</p>	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、公園施設利用者へのアンケート調査を実施し、「公園施設を交流、憩いの場として活用できた」と回答した割合を80%とした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として、80%以上と設定した。
1			座間味村観光イベント施設整備事業	R1 ～ R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	・野外ステージ設置に伴う基本計画・実施設計の策定業務	・野外ステージの基本計画・実施設計の策定	<p>【R4】 ・イベントへの参加者数(観光客) 5,040人</p> <p>【今後のスケジュール】 R2～3 野外ステージの設置工事 R4 供用開始</p>	<p>【R4成果目標の設定の考え方】 客席部分が現行のイベント広場(座間味港ターミナル:480席)より1.5倍の広さ(720席)となるため、平成30年度動員実績の1.5倍とした。なお、安全面に考慮して、上限を720人として積算した。 ○継続イベント 4,440人 ザマミカップ:300人(200人×1.5) サバニ帆漕レース:450人(300人×1.5) 座間味ヨットレース:720人(500人×1.5) 座間味島祭り:720人(600人×1.5) 座間味島ファン感謝月間(11月の毎週土曜):1,800人(1,185人×1.5) くじらの音楽祭:450人(300人×1.5) ○新規イベント 600人 機能強化が図られることでこれまで行えなかった600人規模のイベントを開催する。 ・4,440人+600人=5,040人</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
バ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ~ R3	サンゴの保全・再生を図るため、座間味村漁業協同組合が実施するサンゴの育成・保全の取組に対して補助を行う。	・サンゴの種苗生産 ・サンゴが減少している海域への生産したサンゴの植付	種苗の植付:800本以上/年	【今後のスケジュール】 今後も植付技術、管理技術、保全技術の習得、種苗の生産本数の増加及び植付ダイビングの実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			座間味村島ちゃび解消 移動手段安定化対策事業	H24 ~ R3	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時等におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 補助事業のPRにより、本村への渡航の利便性を周知し、住民負担の軽減及び観光誘客につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ~ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	車両航送運賃の低減化支援	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的、精神的負担を軽減し住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			座間味村外来植物討伐事業	H24 ~ R3	伝統的な景観の保全・再生を通して、魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内に生息している外来植物の伐採・駆除を行う。	外来植物討伐事業の実施(2地区)	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 外来植物の討伐を継続し、座間味村らしい景観の保全や観光地としての安全の確保に努める。	【R1成果目標設定の考え方】 観光客の大多数にとって魅力的な景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ~ R2	本村の沖縄戦に関する歴史の継承及びこれらの歴史を活用した観光誘客を図るため、沖縄戦に関する資料や体験者証言等を整理し、平和学習等に活用する。	・デジタル化する文献、書籍等の著作者への許可申請及び収集 ・戦跡マップ製作に係る現地コーディネーターの手配 ・古民具等の記録集製作に係る住民等への情報収集 ・コンテンツ制作に係る各種調整の実施	コンテンツの製作完了	【R2成果目標】 村内の小中学生を対象に、本事業で製作したコンテンツを活用した平和学習会を実施し、座間味村の沖縄戦に関する歴史への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 来村した修学旅行学校のうち、平和学習で本事業で製作したコンテンツを活用した学校数:13校以上/年 【今後のスケジュール】 R1 収集した資料のデジタル化やパンフレット作成 R2 平和学習会等を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 学習会に参加した小中学生の大多数が理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を参考に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	環境美化促進事業	H24 ~ R3	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H30～R3: ・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ~ R3	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	・イベント開催：1回(2日間)	・粟国島芸能：演舞者：30人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースマー、エイサー) ・イベント来場観光客数：126人(2日間)	【今後のスケジュール】 ・令和3年度までイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	照喜名原地区整備事業	H27 ~ R1	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤及び村民の憩いの場を形成するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区整備工事	・照喜名原地区整備工事	【R2成果目標】 年間利用者数：900人 【今後のスケジュール】 ・R1年度：整備工事 ・R2年度：供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 基本設計における検討を基にして設定した。	
2	国際交流支援事業	H27 ~ R3	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	・海外ホームステイ生徒派遣 3名 ・報告書作成：20部	・帰国後、以下の点に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。 派遣対象生徒へホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上 派遣対象生徒保護者へのアンケートで、国際的な広い視野がより広まったと感じた割合が80%以上 ・英語検定受検者の増加 平成30年度英検受検を生徒の75%が受検(平成29年12月現在 受検者19人 全生徒(27名)の70%が受検)	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 R3年度まで各年度5名	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	学力向上支援事業	H27 ~ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実及び児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。	・平成31年4月～令和2年3月まで、月平均160コマの村営塾の実施	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校：0ポイント以上 中学校：5ポイント以上	【今後のスケジュール】 県学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し、村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。又、児童生徒の生きる力を育む	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3		粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ R3	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、	【今後のスケジュール】 週7日の定期航空路が再開するまで事業を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の利用者が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4		粟国村地域防災計画整備事業	H30 ～ R1	災害時に来島中の観光客の安全確保を図るため、平成30年度に策定した「粟国村地域防災計画」を補完する「粟国村地域防災計画(来島者編)」、(仮称)を策定する。	「粟国村地域防災計画(来島者編)」、(仮称)の策定	「粟国村地域防災計画(来島者編)」、(仮称)の策定完了	【R2成果目標】 整備した地域防災計画、業務継続計画(来島者編)を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施するとともに、村民・関係者等へ周知することにより、計画・マニュアルについて検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 ・整備した地域防災計画等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、計画等を活用した避難訓練を実施・検証を行うとともに、村民・関係者等へ周知することで、村民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 ・回数については毎年実施する避難訓練により設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		環境保全・美化推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	緑化及び美化活動実施箇所：28箇所 外来植物駆除実施箇所：8箇所 在来植物保全育成実施箇所：14箇所	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々が安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。	
2		離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び住民に対するフライト実施に係る支援回数 50回	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R1年度 50回 R2年度～R3年度 50回	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が事業の目的である利便性が確保されていると感じたと考えられる値として設定した。また、当該事業に関するアンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。	
3		児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで広い視野を持たせるため、村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。	・スポーツ大会参加(小学生34名、中学生40名) ・文化発表会等(小学生16名、中学生10名) ・交流学习(小学生16名、中学生5名)	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も人数の多い学校での交流学習や沖縄本島地区での大会へ参加し、多くの児童・生徒との交流を通じていくことで、コミュニケーションスキルの向上や、学習意欲の喚起を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が、児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業についてアンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行うものとした。	
4		観光振興整備事業	H27 ～ R2	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	・トイレの整備実施 ・あがり浜東屋・植栽工事 ・転落防止柵・水道管敷設工事の実施	・トイレの整備工事 ・あがり浜東屋・植栽 ・安在良公園整備、転落防止柵の改修、水道管敷設工事	【R2成果目標】 前年度に引き続き利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 令和元年度： ・トイレ整備工事 ・あがり浜東屋・植栽 ・安在良公園転落防止柵、水道管敷設、休憩所の整備工事 令和2年度： ・ターミナル周辺工事 ・散策道整備工事 ・案内板設置工事 ・備品購入	【R2成果目標設定の考え方】 前年度に引き続き対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
5		渡名喜村旅客ターミナル整備事業	R1 ~ R2	島の玄関であるフェリーターミナルは、現在庇の一部欠落や壁のひび割れ等が複数見られ、危険な状態となっていることから、利用する観光客や村民の危険性除去・利便性向上を図るとともに、特産物のPR・販売や観光客誘致、情報提供の場として活用できるよう、整備する。	・既存施設の解体工事の実施 ・旅客ターミナル建築設計の実施	・既存施設解体工事の完了 ・旅客ターミナル建築設計の完了	<p>【R3成果目標】 供用開始後1年目(令和3年度)に観光客や村民に対して安心・安全に利用できているか等のアンケートを実施し、満足度(80%以上)を調査し、事業や施設のあり方を検証する。</p> <p>実施設計を踏まえて特産品販売額等の目標値を設定し、当該数値を目標とした運営を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和2年度 旅客ターミナル建築工事</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 観光客及び村民の大多数が概ね満足とれる値で設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及び事業のあり方について検証する。</p> <p>実施設計で定める特産品販売スペース等を踏まえて目標値を設定する。</p>
7		渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ~ R2	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の実施	基本計画策定業務及び展示基本設計業務委託の実施	<p>【R3成果目標】 基本計画を踏まえて利用者数を設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該数値に基づいた運営を実施することを目標とした。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和元年度： ・基本計画策定、展示基本設計 令和2年度： ・展示実施設計、展示制作工事、展示工事施工監理業務 令和3年度：供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 基本計画を踏まえて、利用者数など文化の振興に係る目標値を設定する。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	今後の展開方針等
1	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。	1. 胸部レントゲン使用料の折半 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	集団検診受診率32%以上	【今後のスケジュール】 引き続きR元年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。	
1	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施	渡航費支援が必要な人への支援率100%	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。	
1	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅21.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28 ～ H33	本村に訪れるクルーズ船客の増加を図るため、島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信を行う。	・島内観光(船11隻、レンタカー15台) ・郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)	クルーズ船客350人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にクルーズ船誘致を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	人材育成派遣事業	H25 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施	派遣された児童生徒が広い視野を持たか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ R3	本村には葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、葬儀に係る住民の負担軽減を図る。	建築工事の着手。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事一部完了	<p>【R3成果目標】 複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和元年度 建築工事 令和2年度 整備工事 令和3年度 整備工事,供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 大多数が葬儀に係る負担が軽減されたと考えられる数値として80%以上とした。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ~ R3	島の文化資源である『八丈太鼓』の魅力発信するため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助し、観光誘客を図る。	・文化交流イベントの開催:5回 (県外:1回・県内:1回)	・島の観光入客者数:1,100人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ~ R3	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m(10箇所)、作業員配置4名	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化を実施を継続	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ~ R3	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。	・学習支援員(塾講師)配置:1人 ・東大生によるオンライン双方向授業:授業数66授業/年、講師10名	・令和元年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数 中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ~ R3	未就学児や幼稚園児の預かり保育支援員を配置し、預り保育を行い、保護者の育児への負担感を軽減する。	・預かり保育支援員配置:5名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			離島の児童の交流促進事業	H24 ~ R3	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R3	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に招聘し健康増進を図る。	・特定重病患者の検診助成の実施 ・専門医療従事者招聘助成の実施	・渡航費支援が必要な人への支援率：100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続	【R1成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療を受けなければならない全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。
4			北大東村景観形成事業	H26 ～ R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施：300m ・過年度実施個所の給水	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			北大東村葬祭場建築事業	H30 ～ R1	既存火葬場の老朽化と火葬ホール・霊安室・管理室等の施設機能が十分に果たせていないため、葬祭場一式の新築整備を行い、住民の負担を軽減する。	・葬祭場施設の整備	・葬祭場施設の整備	【R2成果目標】 住民の福祉が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・H30:実施設計 ・R1:施設整備 ・R2:供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が住民の福祉が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6			北大東村水産業施設等海水供給施設整備事業	R1 ～ R2	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	・海水供給施設の整備	・海水供給施設の整備	【R2成果目標】 鮮魚の島外出荷量 35.4t以上/年 【今後のスケジュール】 ・R1:施設整備 ・R2:施設整備 ・R3:供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 鮮魚の島外への出荷量が増加することで、水産業の振興が図られると考え設定した。 指標については、R2年漁獲量見込量の額から島内の鮮魚消費量を差し引き算出した。 35.4(t) = 53.9(t) - 18.5(t)

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
7		北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ R2	多様化する教育・保育ニーズへの対応及び園児の発育向上を図るため、認定こども園を整備する。	・認定子ども園の施設整備	・認定子ども園の施設整備	<p>【R3成果目標】 (保育部分) ・待機児童0 (幼稚園部分) ・発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・H28～30:基本計画・設計(村単費) ・H30:実施設計 ・R1:施設整備 ・R2:施設整備 ・R3:供用開始</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 (保育園部分) 入園対象児童数を勘案して設定した。(幼稚園部分) 対象者のうち大多数が発育度が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
8		北大東小中学校地域副読本制作事業	R1 ～ R3	北大東島の歴史、文化の継承を図るため、北大東小学校3,4年生、5,6年生用の副読本を制作する。	・副読本(小学校3,4年生、5,6年生用)の制作	・副読本(小学校3,4年生、5,6年生用)の制作	<p>【R3成果目標】 北大東島の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・R1:小学校3,4年生、5,6年生用の副読本制作 ・R2:中学生用の副読本の制作、小学校3,4年生、5,6年生用の副読本を使用した授業開始 ・R3:中学生用の副読本を使用した授業開始</p>	<p>【R2成果目標設定の考え方】 本事業の目的「歴史・文化の継承」をはかるため、児童生徒に「歴史・文化への理解が深まったか」どうかを含めてアンケートを行うことにより、事業の効果を検証する。 目標値については、児童生徒の大多数が歴史・文化への理解が深まったと考えられる「80%」とした。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・令和元年度は1団体約250名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を目標とし地域(各戸別訪問)を実施 ・年間受入観光客数 延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 1,210人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	1	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	草刈り機の等のメンテナンスの強化効率よく作業を行うためのチーム編成等	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光地及びアクセス道路の美化作業を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	1	誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業8件 ・補助事業4件	村内入域観光客数 23,117人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	1	公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、衛生施設(トイレ)、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。	排水路工事(2工区)の発注	ガイダンスサイン等設計の発注 完了 排水路整備工事(2工区)の発注 完了	【今後のスケジュール】 令和2年度も引き続き残工事の実施を行う。公園整備(広場整備工事、駐車場・園路下地工事、防風緑陰・修景植栽工事、園路仕上げ工事、防火水槽工事) 令和3年度4月から供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	1	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるため文化財劣化の修復並びに文化財修復ワークショップおよびジオガイドブック(案内サイン板コンテンツ)作成。	螺鈿鞍修復、ワークショップの開催、ジオガイドブック(案内サイン板コンテンツ)の作成	螺鈿鞍修復の完了(100%) 漆工芸ワークショップの開催 ジオガイドブック作成完了	【今後のスケジュール】螺鈿鞍修復以降も継続的に文化財の価値向上、案内サイン版設置等により利便性向上を図り、観光客数の増加を目指す	過去の実績を勘案して設定した
2	1	病害虫防除事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチューブ)設置:160ha	さとうきびの生産量 5,300トン	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		新伊平屋村製糖工場建設工事	H29 ~ R1	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	外構工事(土工、排水構造物工、附帯工、海水取水工)の実施 建築工事の実施 現場技術業務	原料ヤード整備工事の完了 外構工事の完了	【R2成果目標】 製糖期間におけるさとうきびの受け入れ可能割合100% 【今後のスケジュール】 R1: 工事 R2: 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ~ R3	本村の畜産業の振興を図る為、畜産農家へ優良繁殖牛導入を支援する。また、農家へ導入費用の一部を助成し、経営の安定化を図るとともに計画的な優良繁殖牛導入を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合106%以上	【今後のスケジュール】 計画的に優良繁殖牛を導入する畜産農家に対して、支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 本事業の目的は農家の経営安定化に向けての子牛のブランド化推進であるが、子牛の価値を図るセリ価格等は、他の要因に影響されることから、本事業の成果を検証することが困難な指標である。 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。 数値は過去の割合を維持していくこと目指して設定 【H25～29年度実績】 ・導入した優良母牛より生まれた子牛の平均価格(A) 631千円 ・そうでない子牛の平均価格(B) 592千円 ・価格差の割合(A/B) 106%
3		伝統文化継承支援事業	H24 ~ R3	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	伝統文化学習講座 14教室・11回 島内伝統芸能保存団体 6団体	伝統文化教室への参加率100% 伝統芸能演舞者数 80名 来場者数 400名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。 長期的な展望をもち、継続して後援者を育成する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別支援が要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象に学習支援員を配置し、授業のサポートや放課後の家庭学習支援として、中学1年生から3年生を対象に村営塾を開講し個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	特別支援を必要とする児童へ支援員を配置する。 ・学習支援員の配置 3名	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -3.15ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) +0.05ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			英語学習支援事業	H25 ~ R3	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 イングリッシュキャンプ開催 30名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ~ R3	外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会、交流等による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・135名) 島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・324名)	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ~ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・商品開発を通した生徒への研修 ・パッケージデザイン決定 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 ・商品開発、職場体験を通した発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	幼稚園預かり保育支援事業	H24～R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	嘱託保育士1人配置	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児負担感の軽減を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	ウェルネスいへや推進事業	H27～R3	運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	各字公民館等において健康教室の開催。年1回ウォーキング大会の開催。	各種健康イベントへの総参加者数600人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に健康イベントを実施し、運動習慣定着の啓発を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～R3	島民に対しフェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 R1年度:年間6,398台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	生ゴミ等循環型資源活用事業	H28～R2	環境保全を図るため、生ゴミの回収・処理を実施する。	生ゴミ処理機導入し、生ごみの堆肥化を図る	堆肥化された生ごみの量: 3.9t	【今後のスケジュール】 生ごみの堆肥化を図り、美化作業等に活用する	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
4	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28～R1	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	食品、衣料、履物、日用品、衣料品、健康医療用具、器具、家庭用品等の輸送経費及び作業経費の支援。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-10.3ポイント以下	【今後のスケジュール】 H30年度までは、沖縄県と協力し1/2づつの補助金割り当てであったが、R1年度より、伊平屋村のみで実施し、引き続き生活必需品の生活コストの負担軽減を図る	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施 まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(5カ所)	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R3	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いげな尚円王まつりの開催を支援する。	いげな尚円王まつりの開催支援	来場者数 2,500人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 H30の実績を勘案して設定した。	
1	いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R3	観光客の誘致を図るため、いげな88トライアスロン大会の開催を支援する。	いげな88トライアスロン大会の開催支援	大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品修復・復元業務	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 240人以上	【今後のスケジュール】 R2まで計画的に旧蔵品等の整備・復元を行い、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 H30の実績を勘案して設定した。	
1	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R3	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	ドラックレース大会の開催:2回 スーパードリフト大会の開催:0回 ジムカーナー大会の開催:2回	来場者数 587人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ～ R3	観光客の誘致を図るため、いいな運天港いちゃり場まつりの開催を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援	来場者数 1,100人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	景観形成への支援 団体支援 5団体	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、観光地としての魅力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ R3	観光客の誘致を図るため、尚円王マラソン大会の開催を支援する。	伊是名尚円王マラソン大会の開催支援	島外からのエントリー者数 182人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～R3	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送コスト支援の実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、定住条件の構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が定住条件の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	定住促進住宅整備事業	H30～R3	ターン・リターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	定住住宅の整備(仲田区)実施設計の実施(内花区)	定住促進住宅建築工事の完了(仲田区)実施設計完了(内花区)	【R2成果目標】 供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 入居世帯数:2世帯	【R2成果目標設定の考え方】 定住促進住宅への入居世帯数を設定することで、定住促進の目的が達成されていると考え設定した。	
3	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24～R3	児童に広い視野を持たせるため、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童:9人 引率者:5人	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流・体験学習を行い、人材育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24～R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	幼稚園預かり保育支援事業	H24～R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保育士の雇用:2人	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担感の軽減を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	グッジョブ連携推進事業	H24～R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:9人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:14人	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に体験学習等を実施し、人材育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学習支援事業	H24～R3	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:3人	平成31年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -9.1ポイント以上 中学校 2.8ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	学校ICT推進事業	H31 ~ R3	村内の公立学校へのICT環境整備及びICT活用支援員を配置し、学校教員のICTスキルの向上を図るとともにICT機器を活用することで分かりやすい授業を展開し学校教育の質の向上を図る。	無線LAN環境整備 中学校タブレット等の購入設置 18台 ICT活用支援員 1名配置	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。 教員へのアンケートを実施し、ICT支援員を配置したことでICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学校教員によるICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで、学校教育の質の確保を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が、授業が分かりやすかった及び習熟度が上がったと言える数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	伊是名村土づくり支援事業	H24 ~ R3	さとうきびの生産量の増加を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量:2,000t	さとうきびの単収 5,400kg	【今後のスケジュール】 今後も継続的に堆肥を導入し、生産物の増量を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
4	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ~ R3	畜産業の振興を図るため、肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:5頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合103%以上	【今後のスケジュール】 計画的に繁殖牛を導入し、畜産振興を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			モズク加工場機能強化事業	H24 ～ R3	モズク生産量の増加を図るため、久米島漁業協同組合が実施するモズク加工場の機能強化に係る取組に対して支援を行う。	バッテリーフォークリフト整備(2台)	加工場で製品化されたモズク製品の出荷量:2,461t以上/年 モズク製品: 養殖系モズク(生冷凍)、養殖本モズク(生冷凍)、養殖本モズク(塩蔵) モズク収穫時期が1月～6月であるため、指標は暦年(H31年1月～12月)の出荷目標	【今後のスケジュール】 モズク加工場の機能強化を行い、作業効率の向上による鮮度向上、品質向上、安定生産、安定供給を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 モズク製品の需要(買取業者の注文量)を勘案して設定した。
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	子牛の品質及び価格の向上を図るため、県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛を導入し、農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	優良繁殖雌牛導入(70頭)に対する補助	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:107%以上	【今後のスケジュール】 R3までの導入頭数(累計):510頭	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う久米島紬事業協同組合へ支援を行う。	物産展等への出展 呉服店(問屋)へのセールス 新商品の開発	反物売上額 6,000万円以上 小物売上額 1,500万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ R3	島の特産品の売上増加を図るため、特産品の販路拡大に向け久米島商工会が行うPR活動へ支援を行う。	・県内外での物産展開催、出展(8回) ・特産品紹介パンフレット製作(韓国語版・7,000部)	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:2,645万円以上	【今後のスケジュール】 島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	・ジョブシャドウイング(小) ・職場体験(中) ・インターンシップ、職業人講話、合同企業説明会(高) ・職業体験イベント(小) ・リーダー育成プログラム(小中高) ・教員向け研修会(小中) ・グジョブ連携協議会	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上。地域に貢献できる人材の育成。 地域に愛着を持ち、島でも魅力のある仕事に就けるという個々の意識改革に繋げる。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			久米島観光誘客支援事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光案内及び観光広報活動を行う。併せて、町内で開催する観光関連イベントへ補助を行う。	・久米島空港観光案内業務 ・観光広報活動 ・イベント補助(2件)	観光入域数 123,073人以上 イベント参加人数(島外からの参加者) 355人以上	【今後のスケジュール】 第二次観光振興基本計画に基づき、目標観光入域数を設定する。イベントの自走化に向け、補助率を下げながら支援していく。 R1年度 6割補助 R2年度 4割補助 R3年度 2割補助 R4年度 自走化	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			久米島観光プロモーション事業	H25 ～ R3	久米島町の認知度向上により観光誘客を図るため、久米島観光の魅力を各種メディア媒体で情報発信する。	・国内向けプロモーション	観光入域数 123,073人以上	【今後のスケジュール】 国内だけでなく、インバウンド向けプロモーションも展開していく。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R3	修学旅行の受入増加及び観光関連商品の売上増加を図るため、修学旅行の誘致及び観光体験プログラムの販売促進を行う。	・修学旅行の誘致 ・体験プログラムの販売促進 ・民泊受入体制の整備、強化	修学旅行の受入校 10校以上 体験プログラム売上額 3,591,782円以上	【今後のスケジュール】 ターゲットを絞って営業活動を行い、修学旅行実施校の増加と観光入域数の増加を目指す。	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			久米島町観光危機管理体制構築事業	R1	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	・関係事業所勉強会 ・庁内検討委員会 ・観光危機管理対応訓練 ・観光危機管理計画の策定	・久米島町観光危機管理計画の策定完了	【今後のスケジュール】 ・観光関係事業所との連携を強化し、危機発生時の対応・体制を構築する。 【R2成果目標】 ・避難訓練を実施し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで本事業のあり方を検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 避難訓練参加者の大多数が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3			航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R3	交流人口の増加を図るため、久米島へ来訪する人の航空運賃の負担を軽減させ、航空事業者が運賃を割り引いて販売した際の減収分を町が負担金として支払う。	・航空会社が実施する交流人口の航空運賃割引に対して補助を行う。 交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のことをいい、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。	・久米島町への入域者数:124,000人以上	【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ R1	災害時には地域住民や観光客等の安全確保を図るため、安全に避難生活をおくれる避難所を、平常時は地域住民の交流及び学習の場の確保を図るため、地域の交流拠点・学習施設として利用できる施設の整備を行う。	・建築工事 ・機械設備工事 ・備品購入 ・図書システムの構築	・建築工事の完了 ・機械設備工事の完了 ・備品購入の完了 ・図書システム構築の完了	<p>[R2成果目標] (災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。</p> <p>(平常時) 施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く) 図書館の年間貸出冊数44,300点以上</p> <p>[今後のスケジュール] R2年度: 供用開始</p>	<p>[R2成果目標設定の考え方] (災害時) 訓練参加者の大多数にとって安全が確保されたと考えられる数値として設定した。</p> <p>(平常時) 過去の実績を参考に設定した。 町村立図書館の年間貸出冊数全国平均値を参考に設定した。</p>
4			子育て支援事業	H28 ～ R3	町民や観光客等の利便性確保を図るため、町民や観光客等が安心して遊べる公園を整備(東屋、トイレ、遊具の設置等)する。	・公園造成工事 ・公衆用便所新築工事	・公園造成工事完了 ・公衆用便所新築工事完了	<p>[R3成果目標] 当該施設の整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>[今後のスケジュール] R1年度: 造成・便所新築工事 R2年度: 造成工事・遊具整備 R3年度: 遊具整備</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 利用者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>
4			久米島霊園整備事業	H30 ～ R2	墓地の散財化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	久米島霊園(納骨堂)の実施設計	久米島霊園(納骨堂)の実施設計完了	<p>[R3成果目標] 霊園施設利用世帯: 16世帯以上</p> <p>[今後のスケジュール] R2: 建築・造成工事・備品購入 R3: 供用開始</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 過去の実績(墓地新設・改葬件数)を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			防災情報収集発信体制整備事業	H29 ~ R3	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	久米島町防災情報システム実施設計	久米島町防災情報システム実施設計の完了	<p>【R3成果目標】 町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2: 防災情報システム機器整備 R3: 防災情報システム機器整備</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 大多数の参加者が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>
6			文化遺産保存活用事業	H24 ~ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 修復件数:230点 進捗71.8%(1625件中1166件(累計)) 翻刻・口語訳件数:30点 進捗79.2%(重要資料288件中228件(累計)) 修復資料を博物館ロビーにて展 	<ul style="list-style-type: none"> 修復を行った古文書の利用件数40件以上 調査利用者4名以上 	<p>【今後のスケジュール】 修復した割合 R1年度:71% R3年度(最終年):100% 刻・口語訳した割合 R1年度:79% R3年度(最終年):100% 復した古文書の公開活用</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
6			久米島町現代版組踊り創作事業	H24 ~ R3	地域の歴史文化の継承及び歴史文化を発信する人材の育成を図るため、久米島の歴史を題材とし小中高生が出演・参加する舞台演劇(現代版組踊り)を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 参加児童生徒数:25人前後 公演イベント出演等回数:12回 	<p>(歴史文化の継承) 観覧者数2回公演計:690名以上</p> <p>(歴史文化を発信する人材育成) 参加した児童生徒を対象にアンケートを実施し、「取組に参加したことで久米島の歴史文化に関心を持ったか」(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 活動を運営する組織を強化し、公演等の活動を継続する。 ・島外での認知度を高め、文化観光資源として確立することで、町おこし、地域活性化が期待できる。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。対象者の大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p>
7			英語指導員配置事業	H24 ~ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、小学生が英語に親しむ環境を創出する。	指導員配置数:小学校2名(日本人を想定。町内の6校を巡回。) ・小3~小6の「外国語活動」や「総合探求」の時間に学級担任を支援する。	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p>
7			基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ~ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う	基礎学力向上学習支援員配置数:小学校3校に各1名。	沖縄県到達度調査において、国語、算数で 中学年(3年生・4年生)県平均6点以上 高学年(5年生・6年生)県平均以上を目標とする。	<p>【今後のスケジュール】 更なる学力向上を目指す。</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
7		特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を各学校へ配置する。	特別支援教育支援員配置数：小学校12名、中学校3名。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】引き続き、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】対象者の大多数が満足していると考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
7		児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会へ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R1成果目標設定の考え方】対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			八重瀬町 国際交流人材育成事業	H24 ～ R3	国際的視野を広め、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣する。	海外短期派遣生徒数 12人	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 海外短期派遣生徒(累計) R3年度:120人 ・派遣者のみならず、報告会等の実施による波及効果により町内の児童生徒の英語への学習意欲を高める	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が生徒の国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			八重瀬町 少年少女人材育成 交流事業	H26 ～ R3	幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や、集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図るため、風土・文化の違う他県の子どもたちと交流を行う。	(夏)児童生徒交流者数 12人 (冬)児童生徒交流者数 42人	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 R1～R3 延べ派遣者数162人	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R3	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内幼小中学校に英語指導助手を配置する。	・英語指導助手:4人 4小(2人は小兼務) 2中は各1人配置(園を兼務)	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 ±0ポイント以上	【今後のスケジュール】 R2年までには幼稚園3,271人、小学校5,964人(高学年対象)、中学校8,589人計17,824人の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施・話すこと、書くことコミュニケーション能力の定着を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定
1			八重瀬町パソコン指導強化事業	H24 ～ R3	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、町内小中学校へパソコン指導員を配置し、パソコンを使用する授業のサポートを行う。	パソコン指導員配置数 小学校に2人配置(2名兼務) 中学校に2人配置	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のある方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年までに幼稚園3,271人、小学校17,483人、中学校8,589人計29,343人の児童生徒に情報の基本操作及び情報活用能力を養う。 児童生徒興味・関心度アンケート調査実施	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がICT機器を活用できたと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:10人 中学校6人	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) ±0ポイント以上 中学校(国語・数学) -2.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。	特別支援員配置数 小学校:14人 中学校6人 幼稚園:16人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年度当初と、夏期休業、年度末に研修(講演会等)を行い支援員の質の向上に努める。 児童生徒の発達に合った支援員のきめ細かい配置を実施・検証し、無駄のない事業の執行をする。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26 ～ R3	基礎学力の定着をより確実にするために、平日(放課後)講座や集中的に開催される長期休業中講座、定期テスト補習講座で苦手教科の克服を図り、全体的な学力向上を目的とする。	平日(放課後)講座 (令和1年6月～令和2年3月) 定期テスト補習講座 長期休業中講座 三年生対象高校入試模試	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)において町平均正答率と県平均正答率の差を-2.4ポイント以上にするを目標とする。	【今後のスケジュール】 個別指導の充実などにより基礎学力の定着を確実にし、全体の底上げを図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
1			ICT教育強化事業	H26 ～ R3	各小中学校へ電子黒板を配置したが、教室増に伴い電子黒板とパソコンに不足がある為、引き続き配置し、ICT活用状況のアップと学力向上を図る。	電子黒板等(5台) パソコン(5台)	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の30%以上の活用を目指す。 ・児童にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 ICT活用の拡大を図り、児童生徒の情報活用能力の向上及び分かりやすい授業を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数がICT機器を活用した授業が分かりやすかったと考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			八重瀬町イベント事業	H24 ～ R3	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。	・青年エイサー祭りの開催支援 ・やえせ桜まつりイベントの開催支援	対象イベントへの来場者数 18,400人以上	【今後のスケジュール】 引き続き青年エイサー祭り及びやえせ桜まつりイベントを効果的に開催し誘客に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
2			八重瀬町観光地美化清掃事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路の美化清掃を行う。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45箇所	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R2	本町の歴史の継承と観光誘客を図るため、港川遺跡公園を整備する。	・港川遺跡公園整備工事施行監理委託業務 ・港川遺跡公園整備工事	・港川遺跡公園整備工事の完了	【今後のスケジュール】 R2 整備工事、便益施設建築工事 【R3成果目標】 公園利用者数 13,000人以上	【R3成果目標設定の考え方】 平成29年度に作成した基本設計の利用者数想定を基に設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場、プロ仕様芝生整備 ・サッカー場の管理棟選手用トイレ、シャワー整備 ・具志頭運動公園陸上競技場の芝生用肥料、寒冷地型芝生種子等の購入 ・東風平野球場の防球ネット委託設計及び工事	野球キャンプの受け入れ 5件以上 サッカーキャンプの受け入れ 3件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
2		八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	Jリーグ加盟等のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘客とキャンプ来場者の町内周遊を促す。	・Jリーグ加盟チーム2チーム・海外プロサッカーチーム1チームの計3チームのキャンプ誘致	・キャンプ期間中來客数10,000人 ・Jリーグチーム2チーム・海外プロサッカーチーム1チームの計3チームのキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額2,500,000円以上	【今後のスケジュール】 サッカーキャンプの誘致し、地域活性化を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
3		八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ～ R3	八重瀬町の地域資源を活用した八重瀬ブランドの構築と拡張のための取り組みを支援するとともに、小規模事業者であるブランド参画事業者を支援し全体的な底上げを図る。そして参画事業者の所得向上及び地域活性化を促すように、販路構築の支援を行う。	町外・県外よりバイヤーを招聘し、町内事業者を対象とした商談会の実施 2回 商談会、物産・観光展への出展支援 2回 ニーズ調査・PRを目的としたテストマーケティング、イベントの開催 2回	商談が新規成立した事業者数 4件以上	【今後のスケジュール】 小規模事業者を八重瀬ブランドとして確立させるために必要な支援を行い、参画事業者の所得向上につながるように販路拡大支援企画を継続的に実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
3		八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	八重瀬町観光拠点施設を中心に積極的な観光プロモーションを実施する。	プロモーション支援員 2人配置 八重瀬町プロモーションの企画提案実施 6回 SNS等による八重瀬町観光情報の発信 100回	主要観光施設の入込観光客数 250,000人	【今後のスケジュール】 八重瀬町の認知度向上を図るために、八重瀬町観光拠点施設への誘客プロモーションを継続し、町イメージキャラクターや民俗芸能などの地域資源を活用した観光PRを実施することで八重瀬町の観光ブランドを構築を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
4		八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数：30頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外の優良母牛の導入を行うことで、価値の高い子牛を生産し、町のブランド牛としての確立を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
4		八重瀬町乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	優良乳用牛導入頭数：30頭	生産乳量：3,960,000kg以上 乳質（脂肪率）：4.12%以上	【今後のスケジュール】 引き続き生産乳量の増加、乳質の向上に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	児童生徒のスポーツへの意識を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で実施される各種大会への参加を支援する。	野球クリニック・ハンドボールクリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がスポーツへの意識が更に高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 対象者のうち大多数が広い視野を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設の照明に省エネ対応器具を導入する。 整備箇所:東風平運動公園(野球場・ソフトボール場)	東風平運動公園(野球場・ソフトボール場):LED照明設置	東風平運動公園(野球場・ソフトボール場)の二酸化炭素排出削減量 4.7t	【今後のスケジュール】 R2 外灯・LED照明電灯設備工事	【R1成果目標設定の考え方】 二酸化炭素排出量を動案して設定した	
7	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R3	若い世代から高齢者まで元気でいきいきと生活できるよう「食」を通して健康づくりを推進していく。健康相談や育児教室等にて実物大のフードモデルを活用し、食事バランスや量など現状の食生活を見直すきっかけとし、日頃の食生活で「考えて食べる」事を意識化できるように事業を展開し、生活習慣病の予防及び健康やえせを目指す。	健康相談・健康教室・育児教室等の各事業を有効的に活用し、SAT(体験型栄養教育システム)を活用し理解しやすい事業を展開する。	保健事業を通して食生活や食習慣を考える機会をつくり、参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続的にSAT(体験型栄養教育システム)を各保健事業にて活用し、沖縄県や町の現状を伝え、食や健康に関する意識を高め、生活習慣病の予防を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が食に対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
8	八重瀬町農業機械施設整備事業	R1 ～ R2	共同利用機械等を農業団体等へ貸与することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。	農業機械の導入 液肥散布車 いも類収穫機等	農業機械の導入 (液肥散布車及びいも類収穫機等)	【R3成果目標】 (液肥散布車) サトウキビの生産コスト(施肥)の5%以上低減 (いも類収穫機等) 栽培面積及び収穫量の割合を5%以上増加	【R3成果目標設定の考え方】 (液肥散布車) 液肥をサトウキビ畑へ散布することにより、生産コストの低減を図る。 (いも類収穫機等) いも生産農家の収穫作業を機械化し、作業効率を向上させることにより、栽培面積及び収穫量の増加を図る。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業	R1 ~ R2	学童疎開に関する資料の収集や当時を知る方々からの聞き取り調査をはじめ、日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料を調査・収集しまとめる。	・学童疎開の証言、学童疎開関係の資料を収集。 ・米軍資料の収集、選定、翻訳。 ・防衛研究所所蔵の日本軍資料の収集。	・沖縄戦及び学童疎開に関する資料収集及び聞き取り調査完了 ・日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事資料の調査・収集完了	【今後のスケジュール】 R1 現地調査及び資料まとめ R2 報告書作成・発刊、企画展の開催 【令和2年度の成果目標】 平和学習・企画展の参加者及び作成した報告書により、平和学習等を実施した教育機関等を対象に八重瀬における沖縄戦に対する関心や理解が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 平和学習・企画展の参加者及び作成した報告書により平和学習等を実施した教育機関等を対象に、八重瀬における沖縄戦に対する関心や理解が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	観光関連施設整備事業 (食事・土産品施設)	H27 ～ R1	観光誘客及び観光客の利便性確保並びに災害時における住民及び観光客等の安全確保を図るため、多良間村地域振興拠点施設を整備する。	施設工事・外構工事・太陽光発電の設置工事・施工監理の実施。	施設の整備工事の完了 駐車場の整備工事了 太陽光発電の設置工事了	【R2年度の成果目標】 (地域振興施設機能) ・施設の利用者(延べ人数):34,650人/年以上 ・施設に来訪した観光客を対象にアンケートを実施し、当該施設によって多良間村観光の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより施設のあり方を検証する。 (一時避難所機能) ・施設を利用した避難訓練(1回/年)を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、施設のあり方について検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 (地域振興施設機能) ・施設利用者数の数値については、収支見込の1日あたりの利用者数想定を参照して設定した。 ・施設への来訪者のうち、大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (一時避難所機能) ・避難訓練への参加者のうち、大多数の者が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R1	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:30頭	優良繁殖雌牛導入の支援完了:30頭	【R2年度の成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合11.1%以上 【今後のスケジュール】 H27～R1の5年間で75頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27～ R3	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力の向上等、未来を拓く子ども達の能力向上をはかるため、島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。	島外で開催される教育諸活動に参加することで、離島の小規模校ではできない地域との交流や実戦をとおし、精神面の鍛錬・スポーツの技術力向上等が図られる。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会へ派遣し、児童生徒の意識高揚、能力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が広い視野を持ってたと感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R3	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘・年間20回	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・中学校 英検の合格率50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		村営学習塾開設事業	H28 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -6ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ R2	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民の体育環境を改善する。	施設整備工事の実施	整備工事の完了	【R2成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回 【今後のスケジュール】 令和2年4月供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(10名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学1年生(10名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(14名)、引率者(5名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	多良間島独自の文化・言語・資料の継承、整理、観光、交流の機会における活用の促進を図る。	・郷土資料、貴重資料等の修復、デジタル化及び公開 ・自然図鑑の制作	郷土資料の修復・複製本作成完了 郷土資料の電子化完了 自然環境の調査完了(動植物)	【R2年度成果目標】 ふるさと民俗学習館の村民利用者数 177人以上 ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 652人以上 【今後のスケジュール】 H32年度 修復電子化・現代語訳・シンポジウム・図鑑制作 H33年度 修復電子化・現代語訳・WEB公開システム作成・資料の翻刻・解説版の出版・企画展等	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	多良間村自動車航送負担軽減事業	H27 ～ R3	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である宮古島・多良間島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。	宮古島・多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ R1	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。	止壁を設置する	止壁の設置完了	【今後のスケジュール】 止壁設置により、防風林を保護することによりさとうきび等の基幹作物の生産拡大を推進し、農業経営の安定と向上を図り、元気で活力のある農村(村)づくりを行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R3	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。	検診機材搬送年3回実施 (検診3回×5島6地区=18件)	集団検診受診者数 2,091人	【今後のスケジュール】 町民の健康意識の改善及び健康診査受診率促進を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 町民全成人の60%を設定した。 3,485人×60%=2,091人 60%の設定については、厚労省において実施率目標を60%以上に設定をしているため。
1	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ～ R3	西表島西部、東部地区で送迎サービスを実施し、高齢者及び障害者等の社会的孤立感の解消を図る。	・西表島西部地区及び東部地区への送迎サービスの実施	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート及び利用実績等を分析検討し、R1年度以降他地区への展開	【R1成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数が「社会的孤立感の解消が図られた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ～ R3	島々を結ぶ旅客船の船賃に対し支援を実施し、生活の利便性を確保する。	船賃の一部負担	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減し、利用者の増加と共に生活の利便性を高め、定住条件の整備を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	干立地区防災機能改善事業	H29 ～ R1	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	工事及び環境モニタリングの実施	工事及び環境モニタリングの完了	【R2成果目標】 整備完了後1年目(R22年度)の目標を以下のとおりとする。 ・整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ・避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	【R2成果目標設定の考え方】 ・回数については、過去に実施した地域の避難訓練等により設定した。 ・アンケートについては、避難道を利用する避難者等が安全に避難ができる経路と安心できたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R3	働く保護者等の子育て支援の充実を図る。	・建設工事(西表東部)の実施 ・実施設計委託業務(竹富、小浜)の実施	・建設工事(西表東部)の完了 ・実施設計委託業務(竹富、小浜)の完了	<p>【R1成果目標】 整備完了後(R1年度)の目標を以下のとおりとする。 (保育所) 本事業について、保護者へのアンケート調査を実施し、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 (高齢者施設) 介護認定率20%以下</p> <p>【今後のスケジュール】 R1年度:供用開始(波照間) ・西表(上原)・(東部)建設工事 ・竹富・小浜実施設計委託 ・西表・黒島基本設計委託 R2年度:供用開始(西表上原・東部) 供用開始 ・竹富・小浜建設工事 ・西表・黒島実施設計委託 R3年度:竹富・小浜供用開始 ・西表・黒島建設工事</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 (保育所) 保護者のうち大多数が「保護者の負担軽減が図られた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> <p>(高齢者施設) 過去の実績を勘案して設定した。 27年度 21.5% 28年度 20.8% 29年度 20.1%</p>
1		西表東部公園整備事業	H29 ～ R3	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	・公園整備整備工事の実施	・公園整備整備工事の完了	<p>【R4成果目標】 公園整備後1年目(R4年度)の目標を以下のとおりとする。 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【事業スケジュール】 H29 西表東部公園基本設計 H30 西表東部公園実施設計 R1～R3 西表東部公園整備工事</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性向上が図られたと考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
2		観光誘客・受入対策事業	H26 ～ R1	観光宣伝活動や受入体制の強化・整備を実施し、観光客の誘客を図る。	・誘客宣伝活動 2回 ・ポイントシステムの整備・充実 ・滞在型観光推進ポータルサイト構築 ・観光人材育成 ・小浜島基礎調査 ・ガイド届出制度づくり ・マナーアップ&注意喚起	・入域観光客数 1,049,927人以上 ・観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度(「とても満足」:58%)を達成することを指標とする。	<p>【今後のスケジュール】 平均滞在日数1.0泊以上 秋冬期消費金額10,000円以上 サイト内容の維持管理・更新 他島での講座開催 小浜島の課題抽出、必要ツール作成 ガイド事業者・事業内容リスト管理 地域住民の観光客への不安解消</p>	<p>【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	船浮イダの道散策路整備事業	R1 ~ R2	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として舗装する。	実施設計業務委託の実施	実施設計業務委託の完了	【R3成果目標】 アンケート調査により利便性が確保されているか80%以上 【今後のスケジュール】 H30 基本設計 R1 実施設計(住民ワークショップの開催) R2 工事	【R3成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について当該事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用者にとって利便性が確保されていると考えられる数値として80%以上と設定した。	
3	児童生徒派遣費事業	H24 ~ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒選手等派遣人数 :570人	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1年度~R3年度 児童生徒選手等派遣人数(毎年度約600人)	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	外国語指導助手派遣事業	H27 ~ R3	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。	・外国語指導助手の派遣 小学校6校 幼稚園3園	・アンケート調査により、児童生徒の興味関心の向上について検証を図る。アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・R2年度~ 外国語指導助手1人派遣	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	竹富町和牛生産推進事業	H24 ~ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・離島港湾靴底消毒用マット設置 6力所(竹富・小浜・黒島・波照間・西表 東部・西表西部) ・優良母牛導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合1.22%以上	【今後のスケジュール】 ・R3年度: 子牛平均価格380,000円 基準年度 (H23年度:327,000円) ・H24~R3年度目標導入数 900頭	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ~ R3	ペットの適正飼育への啓発や逸失したペットの保護・収容を実施し、逸失したペットによるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	・逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容 ・適正飼養普及啓発講演会等を4回開催 ・ペット適正飼養推進会議を年1回開催 ・竹富町ねこ飼養条例の改正に向けた検討会を2回開催	・逸失ペット等の保護・収容頭数18頭 (H25~H29の平均)以内	【今後のスケジュール】 国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの絶滅保護活動の促進及び生息する町内地域住民の町民生活環境の保全推進を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	文化財美化保全事業	H24 ~ R3	本町が有する国指定文化財等の美化保全を行い、町民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用する。	・指定文化財18箇所、指定候補文化財5箇所の美化清掃の実施	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の「文化の保存が図られている」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		登録有形文化財(建造物)なごみの塔周辺整備事業	R1 ~ R1	登録文化財を活用し観光誘客を図るため、危険建造物となっている登録有形文化財(建造物)なごみの塔を修理し、観光イベントに活用する。	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の実施	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の完了	<p>【R2成果目標】 なごみの塔の限定公開イベント(年12回)の際に等に昇降する延べ人数:1,560人以上/年</p> <p>【今後のスケジュール】 H30年度 なごみの塔調査設計(完了済み) R1年度 なごみの塔修理工事</p>	<p>【R2の成果目標設定の考え方】 数値については、限定公開日の稼働時間(予定)及び一人あたりの昇降に要する時間等を考慮して設定した。</p>

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1		地域振興対策事業	H24 ～ R3	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援。	・カジキ釣り大会(7月)の補助 ・一周マラソン大会(11月)の補助	・カジキ釣り大会参加者数 110人 ・与那国島一周マラソン大会参加者数 700人	【今後のスケジュール】 今後も継続してイベントへの補助を行い、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R3	・物産展出展 県内1回:離島フェア出展 県外1回:未定(与那国島フェア) ・店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法など、専門家による販路促進のための講習会の開催 3回	・講習会の開催 3回 ・物産展出展 県内1回、県外1回	・参加した物産展における与那国島産品の売上高:190万円以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して物産展への出展を行い、与那国島産品の売上増加を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R3	県内外へのプロモーションを実施する。 ・与那国島観光物産、伝統芸能フェア(県内)の開催 期間:年1回、2日間 場所:那覇市(沖縄タイムスビル1階) ・旅行代理店等へのトップセールス ・PRツール(パンフレット、ポスター等)の作成	・与那国島観光物産・伝統芸能フェア(県内)の開催 ・旅行代理店等へのトップセールス ・PRツール(パンフレット、ポスター等)の作成	・与那国観光物産・伝統芸能フェア来場者数 490人 ・チャーター便による観光入域客数 990人	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 類似事業の過去の実績等を勘案して設定した。
1		与那国町観光地整備事業	H29 ～ R3	西崎展望台駐車場及びトイレ施設の実施設計の実施	・西崎展望台駐車場及びトイレ施設の実施設計の実施	・西崎展望台駐車場及びトイレ施設的设计完了	【R2成果目標】 利便性と安全性が確保されたか(80%以上)を含め、受入施設(駐車場及びトイレ施設)について観光客等へのアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 西崎展望台駐車場及びトイレ施設の整備完了後、東崎展望台、ティンダバナ展望台の各景勝地にある観光施設の整備を順次実施していく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			海底景観資源調査事業	H29 ～ R1	・海底精密地形図(原図)の作成 ・原図を元にした現地調査による海底精密地形図(完成図)の作成	・海底精密地形図(原図)の作成 ・海底精密地形図(完成図)の作成	・海底精密地形図(原図)の完成 ・海底精密地形図(完成図)の完成	【R2成果目標】 作成した海底地形図を活用したグラスボートツアー等の参加者数 3,100人 【今後のスケジュール】 観光や研究等、様々な分野に海底精密地形図を提供し、学術研究の基礎とするとともに、観光資源としての適切な活用及び保全を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R3	優良母牛導入の支援:25頭	・優良母牛導入の支援:25頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合124%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	与那国町から本島への農水産物等出荷に係る、空路輸送を陸路輸送並みの運賃で行えるよう補助を実施。 ・補助額133円/kg	・生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 ・農産物の空路輸送費支援の実施	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:29.4% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:62.0%	【今後のスケジュール】 生鮮水産物及び農産物の出荷量に占める沖縄県内への出荷割合が、過去3年の平均値以上となることを目指し、島外への出荷量を増加させ、農水産業の活性化を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R3	漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・町内の漁業従事者数:34人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			与那国町工芸館施設整備事業	H29 ～ H30	与那国町工芸館施設の実施設計を行う。	・実施設計の実施	・実施設計の完了	【R3成果目標】 年間利用者数2,800人 【今後のスケジュール】 R2 建築工事 R3 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 他市町村の類似施設を参考に設定した。
4			家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	小中学生(小4から中3)を対象として、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業による「町営学習塾」を開設する。	・町営塾の実施 ・町営塾受講率:60% ・遠方地域の受講生の送迎手段の確保 ・タブレット学習の実施 ・学力テストの実施 4回	・月例学力検査(年4回実施)にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合: 小学校 35% 以上 中学校 18% 以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して町営塾を開設し、小中学生の学習支援を行うことで学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	教育諸活動助成事業	H24 ～ R3	島外・県外で開催される大会や選抜による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・各種大会派遣支援の実施	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も事業を継続し、教育環境の充実を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	地域国際交流事業	H24 ～ R3	本町在住の全小学6年生を姉妹都市である台湾花蓮市へ派遣しホームステイを行うとともに、テレビ会議システムを用いた中継交流を実施する。	・ホームステイの実施:14名 ・テレビ会議システムによる中継交流の実施 ・ホームステイ報告会の実施 ・報告書の作成 ・児童、保護者、引率教諭への事後アンケート調査の実施	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して台湾花蓮市での小学生のホームステイを実施し、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ～ R3	選抜した中学生4人を、英語圏への語学研修へ派遣する。	・研修派遣の実施:4名 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・生徒、保護者、教諭(英語担当、学級担任)への事後アンケート調査の実施	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R3	就学前児童及び生徒の教育課程に係る教育時間終了後に、公共施設の一室を利用して、保護者が安心・安全に子供を預けることができる場所を確保する。	・どなん児童クラブの運営 ・指導員3名の体制維持	・安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して保護者が安心・安全に子供を預けることができる場所を確保し、育児に関する負担感の軽減を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	石垣島の病院へ通院するため、妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用を助成する。	・妊産婦検診、出産時の渡航費、宿泊費の助成	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	【今後のスケジュール】 今後も継続して妊婦への渡航費等の助成を行い、子育て世代が安心して定住できる環境を維持する。	【R1成果目標設定の考え方】 妊婦健診等医療サービスが必要なすべての方に支援を行うことを目標として設定した。	
7	公共交通路線支援事業	H24 ～ R3	地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	・公共交通路線バス運行費用への支援	・利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して生活路線バスの運行支援を実施し、島民及び来島者の利便性確保を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26～R1	与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画及び解体古材資源活用マニュアルに基づき、シニア型夫婦向け定住用住宅1棟を整備する。	・シニア型夫婦向け定住用住宅1戸の設計の実施	・シニア型夫婦向け定住用住宅1戸の設計完了	【R3成果目標】 夫婦向け住宅への島外からの入居世帯数 1世帯以上 【今後のスケジュール】 R1 実施設計完了 R2 工事完了 R3 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 整備した夫婦向け住宅には1世帯の入居が可能であることから、供用開始後すみやかに入居受け入れを行うことを目標に、入居世帯数1世帯以上と設定した。	
7	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1	本町の地理的優位性を活かし交流人口の増加を図るため、国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。今年度は基礎調査を行い、行動計画を策定する。	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務の実施	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務報告書の完成	【R2成果目標】 与那国町国境交流結節点化可能性調査業務報告書において交流人口に関する指標を設定し、交流人口増加に向けた取組の確実な実施につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 事業の目的から、本事業によって増加する交流人口を成果目標として設定すべきであるが、行動計画を基にした取組の実施前であるため、効果の検証が困難である。 今年度策定する行動計画内で指標を設定し、この達成に向けて取組を確実に実施することを目標として設定した。	
7	与那国町デマンド交通運行事業	R1	住民及び観光客の島内交通に係る利便性の確保を図るため、ICTを活用したデマンド交通を導入する。	与那国町デマンド交通試行運行実施の実施	・与那国町デマンド交通試行運行評価書の完成	【R2成果目標】 デマンド交通試行運行の結果等を踏まえ、町における公共交通の目標利用者数を設定し、離島地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取組の確実な実施につなげる。	【R2成果目標設定の考え方】 事業の目的から、住民及び観光客の利便性に関する指標を成果目標として設定すべきであるが、試行運行の結果に基づいてデマンド交通の本格導入等を検討するものであるため、効果の検証が困難である。 本事業の目的である住民及び観光客の島内交通に係る利便性確保のため、試行運行の結果等を踏まえて公共交通の目標利用者数を設定し、この達成に向けた取組を確実に実施することを事業実施後の成果目標として設定した。	
10	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26～R4	与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画及び解体古材資源活用マニュアルに基づき、シニア型夫婦向け定住用住宅4棟の整備工事を実施する。	・シニア型夫婦向け定住用住宅4戸の設計の実施	・シニア型夫婦向け定住用住宅1戸の設計完了	【R3成果目標】 島外からの体験型住宅入居人数 2人 【今後のスケジュール】 R1 実施設計完了 R2 工事完了 R3 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 シニア型夫婦向け定住用住宅であることから、1世帯5人を基準に設定した。	

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。